NTT

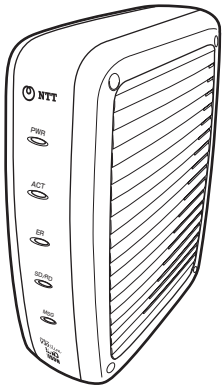
ISDN

ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

INS メイト V30Slim
取扱説明書

このたびは、INS メイト V30Slim をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 10 は、Microsoft® Windows® 10 operating system の略です。
Windows® 8.1 は、Microsoft® Windows® 8.1 operating system の略です。
Windows® 7 は、Microsoft® Windows® 7 operating system の略です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。
Hayes は米国 Zoom Telephonics, Inc. の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ・システムズ社）の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品の CD-ROM は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。
付属品の CD-ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠危険

- 乾電池のアルカリ液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- AC100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。

⚠警告

- 電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、ぬれた手で乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線をとり付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠注意

- 直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品をあおむけに置かないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。
- 本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

⚠注意

- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - じゅうたんや布団の上に置く。
  - テーブルクロスなどを掛ける。
  - 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
  - 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

お使いのとき

⚠注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 半年に 1 回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。以下のことを必ず守ってください。
  - 保証期間内の単 3 アルカリ乾電池をお使いください。
    （アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。）
  - 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
  - 乾電池のプラス（＋）、マイナス（－）の方向を確認して入れてください。
  - 乾電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。
  - 外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
  - 新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
  - 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
  - 消耗した乾電池は、すぐに交換してください。
- 停電がない場合でも 1 年に 1 回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままでご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池をなめたり、誤って飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かない所に置いてください。
- 乾電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 乾電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなってやけどをするおそれがありますので、確認してから交換してください。
- S/T ユニットを取り付けるときおよび取り外すときは、電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。
- 付属品の CD-ROM をオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- S/T ユニットのはんだ面に直接手を触れないように注意してください。けがの原因となります。

置き場所について

STOP お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき

STOP お願い

- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から 5 秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。
- INS ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
サービスガイド・・・16
マニュアルの読み進めかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

お使いになる前に

セットを確認してください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
各部の名前・・25
停電になったときのために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
接続します・・・29
　1 INS ネット 64 回線の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
　2 動作の確認・・30
　3 電話機などの接続・・31
　4 電話がかけられることの確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

パソコン準備編

1 通信をする準備

パソコンとの接続について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　ご使用の OS を確認するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　プログラムインストール時に表示される画面について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
ユーティリティをインストールするには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
USB ポートを使うには・・41
アナログポートの設定を行うには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
　アナログポートの簡単設定を開始する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
　i・ナンバーを設定する・・48
　ダイヤルインを設定する・・49

2 設定ユーティリティの利用

設定ユーティリティを起動するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
　設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
設定ユーティリティの基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
　メニュー画面からの操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
　設定画面の基本操作・・55
カレンダを設定するには・・56

3 パソコンの活用

「パソコン活用編」について ・・・57

インターネット接続編

1 準備

インターネットへ接続するまでの手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
必要なものを確認する ・・62
イージーウィザードで接続の設定をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
インターネットに接続する（Windows® 10）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
インターネットに接続する（Windows® 8.1 ／ 7） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68

2 ご参考

手動設定について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

目　次

特定の相手からかかってきた電話を識別するには
（INS なりわけサービス／疑似なりわけ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86
INS なりわけサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86
疑似なりわけ・・・87
お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには
（通信中着信識別通知）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
特定の相手からかかってきた電話の着信を拒否するには
（迷惑電話防止）・・90
迷惑電話を切った直後に設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
あらかじめ設定しておく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
非通知の着信拒否を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
３人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）・・・・・・・・92
フレックスホン三者通話（切替モード／ミキシングモード）・・・・・・・・・・92
疑似三者通話（切替モード／ミキシングモード）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
相手を切り替えてお話しする（切替モード）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
３人で同時にお話しする（ミキシングモード）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）・・・・・・・・・・・・97
お話し中に転送する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
L モードを利用するには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

3 ファクスのいろいろな使いかた

ファクスを自動転送するには（FAX 自動転送）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
電話機からファクスへ自動転送する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
着信音を鳴らさずにファクスを受信するには（FAX 無鳴動着信）・・・・・・・ 105

4 発信者番号の通知と表示

発信者番号の通知について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
一般回線からの電話番号も表示するには（INS ナンバー・ディスプレイ）・ 108
INS ナンバー・ディスプレイを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
電話番号が通知されないときにメッセージで応答する
（INS ナンバー・リクエスト）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
キャッチホンと組み合わせて利用する
（キャッチホン・ディスプレイ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
電話をかけてきた相手の名前を表示するには
（ネーム・ディスプレイ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112

5 電話やファクスの呼び分け

呼び分けのいろいろな方法 …… 114
i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには（i・ナンバー）…… 116
i・ナンバーを設定する …… 116
ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには
（ダイヤルイン／グローバル着信）…… 118
1 台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには
（モデムダイヤルイン）…… 120
i・ナンバーを利用する場合 …… 120
ダイヤルインを利用する場合…… 122
サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには（サブアドレス）…… 124
HLC の設定で呼び分けるには（HLC・接続機器設定）…… 125

6 転送／メッセージ録音

電話に出られないときのいろいろな方法 …… 126
外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）…… 128
着信転送（フレックスホン）…… 128
疑似着信転送…… 128
着信転送または疑似着信転送を設定する…… 129
条件を指定して転送するには
（INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクト）…… 133
INS ボイスワープ …… 133
INS ボイスワープセレクト …… 133
INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクトを
ご利用になる場合の設定…… 133
すべての電話をキャッチするには（INS マジックボックス）…… 135

7 電話機からの設定

電話機から機能を設定するには …… 136

目　次

ご参考

1 USB ドライバーについて

USB ドライバーを使用できないときは ····· 156
USB ポートに関する Q&A ····· 160

2 ソフトウェアのアンインストールについて

不要になったドライバーを削除する ····· 163
ユーティリティをアンインストールする ····· 164

3 ご参考に

CD-ROM の「参考情報」について ····· 165
お買い求め時の設定に戻すには（初期化）····· 166
　設定ユーティリティで初期化を行う ····· 166
　電話機で初期化を行う ····· 167
本商品のバージョンアップを行うには ····· 169
オプションをご利用になるには ····· 173
　S/T ユニットを準備する ····· 174
　S/T ユニットを取り外す ····· 176
　すでにお持ちの DSU を接続する ····· 178
　本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続する ····· 179
　INS ネット 64 用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定 ···· 180
RS-232C ポートインタフェース ····· 181
故障かな？と思ったら ····· 182
Q&A ····· 188
索引 ····· 195
仕様 ····· 200
保守サービスのご案内 ····· 201

• 以下については、付属の INS メイト V30Slim 専用 CD-ROM「参考情報」をご覧ください。

パソコン活用編

・設定ユーティリティの活用
・パソコンでの設定画面
・いろいろな通信機能
・RS-232C ポートの設定

手動設定編

その他

・AT コマンド
・設定記入シート

INSメイトV30Slimでできること

INSメイトV30Slimに今までお使いの電話機やファクスを接続して、いろいろ活用できます。また、パソコンを接続すれば、インターネットも簡単に利用できます。

インターネットも快適

パソコンを接続して、インターネットに簡単にアクセスできます。

インターネット接続編

P59

いろいろな設定は電話機からOK

パソコンを接続していなくても、電話機から、いろいろな設定をすることができます。パソコンをお使いの方は、設定ユーティリティを使って簡単に設定できます。

電話機からの設定 P136

設定ユーティリティからの設定 P53

2台の電話を内線で使う

接続した電話機どうしでお話ししたり、電話を転送することができます。

内線通話 P78

内線転送 P80

外からの電話を決められた相手に転送する

外の相手からの電話を、決められた別の相手に転送することができます。

疑似着信転送

P128

Lモード対応アナログ通信機器が接続可能

Lモード（電話機でメールのやりとりや、各種情報の閲覧ができるサービス）に対応したアナログ通信機器を接続することができます。

Lモード

※「Lモード」サービスは、平成22年3月31日をもってサービス提供を終了しています。

P99

かけてきた方を音で識別

登録した相手からの電話は、通常と異なる着信音が鳴るようにすることができます。
一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

疑似なりわけ

P87

お話し中にかかってきた電話もキャッチ

Bチャネル2本を使用して、お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

疑似キャッチホン

P83

着信音を鳴らさず自動でファクス受信

無鳴動信号対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。

FAX無鳴動着信

P105

迷惑電話の着信を拒否

INSナンバー・ディスプレイを契約している場合、迷惑電話を受けた直後にその番号を登録し、次回から着信を拒否することができます。また、電話番号が通知されない着信をすべて拒否することもできます。

迷惑電話防止

P90

INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。

¥ INSネット64の付加サービスの料金が別途必要です。

¥ ご利用形態によって、別途料金が必要となる場合があります。

設定 INSメイトV30 Slimの設定が必要です。

設定 ご利用形態によって、設定が必要となる場合があります。

¥ 設定

かけてきた相手の電話番号や名前を表示

接続した電話機に、かけてきた相手の電話番号や名前を表示することができます。

INSナンバー・ディスプレイ　ネーム・ディスプレイ

P108　P112

設定

こちらの電話番号を相手に通知

発信者番号を相手に通知することができます。通知しないようにすることもできます。

発信者番号通知

P106

¥ 設定

かけてきた方を音で識別

登録した相手からの電話は、通常と異なる着信音を鳴らすようにすることができます。

INSなりわけサービス

P86

¥ 設定

お出かけ先への転送機能

無条件転送、無応答転送、話中時転送の指定ができます。INSボイスワープセレクトは、かかってきた相手によって転送先を変えられます。

INSボイスワープ
INSボイスワープセレクト

P133

¥ 設定

1本の契約回線に複数の電話番号

1本の契約で、複数の電話番号を使い分けることができます。
電話とファクスなどを別々の番号で受けられます。

i・ナンバー　ダイヤルイン

P116　P118

¥ 設定

お話し中にかかってきた電話もキャッチ

お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホン

P82

- 呼び分けのいろいろな方法（☛P114）
- 電話に出られないときのいろいろな方法（☛P126）

■ご利用になれる主なサービス

サービス		説明	料金	設定	参照ページ
発信者番号通知		電話をかけたときに、こちらの電話番号を相手に通知することができます。	–	設定	P106
料金情報通知		通話料金、通信料金が通知されます。	–	–	参考情報
サブアドレス通知		サブアドレスを通知して、特定の機器に着信させることができます。	–	設定	P115 P124
INS ナンバー・ディスプレイ		一般の電話回線からかかってきた電話も、電話番号が通知されます。	¥	設定	P108
ネーム・ディスプレイ※3		電話をかけてきた相手の名前を電話機等に通知することができます。	¥	設定	P112
i・ナンバー		複数の電話番号を持つことができます。	¥	設定	P114 P116
フレックスホン※1	INSキャッチホン	お話し中にかかってきた電話に出ることができます。	¥	設定	P82
	三者通話	お話し中に別の相手に電話をかけ、3人でお話しになれます。	¥	設定	P92
	通信中転送	お話し中の電話を別の電話番号へ転送できます。	¥	設定	P97
	着信転送	かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ転送できます。	¥	設定	P126 P128
通信中着信通知サービス		すでに通信中で空き B チャネルがない場合でも、電話がかかってきたことをお知らせします。	–	–	–
代表取扱サービス		あらかじめ決めておいた代表番号に着信があると、代表群から空き回線を選んで着信します。	–	–	–
ダイヤルイン		複数の電話番号を持つことができます。	¥	設定	P114 P118
INS なりわけサービス		あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときは、通常と異なる着信音を鳴らします。	¥	設定	P86
INS ボイスワープ		かかってきた電話を、指定した条件によって転送します。	¥	設定	P126 P133
INS ボイスワープセレクト		INS ボイスワープの機能に加えて、転送方法を選択できます。	¥	設定	P126 P133
INS マジックボックス※5		メッセージ録音、INS キャッチホン、着信転送の機能を利用できます。	¥	設定	P127 P135

サービス	説明	料金	設定	参照ページ
発着信専用サービス	発信専用または着信専用にすることができます。	–	–	–
L モード※2	電話機でメールサービスとブラウザサービスの 2 つのサービスがご利用になれます。	¥	設定	P99
INS メッセージ到着お知らせサービス※4	メッセージセンタにメッセージが届いたときに、本商品の MSG ランプを点灯したり、電話機等に通知することができます。	¥	設定	P101

※1 **フレックスホンとは：**INS キャッチホン、三者通話、通信中転送、着信転送の 4 つの機能の総称です。4 つの機能を組み合わせて契約することも、必要な機能だけを契約することもできます。

※2「L モード」サービスは、平成 22 年 3 月 31 日をもってサービス提供を終了しています。

※3「ネーム・ディスプレイ」サービスは、平成 25 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

※4「INS メッセージ到着お知らせサービス」は、平成 26 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了して います。

※5「INS マジックボックス」サービスは、平成 28 年 2 月 29 日をもってサービス提供を終了しています。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、取扱説明書（簡易版）、付属の INS メイト専用 CD-ROM の電子マニュアル（「取扱説明書」および「参考情報」）を次の順序でお読みください。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 お使いになる前に P24

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確かめます。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 お使いになる前に P29

接続します

本商品と INS ネット 64 回線、電話機などを接続します。

パソコンをお使いの方

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 パソコン準備編 P36

パソコンの OS と接続方法を確認します

パソコンの OS、本商品とパソコンを接続するポート（USB ポートまたは RS-232C ポート）を確認します。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 パソコン準備編 P38

イージーウィザードを利用して、必要なソフトウェアのインストールとアナログポートの設定を行います

イージーウィザードを利用して、設定ユーティリティおよび本商品にパソコンを接続して使用するために必要なソフトウェアをインストールします。
続けてアナログポートの設定をします。

参考情報 イージーウィザードをご利用になれない場合 参考情報

取扱説明書 パソコン準備編 P56

カレンダを設定します

設定ユーティリティを使って、本商品のカレンダの日付、時刻を設定します。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 インターネット接続編 P59

インターネットに接続します

インターネットを利用するための設定を行います。

電話／ファクスの使いかた

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 電話／ファクス編 P74

すぐに使えます

電話機やファクスは、接続したらすぐにお使いになれます。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 電話／ファクス編 P81

電話機やファクスを活用します

電話機やファクスのいろいろな使いかたを紹介しています。
- 呼び分けのいろいろな方法（☛P114）
- 電話に出られないときのいろいろな方法（☛P126）

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 電話／ファクス編 P136

電話機から設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

本商品に接続した電話機で電話やファクスのいろいろな機能を設定できます。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 パソコン準備編 P50

設定ユーティリティを利用して設定します

パソコンから本商品の機能を設定するため、設定ユーティリティを利用します。

設定ユーティリティで電話やファクスのいろいろな機能を設定できます。

参考情報 参考情報

設定ユーティリティや通信機能を活用します

- 機能を設定したとき　：設定記入シートにご記入ください（☛「参考情報」）
- AT コマンドを使うとき ：AT コマンド（☛「参考情報」）

取扱説明書 サービスガイド P16

INS ネット 64 のサービスを紹介します

INS ネット 64 と INS メイト V30Slim で何ができるか見てみましょう。

取扱説明書（簡易版） 取扱説明書 ご参考 P155

こんなときにお使いください

- 機器を増設するとき　：オプションをご利用になるときご覧ください。（☛P173）
- トラブルが発生したとき：修理を依頼される前にご確認ください（☛P182）

マニュアルの読み進めかた

■操作説明のページの構成

電話／ファクス編を例に説明します。

章タイトル

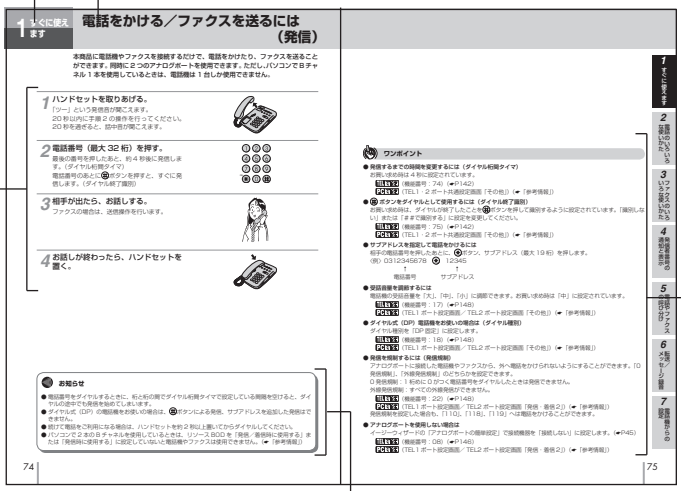
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。



1 すぐに使えます　電話をかける／ファクスを送るには（発信）

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に２つのアナログポートを使用できます。ただし、パソコンでＢチャネル１本を使用しているときは、電話機は１台しか使用できません。

1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順２の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

2 電話番号（最大32桁）を押す。
最後の番号を押したあと、約４秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号の前に0ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）

3 相手が出たら、お話しする。
ファクスの場合は、送信操作を行います。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ
● 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している時間を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
● ダイヤルパルス（DP）の電話機をお使いの場合は、0ボタンによる発信、サブアドレスを追加した発信はできません。
● 他で電話を ご利用になる場合は、ハンドセットを約２秒以上置いてからダイヤルしてください。
● パソコンで２本のＢチャネルを使用しているときは、リンース BOD を「発信・番号非に使用する」または「発信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☞「参考情報」）

74

ワンポイント
● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）
お問い合わせ時は４秒に設定されています。
TEL で設定（機能番号：74）（☞P142）
PC で設定（TEL１．２ポート共通設定画面「その他」）（☞「参考情報」）
● 0ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）
お問い合わせ時は、ダイヤルが終了したことを0ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「まず「識別する」」に設定を変更してください。
TEL で設定（機能番号：75）（☞P142）
PC で設定（TEL１．２ポート共通設定画面「その他」）（☞「参考情報」）
● サブアドレスを設定して電話をかけるには
相手の電話番号を押したあとに、0ボタン、サブアドレス（最大19桁）を押します。
（例）0312345678 0 12345
↑ ↑
電話番号　サブアドレス
● 受話音量や音調を変えるには
電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お問い合わせ時は「中」に設定されています。
TEL で設定（機能番号：17）（☞P148）
PC で設定（TEL１ポート設定画面／TEL２ポート設定画面「その他」）（☞「参考情報」）
● ダイヤルパルス（DP）電話機をお使いの場合は（ダイヤル種別）
ダイヤル種別を「DP 設定」に設定します。
TEL で設定（機能番号：18）（☞P148）
PC で設定（TEL１ポート設定画面／TEL２ポート設定画面「その他」）（☞「参考情報」）
● 発信を制限するには（発信規制）
アナログポートに接続した電話機やファクスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0 発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。
0 発信規制：１台のＣＯ回つく電話機やダイヤルしたときは発信できません。
外線発信規制：すべての外線発信ができません。
TEL で設定（機能番号：22）（☞P148）
PC で設定（TEL１ポート設定画面／TEL２ポート設定画面「発信・番号２」）（☞「参考情報」）
発信制限を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。
● アナログポートを使用しない場合は
イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。（☞P45）
TEL で設定（機能番号：08）（☞P146）
PC で設定（TEL１ポート設定画面／TEL２ポート設定画面「発信・番号２」）（☞「参考情報」）

75

操作手順説明

順番に操作を説明します。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

〈参照の見かた〉

TEL で設定……電話機から設定を行うときに参照してください。

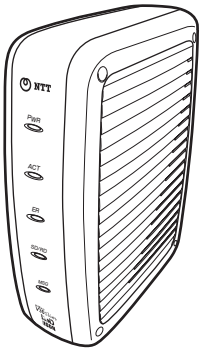
PC で設定……パソコンから設定ユーティリティを使って設定するときに参照してください。

お使いになる前に

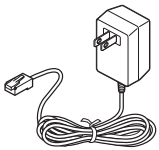
セットを確認してください・・・・・・・・・・・ 24
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
停電になったときのために・・・・・・・・・・・ 27
接続します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

セットを確認してください

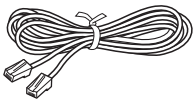
■本体



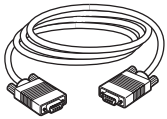
■付属品



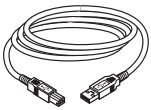
電源アダプタ（1 個）



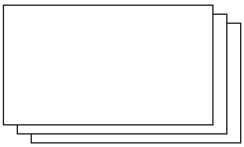
電話機コード（1 本：約 3 m）



RS-232C ケーブル
（ストレート 1 本：約 1.5 m）

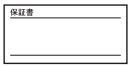


USB ケーブル（1 本：約 1.5 m）



取扱説明書（簡易版）（1 部）
・最初にお読みください
・電話・ファクス機能の使いかた
・安全にお使いいただくために必ず
　お読みください／故障かな？と思ったら

CD-ROM（1 枚）
専用CD-ROMの使い方（1部）
※電子マニュアル収録



保証書（1 枚）

NTT 通信機器お取扱
相談センタシール（1 枚）

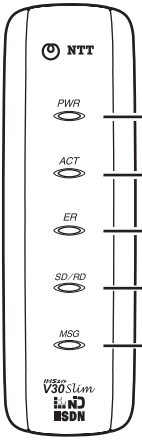
●セットに足りないものがあったり、印刷物に不備があった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
●イラストと形状が異なる場合があります。

■電子マニュアルについて

本商品付属の CD-ROM には、INS メイト V30Slim の「取扱説明書」および「参考情報」が PDF 形式で収録されています。お読みいただくためには、Adobe Systems Incorporated（アドビ・システムズ社）の Adobe Acrobat Reader® DC または、それに類する機能が必要です。
Adobe Acrobat Reader® DC のインストールが必要な場合は、Adobe Systems Incorporated（アドビ・システムズ社）のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

各部の名前

【前面】



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
PWR（POWER）ランプ	点灯（緑）	電源が入っているとき
	遅い点滅（緑）	バージョンアップに失敗したとき
	遅い点滅（赤）	電池動作モードで動作しているとき（☛P190）
	消灯	電源が入っていないとき
ACT（Active）ランプ	点灯（緑）	非同期／同期 PPP 変換で通信中のとき（☛「参考情報」）
	点灯（赤）	128K マルチリンク PPP で通信中のとき(☛「参考情報」)
	速い点滅（緑）	RS-232CポートまたはUSBポートで発信･着信中のとき
	遅い点滅（緑）	回線に異常があるとき（☛P190）
	点滅と点灯の繰り返し（緑）	着信転送または疑似着信転送を行っているとき (☛P132)（ただし、回線異常表示およびデータポート状態表示が優先されます。）
	消灯	データポートで通信していないとき、また着信転送・疑似着信転送を行っていないとき
ER（Equipment Ready）ランプ	点灯（緑）	接続されているパソコンのER信号がオンのとき(☛「参考情報」)
	消灯	接続されているパソコンの ER 信号がオフのとき
SD/RD（Send Data/Receive Data）ランプ	点灯（緑）	パソコンから本商品へデータを転送しているとき
	点灯（赤）	本商品からパソコンへデータを転送しているとき
	消灯	データ転送を行っていないとき
MSG（Message）ランプ	点灯（緑）	センタにメッセージがあるとき(Lモード※1、INSメッセージ到着お知らせサービス※2をご利用の場合)（☛P99、101）
	消灯	センタにメッセージがないとき、または L モード、INS メッセージ到着お知らせサービスを利用していないとき

※ 1「L モード」サービスは、平成 22 年 3 月 31 日をもってサービス提供を終了しています。
※ 2「INS メッセージ到着お知らせサービス」は、平成 26 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

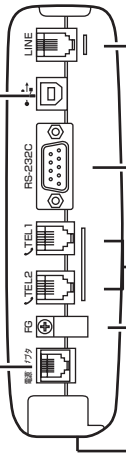
ワンポイント

● **ランプの点滅のしかたについて**

遅い点滅：1 秒間に約 1 回の点滅　　速い点滅：1 秒間に約 5 回の点滅

各部の名前

【背面】



回線接続端子（LINE）
INS ネット 64 回線に接続します。（☛P29）

USB ポート
USB ケーブルでパソコンを接続します。（☛P36）

RS-232C ポート
RS-232C ケーブルでパソコンを接続します。（☛P36）

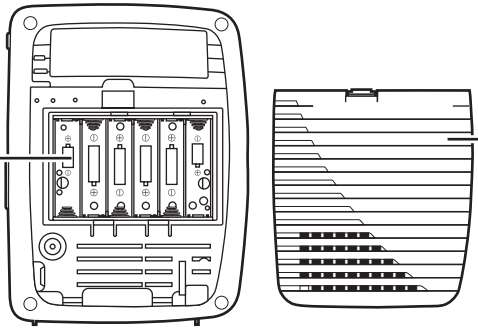
アナログポート
TEL1 ポート（TEL1）、
TEL2 ポート（TEL2）
アナログ通信機器（電話機、ファクスなど）を接続します。（☛P31）

電源アダプタコード端子
電源アダプタコードを差し込みます。（☛P29、31）

FG 端子
アースに接続します。（☛P29）

ボトムカバー
INS ネット 64 用通信機器（ディジタル電話機、G4 ファクスなど）や外付けの DSU を使用する際はボトムカバーを開けてオプションの S/T ユニットを取り付けます。（☛P173）

【左側面】



電池ホルダ

電池カバー

ワンポイント

● **RS-232C ポートと USB ポートについて**
- RS-232C ポートおよび USB ポートは、パソコンを接続して使用します。

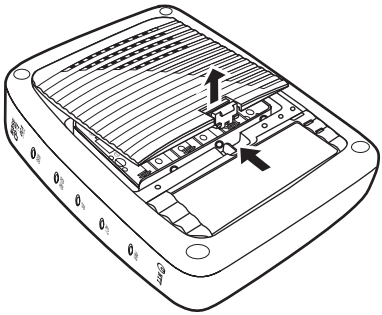
お知らせ

● RS-232C ポートと USB ポートを同時に使用することはできません。

停電になったときのために

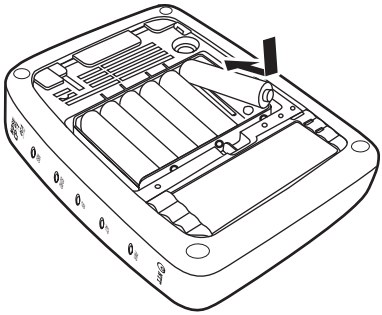
本商品に市販の単３アルカリ乾電池（６本）を入れておくと、停電時には自動的に電池動作モードに切り替わり、電話をかけたり、データ通信をすることができます。乾電池はお客様でご用意ください。
電池動作モード中は PWR（POWER）ランプが赤く点滅し、すべてのポートが使用可能です。

① 電池カバーのツメを内側に押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。

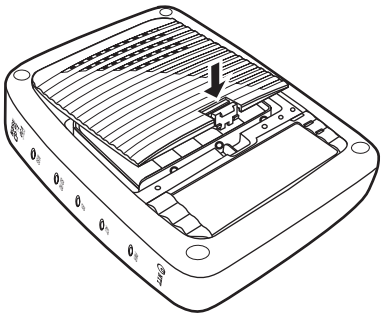


② 単３アルカリ乾電池を６本入れます。

乾電池を入れるときは、プラス（＋）・マイナス（－）の向きを確かめて入れてください。



③ 電池カバーを取り付けます。



（次ページへ続きます）

停電になったときのために

（前ページの続きです）

お知らせ

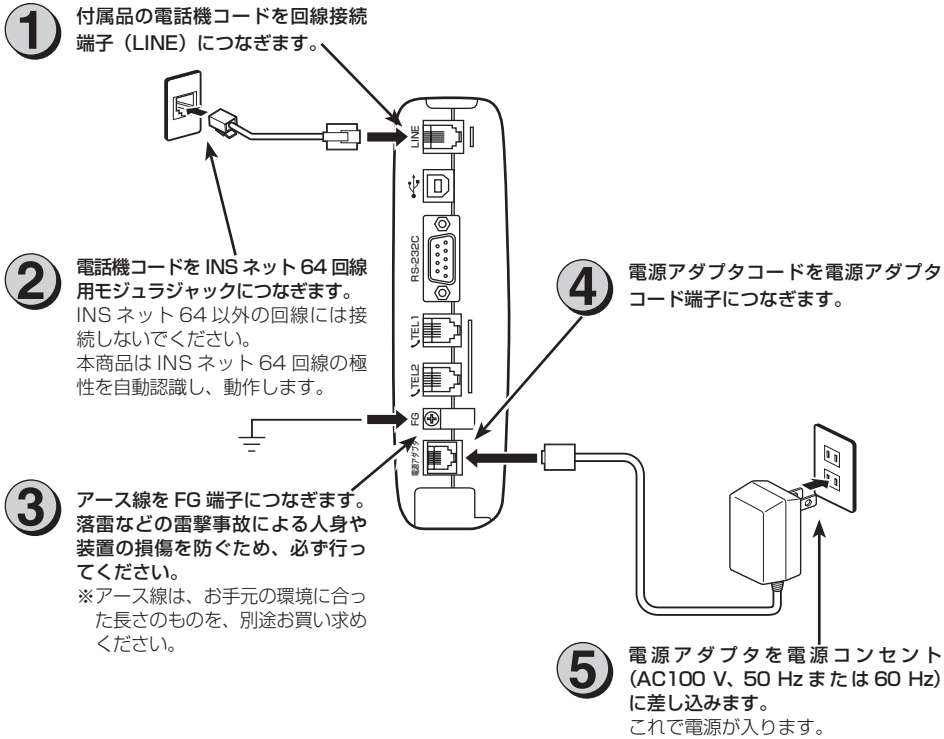
- 新品の乾電池で待ち受け時間約 3 時間、または 1 つのアナログポートの通話で通話時間約 2 時間の動作ができます。乾電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。
- パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合は、パソコンの電源を切ると電池動作モードに切り替わり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。
- オプションの S/T ユニットの S/T 端子に INS ネット 64 用通信機器を接続する場合は、停電時に動作可能な機器をお使いください。
- オプションの S/T ユニットの S/T 端子や RS-232C ポートまたは USB ポートに接続した機器の種類によっては、乾電池の消耗を早めるものがあります。停電時は、必要でない機器を本商品から外してください。

接続します

本商品を INS ネット 64 回線に接続し、電話機やファクス、パソコンなどを接続します。本商品には DSU が内蔵されていますが、オプションの S/T ユニットをご利用になると、すでにお持ちの DSU をご使用になることもできます。(☛P173)

1　INS ネット 64 回線の接続

回線の接続作業は、INS ネット 64 回線の工事完了後に行ってください。



1 付属品の電話機コードを回線接続端子（LINE）につなぎます。

2 **電話機コードを INS ネット 64 回線用モジュラジャックにつなぎます。**
INS ネット 64 以外の回線には接続しないでください。
本商品は INS ネット 64 回線の極性を自動認識し、動作します。

3 **アース線を FG 端子につなぎます。落雷などの雷撃事故による人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。**
※アース線は、お手元の環境に合った長さのものを、別途お買い求めください。

4 電源アダプタコードを電源アダプタコード端子につなぎます。

5 **電源アダプタを電源コンセント（AC100 V、50 Hz または 60 Hz）に差し込みます。**
これで電源が入ります。

（次ページへ続きます）

ワンポイント

● **すでにお持ちの DSU をご使用になるには（☛P173、178）**
オプションの S/T ユニットをご利用になると、本商品に内蔵の DSU を使用しないで外付け DSU をお使いになることができます。

お知らせ

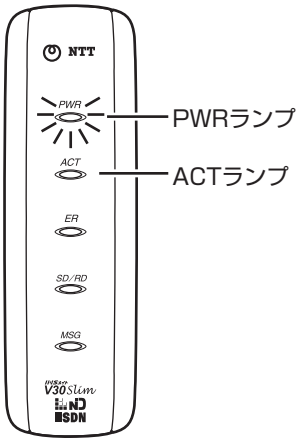
● 電話回線のコンセントがモジュラジャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの 116 番または当社の営業所等へご相談ください。
● 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社の営業所等にご連絡いただければ、機器使用料は不要となります。

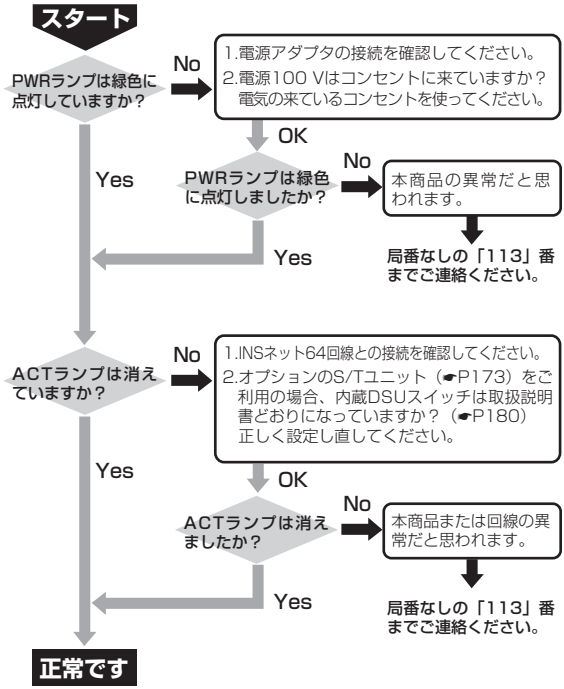
接続します

（前ページの続きです）

2　動作の確認

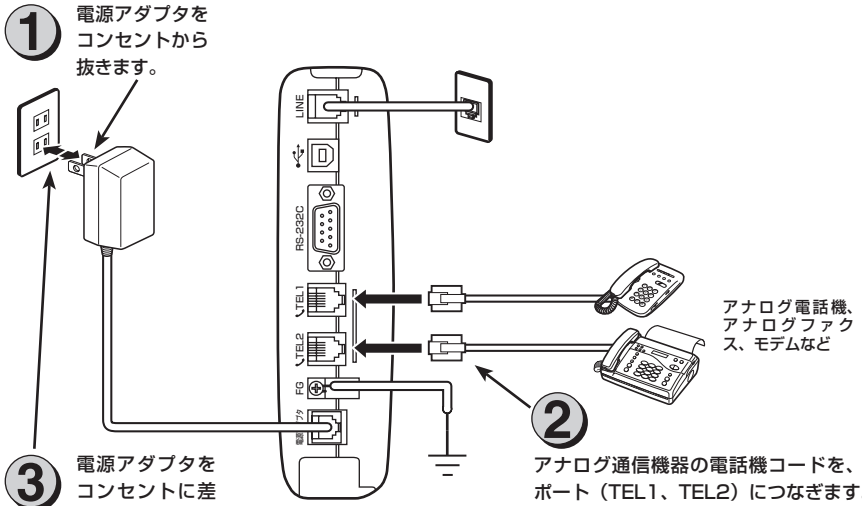
電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。
終了すると、PWR（POWER）ランプだけが緑色に点灯した状態になります。このような状態にならない場合は、右図で原因を見つけてください。





3　電話機などの接続

電話機などの機器を接続する前に、必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。



アナログ通信機器の電話機コードを、アナログポート（TEL1、TEL2）につなぎます。

一般の電話回線に接続するプッシュ式（PB）のアナログ通信機器（電話機、ファクスなど）を接続できます。

● **アナログ通信機器を 1 台のみ接続する場合は**

TEL1 ポートに機器を接続し、TEL2 ポートは接続機器の設定を「何も接続しない（使用しない）」に設定します。

TEL で設定（ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛ → ② ⓪ ⑧ ⊛ ⓪ → # →ハンドセットを置く）（☛P146）

PC で設定（☛P45）

● **ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器をお使いになる場合は**

ダイヤル種別を「DP 固定」に設定します。

TEL で設定（☛P148）

PC で設定（☛「参考情報」）

● **L モード対応のアナログ通信機器を接続する場合は**

本商品の設定が必要です。（☛P99）

（次ページへ続きます）

接続します

（前ページの続きです）

ワンポイント

● **本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続するには（☛P173、179）**
オプションの S/T ユニットをご利用になると、本商品以外のターミナルアダプタや INS ネット 64 用通信機器をお使いになることができます。

お知らせ

● （財）電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
● 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
● 料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。
● アナログポートに接続したアナログ通信機器の受話音量や自分の声が大きく聞こえる場合は、アナログ通信機器の PAD を設定してください。アナログ通信機器の PAD 設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください。

お願い

● アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長 200 m（0.5 φ）を目安としてください。
● 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
● 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
● 1 つのアナログポート（TEL1、TEL2 ポート）には 1 台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1 つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合でも、この端子には何も接続しないでください。

4　電話がかけられることの確認

接続した電話機から、電話がかかることを確認します。つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」（プッシュ対応）に切り替わっているかをご確認ください。

1 電話機のハンドセットを取りあげ、117（時報サービス）などにダイヤルします。

ダイヤル後は、そのままお待ちください。

2 時報などが聞こえることを確認します。

3 ハンドセットを置きます。

お知らせ

● 117 番に電話をかけると通話料金がかかります。

- パソコンをお使いの方は
  引き続き、「パソコン準備編」へ進みます。（☛P35）
- パソコンをお使いでない方は
  「電話／ファクス編」へ進みます。（☛P73）

パソコン準備編

1　通信をする準備 ･････････････････ 36
2　設定ユーティリティの利用 ････････ 50
3　パソコンの活用 ･････････････････ 57

パソコンとの接続について

本商品とパソコンを接続して通信を行うには、ご使用のパソコンに合ったソフトウェアをインストールする必要があります。必要な準備は、付属の V30Slim 専用 CD-ROM からインストールしたイージーウィザードによって行うことができます。
イージーウィザードをインストールする前に、パソコンと本商品を接続しないでください。

■ パソコンの OS と使用できるデータポート

本商品は、RS-232C ポート、USB ポートにそれぞれパソコンを接続することができます。ただし、RS-232C ポートと USB ポートを同時に使用することはできません。

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
・Windows® 10 Home / Windows® 10 Pro（32ビット版 / 64ビット版） ・Windows® 8.1 / Window® 8.1 Pro（32ビット版 / 64ビット版） ・Windows® 7 Home Premium / Windows® 7 Professional（32ビット版/64ビット版）	USBポート	☛P38、41
	RS-232Cポート	☛P38

ご使用の OS を確認するには

使用しているパソコンの基本ソフト（OS：オペレーティングシステム）がわからない場合は、次の手順で確認してください。

● Windows® 10 の場合
① ［スタート］ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューを表示する。
② ［システム］をクリックし、バージョンを確認する。

● Windows® 8.1 の場合
① スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、デスクトップ画面を表示する。
② ［スタート］ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューを表示する。
③ ［システム］をクリックし、バージョンを確認する。

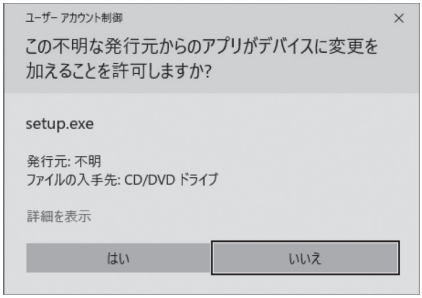
● Windows® 7 の場合
① ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。
② ［システムとセキュリティ］をクリックする。
③ ［システム］をクリックし、バージョンを確認する。

お知らせ

● Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とアイコン表示モード（大きいアイコン／小さいアイコン）があります。この取扱説明書の画面は Windows® 10 の通常表示モードを前提に記述しています。
● 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。
● OS 提供事業者がサポートを終了した OS については、技術的なサポートを受けることができなくなるため、当該 OS に起因すると思われる技術問題が発生した場合に調査・分析等の対応ができないことがあります。
● 本商品とパソコンを接続する場合、USB ケーブルまたは RS-232C ケーブルで、必ず接続してください。それ以外の方法（USB シリアル変換ケーブルやコネクタなど）で接続した場合、正常に動作しない場合があります。

プログラムインストール時に表示される画面について

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。[はい] をクリックし、設定操作を進めてください。



（画面は Windows® 10 の例です）

ユーティリティをインストールするには

本商品の設定を行うために、付属の V30Slim 専用 CD-ROM からイージーウィザードと設定ユーティリティをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。
ここでは、次の作業を行います。

1 INS ネット 64 回線に接続する（☛P29）

本商品とパソコンは指示があるまで接続しないでください。

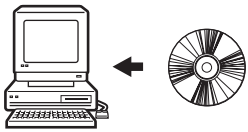
2 ユーティリティをインストールする

・RS-232C ポートを使う場合（☛「参考情報」）
・USB ポートを使う場合（☛ 下記）

次の手順でインストールします。画面は Windows® 10 の例です。

1 本商品とパソコンが接続されていないことを確認する。

2 INS メイト V30Slim 専用 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。



CD-ROM

3 Windows® 10 の場合、CD-ROM の中の［UTILITY］フォルダにある［WIN_10］フォルダを開き、［setup.exe］を実行する。

Windows® 8.1、Windows® 7 の場合、［UTILITY］フォルダにある［WIN_8.1_7］フォルダを開き、［setup.exe］を実行する。

ワンポイント

● ユーティリティをアンインストールするには（☛P164）

お知らせ

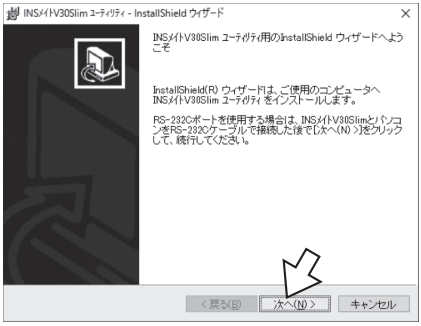
● ご使用前に必ず「専用 CD-ROM の使い方」および CD-ROM に収録されている「readme.txt」を開いてお読みください。
● このページの内容は一例を示しています。

お願い

● イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
マウスポインタを自動的に移動させるソフトなど、システムに常駐しているもの（［スタートアップ］グループに登録してあるもの）も終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。
● ユーティリティのインストール中にパソコンの電源を強制切断しないでください。パソコンが正常動作しなくなる場合があります。（☛P194）

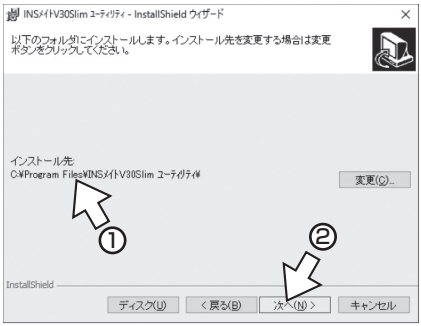
4 ［次へ>］をクリックする。

ここで、パソコンの再起動をうながす画面が出た場合は、画面の説明に従って［再起動］をクリックしてパソコンを再起動したのち、この手順からやり直します。



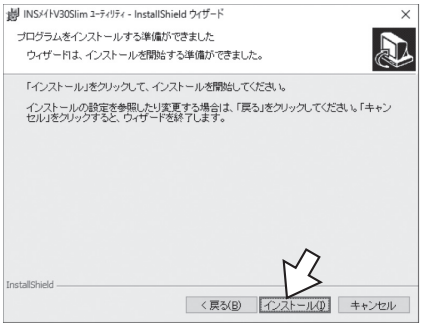
5 インストール先を確認し、［次へ>］をクリックする。

インストール先を変更する場合は［変更］をクリックしてインストール先を指定します。



6 ［インストール］をクリックする。

自動的にインストールが行われます。



Windows® 8.1、Windows® 7の場合、初回のインストール時にWindows セキュリティ画面が表示されます。［“発行元”からのソフトウェアを常に信頼する］をチェックし、［インストール］をクリックします。2回目以降のインストール時は、この画面は表示されません。
（画面はWindows® 8.1の例です。）

（次ページへ続きます）

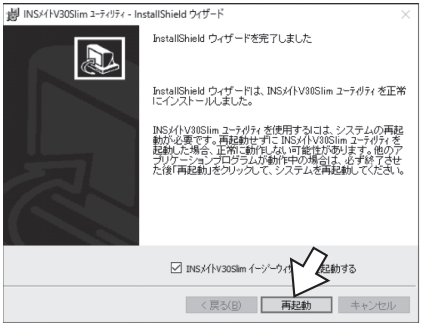
ユーティリティをインストールするには

（前ページの続きです）

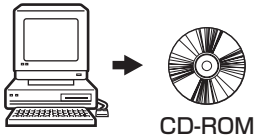
7 ［再起動］をクリックする。

パソコンが再起動します。
ここで［INS メイト V30Slim イージーウィザードを起動する］がチェックされている場合は、パソコンが再起動したのち、イージーウィザードが起動します。

インストールが完了しました。



8 CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出す。



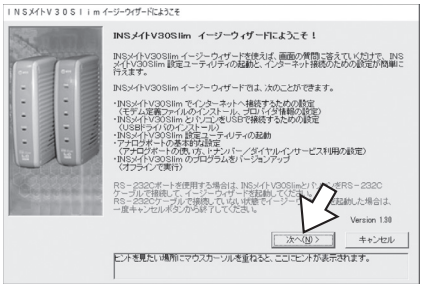
「USB ポートを使うには」へ進みます。（☛P41）

USB ポートを使うには

本商品の USB ポートとパソコンの USB ポートを接続して使うために、イージーウィザードを使って、USB ドライバーをインストールします。
操作を始める前に、本商品とパソコンが接続されていないことを確認してください。

ユーティリティのインストールの操作（☛P38）に続けてイージーウィザードが起動します。

1 右の画面が表示されたら、[次へ >] をクリックする。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

● **イージーウィザードを起動するには**

Windows® 10 の場合、［スタート］ボタンをクリックし、［INS メイト V30Slim ユーティリティ］－［INS メイト V30Slim イージーウィザード］をクリックする。
Windows® 8.1 の場合は、スタート画面で [↓] ボタンをクリックし、［INS メイト V30Slim ユーティリティ］－［INS メイト V30Slim イージーウィザード］をクリックする。
Windows® 7 の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］－［INS メイト V30Slim ユーティリティ］－［INS メイト V30Slim イージーウィザード］をクリックする。
起動中の画面が表示され、手順 1 の画面が表示されます。
起動するまでに時間がかかることがあります。

● **イージーウィザードを利用できないときは**

イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。
（☛「参考情報」の「手動設定編」）

お知らせ

● ご利用のパソコンによっては、本書の画面どおりに進まないことがあります。その場合は、画面の説明に従って進めてください。

お願い

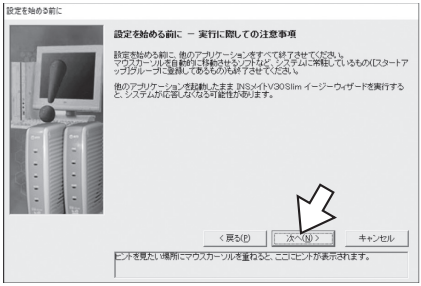
● ご利用のパソコンによっては、イージーウィザードが起動しなかったり、操作の途中で止まる場合があります。このようなときは「イージーウィザードが利用できないときは」（☛「参考情報」）を参照して USB ドライバーのインストールを行ってください。

USB ポートを使うには

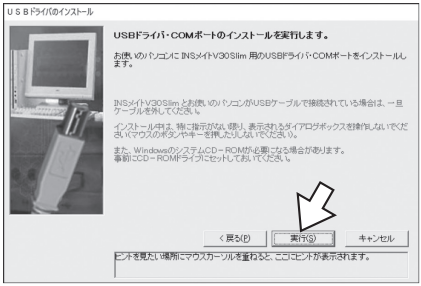
(前ページの続きです)

2 [次へ>] をクリックする。

※すでに USB ドライバーがインストールされた状態で、本商品とパソコンを USB ケーブルで接続していない状態の場合、イージーウィザードを起動するとドライバーアンインストールの実行画面になります。



3 [実行] をクリックする。

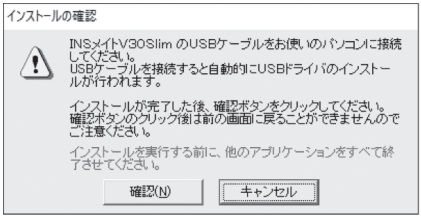


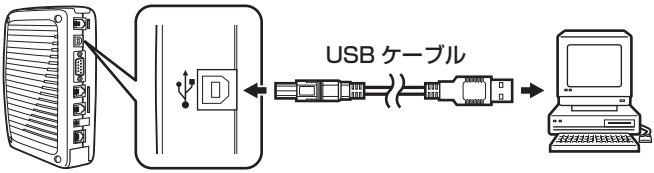
お知らせ

● 手順 2 でドライバーのアンインストールを実行した場合は、ユーティリティのアンインストール（☛P164）を行い、再度ユーティリティのインストール（☛P38）を行ってください。

4 画面の説明に従って、USB ケーブルを接続する。

USB ケーブルを接続すると、ドライバーのインストールが自動的に行われます。

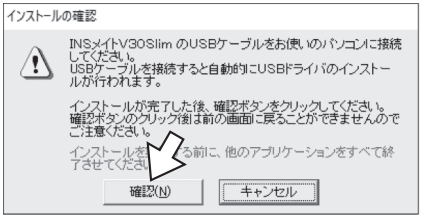




USB ポート

5 USB ドライバーがインストールされたのを確認したのちに、［確認］をクリックする。

コントロールパネルから［デバイスマネージャー］を起動し、［モデム］に［INSMATEV30Slim USB］が登録されていることを確認してください。



（次ページへ続きます）

STOP お願い

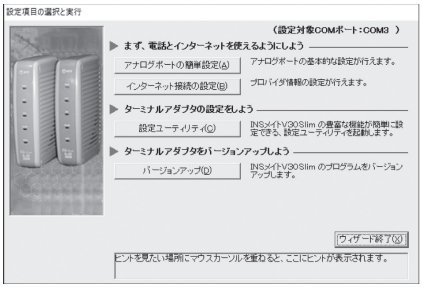
● ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

USB ポートを使うには

（前ページの続きです）

6 ［設定終了］をクリックする。

イージーウィザードが起動し、［設定項目の選択と実行］画面が表示されます。
インストール後は、自動的に［アナログポートの簡単設定］、［インターネット接続の設定］が順に起動します。
インストールが完了しました。



引き続き、「アナログポートの設定を行うには」（☛P45）へ進みます。

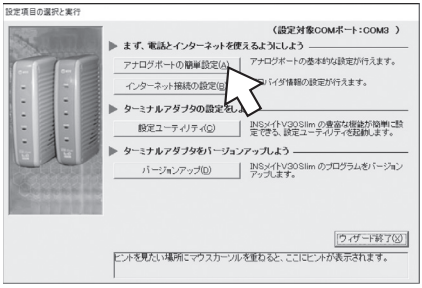
アナログポートの設定を行うには

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で、アナログ通信機器を使うための設定を行います。アナログポートの簡単設定では、アナログポートに接続する機器、キャッチホン（☛P82）、INS ナンバー・ディスプレイ（☛P108）、i・ナンバー（☛P116）、ダイヤルイン（☛P118）の設定が行えます。

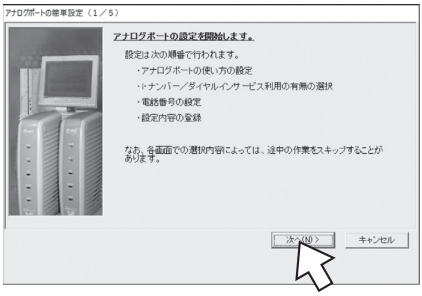
アナログポートの簡単設定を開始する

各設定画面での操作方法は「設定ユーティリティの基本操作」（☛P53）を参照してください。
インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、手順 2 から開始します。

1 イージーウィザードの［設定項目の選択と実行］画面で、［アナログポートの簡単設定］をクリックする。

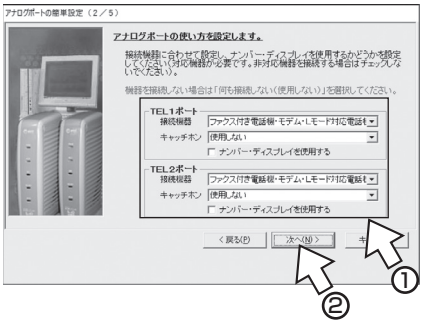


2 ［次へ>］をクリックする。



3 接続する機器、キャッチホン、ナンバー・ディスプレイの設定を行う。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。

- 接続機器
  ［電話機］［ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機］を選択します。何も接続しない場合は、［何も接続しない（使用しない）］を選択します。



（次ページへ続きます）

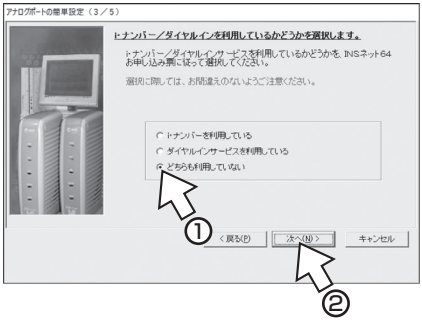
アナログポートの設定を行うには

（前ページの続きです）

- キャッチホン（☛P82）
  INS キャッチホンを契約している場合は、[INS キャッチホン]、契約していない場合は、[疑似キャッチホン] を選択します。キャッチホンを使用しない場合は、[使用しない] を選択します。
- ナンバー・ディスプレイ（☛P108）
  INS ナンバー・ディスプレイを利用する場合は、[ナンバー・ディスプレイを使用する] をチェックします。

4 i・ナンバー、ダイヤルインを利用するかどうかを選択し、[次へ>] をクリックする。

どちらも利用しない場合は、[どちらも利用していない] が選択されていることを確認し、[次へ>] をクリックします。



- i・ナンバーを利用する場合は、「i・ナンバーを設定する」へ進みます。（☛P48）
- ダイヤルインを利用する場合は、「ダイヤルインを設定する」へ進みます。（☛P49）

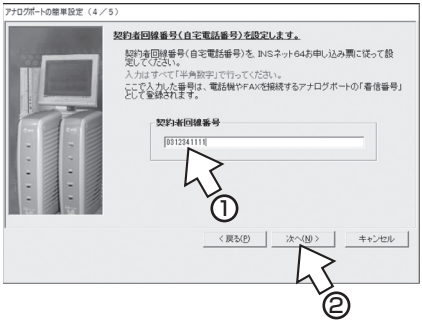
ワンポイント

● 1 つ前の画面に戻るには
設定の途中で間違いに気づいたときは、[<戻る] をクリックすると、1 つ前の画面に戻ることができます。

お知らせ

● すでにダイヤルインまたは i・ナンバーを設定している場合でも、手順 4 では [どちらも利用していない] が選択された画面が表示されます。
● すでにダイヤルインまたは i・ナンバーを設定しているときに、手順 4 で [どちらも利用していない] を選択し、P47 の手順 5、6 の操作を行うと、以前のダイヤルインまたは i・ナンバーの設定は無効になります。
● すでにダイヤルインを設定しているときに、手順 4 で [i・ナンバーを利用している] を選択し、「i・ナンバーを設定する」（☛P48）の操作を行うと、i・ナンバーの設定が有効になります。
● すでに i・ナンバーを設定しているときに、手順 4 で [ダイヤルインサービスを利用している] を選択し、「ダイヤルインを設定する」（☛P49）の操作を行うと、ダイヤルインの設定が有効になります。

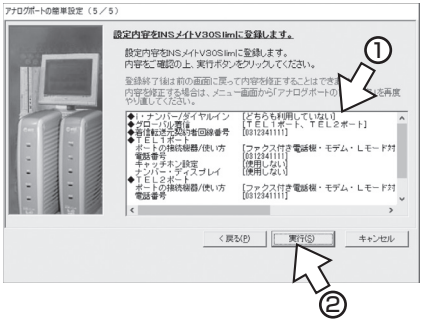
5 契約者回線番号（自宅電話番号）を市外局番から入力し、［次へ>］をクリックする。



6 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。



必要に応じて次のページをご覧ください。
・「インターネット接続編」（☛P59）
・「電話／ファクス編」（☛P73）

アナログポートの設定を行うには

i・ナンバーを設定する

［ｉ・ナンバーを利用している］を選択した場合は、続けてｉ・ナンバーの設定を行います。

1 ｉ・ナンバー情報１に契約者回線番号、ｉ・ナンバー情報２～３に追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。

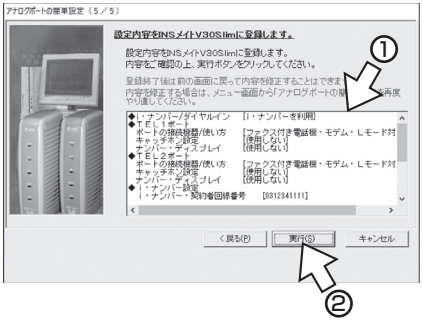
設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。

［入力値は例です］

2 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。



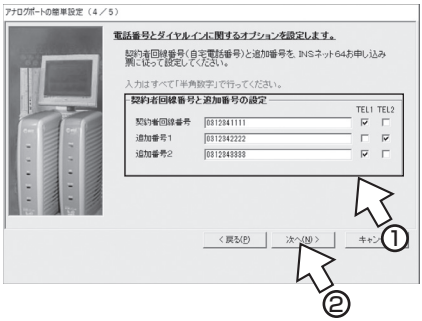
必要に応じて次のページをご覧ください。

・「インターネット接続編」（☛P59）
・「電話／ファクス編」（☛P73）

ダイヤルインを設定する

［ダイヤルインサービスを利用している］を選択した場合は、続けてダイヤルインの設定を行います。

1 契約者回線番号、追加の電話番号を入力し、割り当てるアナログポートをチェックする。設定が終わったら、［次へ>］をクリックする。



［入力値は例です］

2 設定内容を確認し、［実行］をクリックする。

以上でアナログポートの設定は完了です。

インストール操作に続けてイージーウィザードを起動したときは、アナログポートの簡単設定に続けてインターネット接続の設定を行うことができます。

必要に応じて次のページをご覧ください。

- 「インターネット接続編」（☛P59）
- 「電話／ファクス編」（☛P73）

設定ユーティリティを起動するには

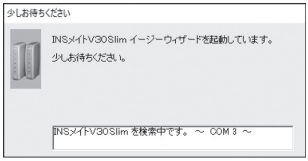
イージーウィザードの画面から、本商品のいろいろな機能を簡単に設定するための設定ユーティリティを起動することができます。設定ユーティリティを起動するときは、本商品がパソコンに接続されていることを確認してください。
設定ユーティリティは、他のアプリケーションを終了してから起動してください。

1 Windows® 10 の場合、[スタート] ボタンをクリックし、[INS メイト V30Slim ユーティリティ] − [INS メイト V30Slim イージーウィザード] をクリックする。

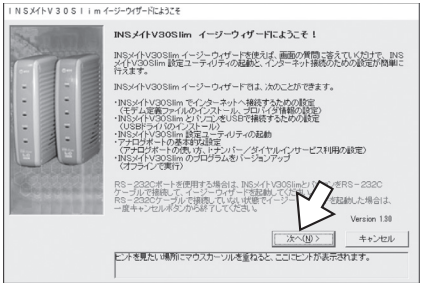
Windows® 8.1 の場合は、スタート画面で [↓] ボタンをクリックし、[INS メイト V30Slim ユーティリティ] − [INS メイト V30Slim イージーウィザード] をクリックする。

Windows® 7 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] − [INS メイト V30Slim ユーティリティ] − [INS メイト V30Slim イージーウィザード] をクリックする。

イージーウィザードが起動します。(起動するまでに時間がかかることがあります。)
起動中は、右の画面が表示されます。



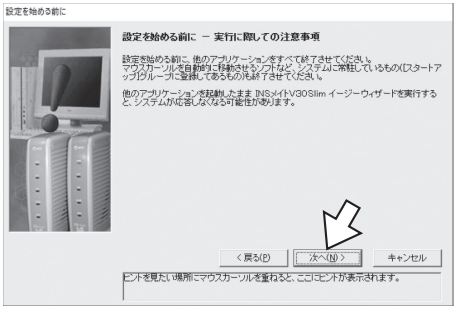
2 右の画面が表示されたら、[次へ >] をクリックする。



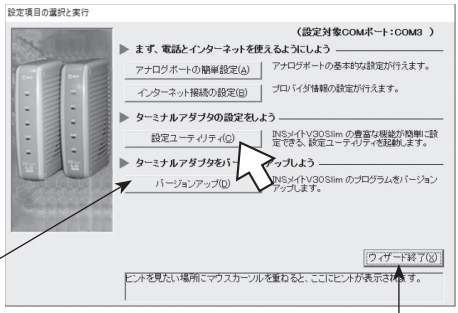
お知らせ

● 本商品を接続しないでイージーウィザードを起動すると、[USB ドライバーの確認] 画面が表示されます。この場合は、[キャンセル] をクリックしていったん終了し、本商品の接続を確認して、もう一度イージーウィザードを起動してください。

3 ［次へ>］をクリックする。



4 ［設定ユーティリティ］をクリックする。



本商品のプログラムをバージョンアップします。（☛P169）

イージーウィザードを終了します。ボタンをクリックすると、終了確認の画面が出ますので、［終了］をクリックします。

ワンポイント

● **設定ユーティリティ起動中に着信があると**

［COM ポート x がオープンできません］または「AT コマンドエラー」と表示されるので、［OK］をクリックします。以降は「設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合」（☛P52）の操作を行ってください。

引き続き、設定ユーティリティの基本操作（☛P53）へ進みます。

設定ユーティリティを起動するには

設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合

次のような場合は、「COM ポートの検索に失敗しました。」というエラーメッセージが表示されます。

- **本商品の電源アダプタ、RS-232C ケーブル、USB ケーブルが正しく接続されていない場合**
  電源アダプタや RS-232C ケーブル、USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
  接続を確認したうえで、エラーメッセージの画面で［OK］をクリックすると、次の画面が表示されます。
  本商品が接続されているポートを選択して［OK］をクリックすると、設定ユーティリティのメニュー画面が表示されます。
  または、次の画面で［キャンセル］をクリックして再度設定ユーティリティを起動します。

- **USB ドライバーが正常にインストールされなかった場合**
  一度 USB ドライバーをアンインストール（☛P163）したあと、再度 USB ドライバーのインストールを行ってください。

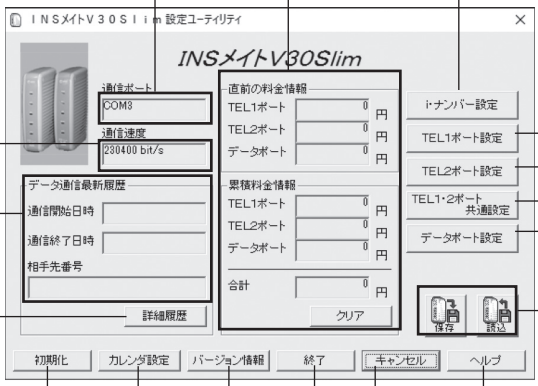
設定ユーティリティの基本操作

設定ユーティリティのメニュー画面、各設定画面では次のように操作します。

メニュー画面からの操作

1 イージーウィザードを起動し、設定ユーティリティを起動する。（☛P50）

2 設定ユーティリティのメニュー画面で、設定する項目のボタンをクリックする。



各ポートの料金情報（☛「参考情報」）

パソコンで使用している通信ポート

本商品とパソコン間の通信速度

最新の通信開始日時、終了日時、相手先番号

データ通信の詳細履歴が表示されます。（☛「参考情報」）

お買い求め時の設定に戻します。（☛P166）

カレンダの設定を行います。（☛P56）

バージョン情報が表示されます。（☛「参考情報」）

設定内容を本商品に保存し、設定ユーティリティを終了します。（☛P54）

i・ナンバーの設定を行います。（☛「参考情報」）

TEL1 ポートの設定を行います。（☛「参考情報」）

TEL2 ポートの設定を行います。（☛「参考情報」）

TEL1ポート、TEL2ポート共通の設定を行います。（☛「参考情報」）

データポートの設定を行います。（☛「参考情報」）

ヘルプが表示されます。（☛「参考情報」）

設定を中止します。設定内容が本商品に保存されずに、設定ユーティリティが終了します。

保存
現在の設定をファイルに保存します。（☛「参考情報」）

読込
以前保存した設定をファイルから読み込みます。（☛「参考情報」）

〈設定ユーティリティのメニュー画面〉

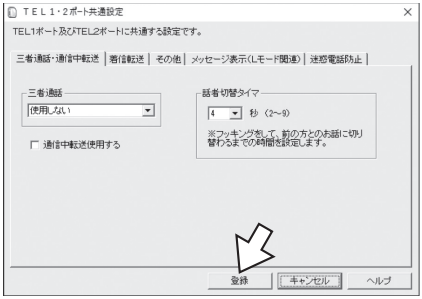
（次ページへ続きます）

設定ユーティリティの基本操作

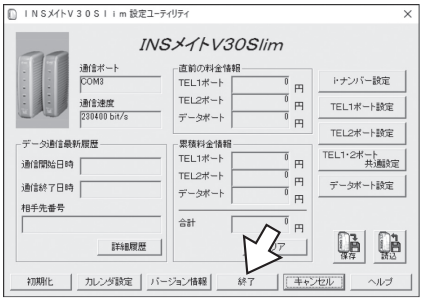
（前ページの続きです）

3 各設定画面で［登録］をクリックする。

右の画面は TEL1・2 ポート共通設定画面の場合の一例です。

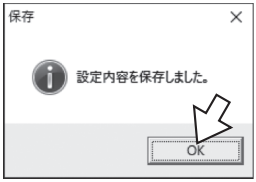


4 ［終了］をクリックする。



5 ［OK］をクリックする。

設定内容が本商品に保存され、終了します。



必要に応じて以下のページをご覧ください。

- 「カレンダを設定するには」（☛P56）
- 「設定ユーティリティの活用」（☛「参考情報」）

電話やファクスの機能を設定するときは、「電話／ファクス編」（☛P73）からご覧ください。

お知らせ

● メニュー画面で［キャンセル］をクリックして設定ユーティリティを終了すると、設定内容が本商品に保存されず、データ通信や停電などにより設定が元に戻ってしまうことがあります。

設定画面の基本操作

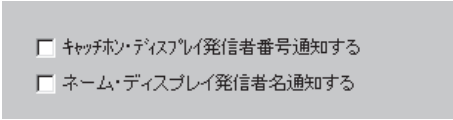
設定ユーティリティの各設定画面では次のように操作します。

●項目に▼があるとき

表示されているものが現在の設定内容です。変更するときは、▼をクリックして、一覧から設定するものを選択します。

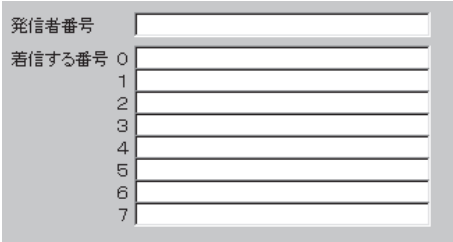
● 項目に□があるとき

複数の項目を選択できます。選択するときは□をクリックして☑にします。



● 入力欄があるとき

入力欄をクリックして、数値や電話番号を入力します。



● 項目に○や◉があるとき

グループ内で 1 つの項目を選択します。◉が現在選択されているものです。変更するときは、○をクリックして◉にします。

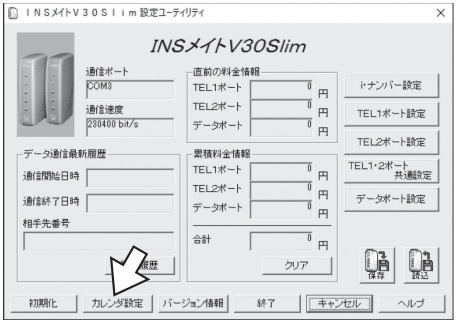
お知らせ

● 設定項目を囲む四角い枠 ┈┈┈ および電話番号などの入力欄のカーソルは、パソコンの［Tab］キーで移動できます。

カレンダを設定するには

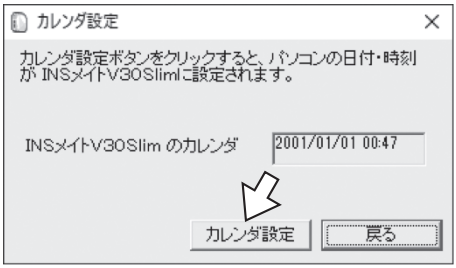
日付・時刻を設定します。

1 設定ユーティリティのメニュー画面で［カレンダ設定］をクリックする。



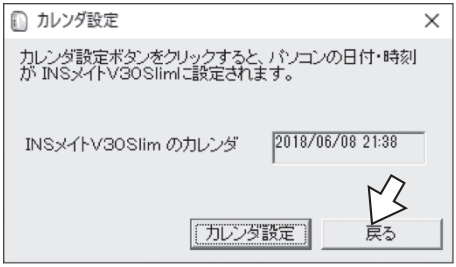
2 ［カレンダ設定］をクリックする。

パソコンに記憶されている日付・時刻が本商品に設定されます。



3 ［戻る］をクリックする。

メニュー画面に戻ります。



お知らせ

- 設定時は、パソコンに記憶された日付・時刻が設定されますが、以後はパソコンの時刻とずれる場合があります。
- 本商品の時刻は目安としてご利用ください。
- 本商品に電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、カレンダ設定はクリアされます。

「パソコン活用編」について

付属の CD-ROM「参考情報」の「パソコン活用編」は、設定ユーティリティの各画面の詳しい説明、INS メイト V30Slim で利用できるいろいろな通信機能についての説明を収録した電子マニュアルです。必要に応じて参照してください。

「パソコン活用編」の内容

■ 設定ユーティリティの活用

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INS メイト V30Slim を使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

■ RS-232C ポートの設定

イージーウィザードを使った RS-232C ポートの設定方法を説明しています。

インターネット接続編

1　準備 …… 60
2　ご参考 …… 70

インターネットへ接続するまでの手順

ここでは、ご使用の OS に付属しているソフトウェアで、インターネットに接続する手順について説明しています。
本商品を使ってインターネットへ接続するまでの手順は、次のようになります。

プロバイダへ加入する

- インターネットサービスプロバイダ（プロバイダともいいます）は、インターネットへの接続業者です。インターネットに接続するには、プロバイダに加入する必要があります。
- プロバイダへ加入すると、ユーザ ID、パスワード、DNS サーバの IP アドレス、アクセスポイントの電話番号などの情報が通知されます。
- 料金やアクセスポイント、128 K マルチリンク PPP（MP）（☛「参考情報」）対応、BACP（☛「参考情報」）対応などを調べて、適したプロバイダを選択してください。詳細は、加入するプロバイダへお問い合わせください。

INS ネット 64 回線に接続する

- 付属の電話機コードで、本商品背面の「LINE」と、壁などにあるモジュラジャックをつなぎ、電源を入れます。（☛ 取扱説明書（簡易版）、P29）

パソコンとの接続方法を決める

- RS-232C ポートに接続する方法、USB ポートに接続する方法があります。

必要なソフトウェアをインストールする（☛P38）

イージーウィザードでインターネットへ接続するための設定を行う

- イージーウィザードを使ってインターネット接続の設定を行います。
- プロバイダから通知された情報をもとに、インターネットへ接続するための設定を行います。（☛P63）

インターネットへ接続する

- INS ネット 64 回線を使ってインターネットへ接続します。
- インターネットのさまざまなサービスをご利用になるには、各サービス用のソフトウェアが必要です。別途ソフトウェアをご用意ください。

ご参考

イージーウィザードを使わないで接続の設定を行う

- イージーウィザードをご利用になれない場合は、手動で設定を行います。
- インターネット接続に必要なソフトウェア（TCP ／ IP ソフトウェア、PPP モジュール）がパソコンにインストールされているかどうかを確認します。必要なソフトウェアがない場合は、各ソフトウェアの CD-ROM などからインストールします。
- プロバイダから通知された情報をもとに、インターネットへ接続するための設定を行います。
  付属の CD-ROM「参考情報」に収録した「手動設定編」を参照してください。

必要なものを確認する

ご使用の OS に付属しているソフトウェアを利用して、インターネットに接続するための設定を行う必要があります。接続の設定を行う前に、必要なものを確認しておきましょう。

■ インターネット接続に必要なソフトウェア

Windows® には、インターネットで標準となっている通信プロトコル（TCP/IP）を利用するためのソフトウェア、プロバイダのアクセスポイントにダイヤルしてサーバに接続するためのソフトウェアが付属しています。

■ ブラウザ

ホームページを見るためのソフトウェアです。Web ブラウザ、WWW ブラウザということもあります。代表的なブラウザとして、Microsoft Edge®、Internet Explorer® があります。OS に付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

■ 電子メールソフト

インターネットで電子メールを送信、受信するためのソフトウェアです。Windows® 10、Windows® 8.1 は標準の Windows メールが利用できます。Windows® 7 は OS 付属のメールソフトがありませんので、市販品またはフリーウェアをご利用ください。

お知らせ

- 本書での説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカ、パソコンメーカ、インターネットサービスプロバイダなどへお問い合わせください。
- Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とアイコン表示モード（大きいアイコン／小さいアイコン）があります。この取扱説明書の画面は通常表示モードを前提に記述しています。
- 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

イージーウィザードで接続の設定をする

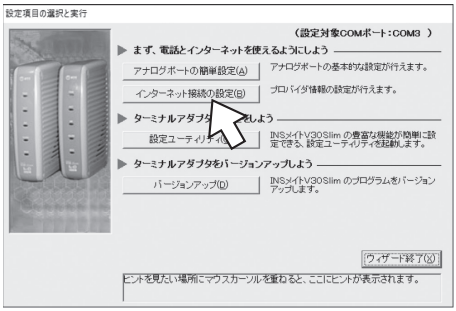
イージーウィザードを使って、インターネット接続に必要な設定を行うことができます。
設定には、プロバイダから通知されたユーザ ID、アクセスポイントなどの情報が必要です。
この作業を行う前に、本商品にパソコンを接続する準備とアナログポートの簡単設定を行ってください。詳しくは、「パソコン準備編」（☛P35）を参照してください。
「アナログポートの簡単設定」に続けてインターネット接続の設定を行う場合は、手順４から開始します。

1 本商品とパソコンの接続を確認して、それぞれの電源を入れる。

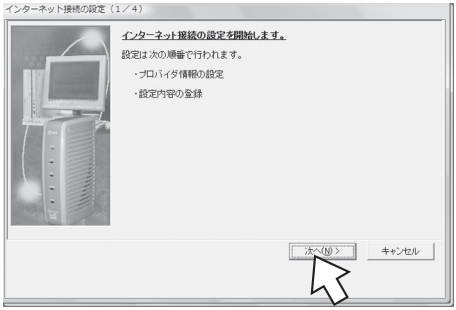
2 イージーウィザードを起動する。（☛P50）

3 ［設定項目の選択と実行］画面で、「インターネット接続の設定」をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。



4 ［次へ>］をクリックする。



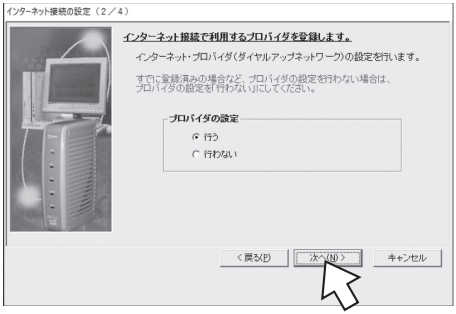
（次ページへ続きます）

イージーウィザードで接続の設定をする

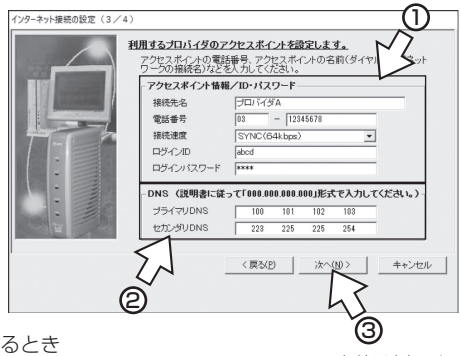
（前ページの続きです）

5 ［プロバイダの設定］の［行う］が選択されていることを確認し、［次へ>］をクリックする。

設定を中止するときは、［行わない］を選択してください。



6 プロバイダの情報を設定し、［次へ>］をクリックする。



［入力値は例です］

- **アクセスポイント情報／ID・パスワード**

  ［接続先名］：接続するプロバイダ名など、わかりやすい名前を入力します。

  ［電話番号］：アクセスポイントの電話番号を入力します。

  ［接続速度］：利用する接続速度を選択します。

  - 同期 64 kbit/s のアクセスポイントへ接続するとき［SYNC（64kbps)］
  - MP128 kbit/s のアクセスポイントへ接続するとき［MP（128kbps)］

  ［ログイン ID］：プロバイダから通知されたログイン ID（ユーザ名、アカウント名など）を入力します。

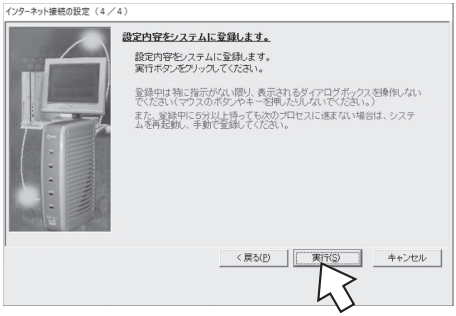
  ［ログインパスワード］：プロバイダから通知されたパスワードを入力します。

- **DNS**

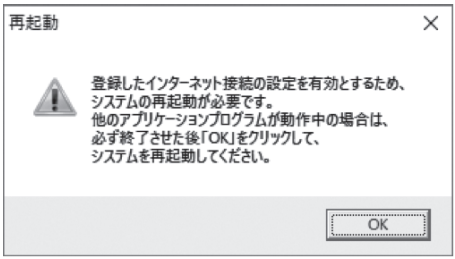
  プロバイダから通知された DNS（ドメインネームサーバ）サーバの IP アドレスを入力します。
  プロバイダによっては、DNS サーバの IP アドレスを入力する必要がない場合もあります。
  「xxx.xxx.xxx.xxx」のように入力します。XXX の部分は、3 桁以内の半角数字を入力します。
  最初の 3 桁の数字を入力すると、自動的にカーソルが次の 3 桁の入力位置へ移動するので、続けてすべての数字を入力してください。
  いずれかの入力位置で数字が 3 桁未満の場合は、「.」（ピリオド）を入力するか、右矢印キーを押して、次の入力位置へカーソルを移動してください。

7 ［実行］をクリックする。

設定した内容でダイヤルアップ接続を登録します。登録後、設定を有効とするためのシステム再起動確認ダイアログが表示されます。



8 ［OK］をクリックして、システムを再起動してください。



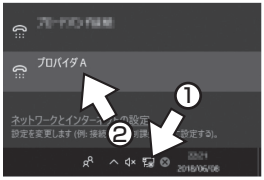
「インターネットに接続する」へ進みます。

・Windows® 10 の場合（☛P66）
・Windows® 8.1 ／ 7 の場合（☛P68）

インターネットに接続する（Windows® 10）

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

1 タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、イージーウィザードで作成したダイヤルアップ接続をクリックする。



2 イージーウィザードで作成したダイヤルアップ接続を選択し、［接続］をクリックする。

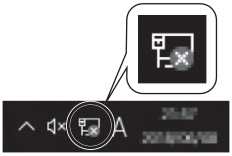
3 ［ユーザー名］、［パスワード］が入力されていることを確認し、［ダイヤル］をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルし、回線が接続されます。

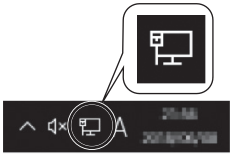
［入力値は例です］

インターネット接続時は、タスクバーのネットワークアイコンの表示が右図のように変わります。

接続していないとき



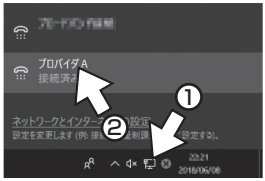
接続しているとき



4 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。
ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。

5 終了するときは、タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、該当するダイヤルアップ接続をクリックする。



6 ネットワークとインターネット設定 のダイヤルアップ接続一覧から該当するダイヤルアップ接続を クリックし、[切断] をクリックする。

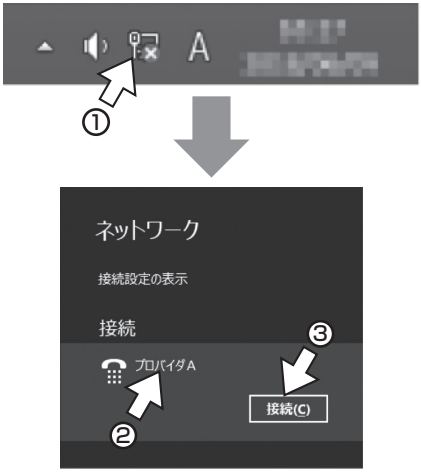
お知らせ

- 回線を正常に切断できない場合には、本商品の電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。
- 接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

インターネットに接続する（Windows® 8.1 ／ 7）

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
画面は Windows® 8.1 の例です。

1 タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、イージーウィザードで作成したダイヤルアップ接続を選択し、［接続］をクリックする。

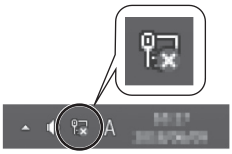


2 ［ユーザー名］、［パスワード］が入力されていることを確認し、［ダイヤル］をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルし、回線が接続されます。

インターネット接続時は、タスクバーのネットワークアイコンの表示が右図のように変わります。

接続していないとき

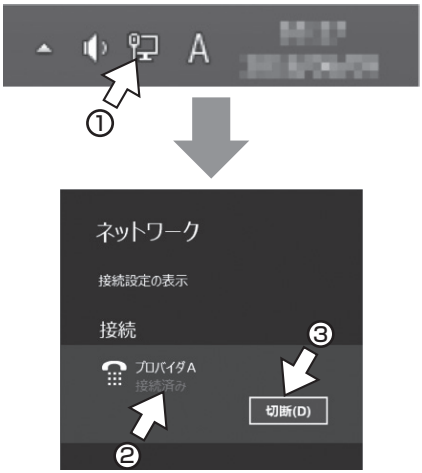


接続しているとき

3 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。
ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。

4 終了するときは、タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、該当するダイヤルアップ接続を選択し、［切断］をクリックする。



お知らせ

- 回線を正常に切断できない場合には、本商品の電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。
- 接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

手動設定について

付属のCD-ROM「参考情報」の「手動設定編」は、イージーウィザードを利用できない場合のソフトウェアのインストール、インターネット接続の設定についての説明を収録した電子マニュアルです。必要に応じて参照してください。

付属のCD-ROM「参考情報」の手動設定編の内容

イージーウィザードが利用できない場合に必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明します。

インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント

●インターネットにうまく接続できないときは

インターネットに接続できないときの、主なチェックポイントです。「故障かな？と思ったら」（☛P182）と合わせてご確認ください。

●アクセスポイントの電話番号

電話回線用（モデム用）や非同期 V.110 のアクセスポイントでは通信できません。利用する通信モードのアクセスポイントに設定されているか確認してください。

●ドメインネームサーバの IP アドレス

「DNS 項目にありません」「このサーバーは見つかりません」などの通知が表示される場合は、DNS（ドメインネームサーバ）の IP アドレスやドメイン名の設定が間違っていないか確認してください。

●ユーザ名、パスワード

本商品の ACT ランプが点灯したあとに切断されるような場合は、ユーザ名（ユーザ ID、PPP ログイン名などと呼ばれることもあります）、パスワードが正しく設定されているか確認してください。大文字、小文字の違いを正しく設定しているか確認してください。

●インターネットにつながらない

- USB ポートをご利用の場合
  USB ドライバーをインストールしていない場合はインストールしてください。（☛P41）
- RS-232C ポートをご利用の場合
  本商品とパソコンの通信速度が一致していないことが考えられますので、パソコンの通信速度の設定を確認してください。
- 接続先モデムの確認
  作成したダイヤルアップ接続の接続画面からプロパティをクリックして開き、［接続先の方法］で INSMATEV30Slim が選択されていることを確認して下さい。

●所在地情報

所在地情報が正しく設定されているか確認してください。
所在地情報は次の方法で確認できます。（［国名／地域］には［日本］を選択してください。）
コントロールパネルの表示方法を［小さいアイコン］に変更し、［電話とモデム］をクリックする。

インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント

● Q&A

Q.接続可能なインターネットサービスプロバイダの条件には何があげられますか。

A.同期（64 kbit/s）、または MP（128 kbit/s）のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダであれば接続可能です。非同期 V.110 のアクセスポイントには接続できません。

Q.フロー制御は何をサポートしていますか。

A.RS/CS によるハードフローをサポートしています。

Q.データ通信の接続手順は何ですか。

A.AT コマンドです。V.25bis などには対応していません。

Q.データ通信の MP（PPP Multilink Protocol）には対応していますか。

A.対応しています。MP 方式のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダに接続するときは、B チャネル 2 本を使用して 128 kbit/s のデータ通信ができます。

Q.ターミナルソフトで AT と入力したが OK が返ってこないのですが。

A.次の点を確認してください。

- AT の次にリターンキーを押しましたか。
- aT や At と入力していませんか。
- 漢字変換により全角文字になっていませんか。
- RS-232C ポートをご利用の場合
  - ・RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか。
  - ・RS-232C ケーブルは付属品（ストレートタイプ）で接続していますか。
  - ・本商品とパソコンの通信速度は一致していますか。
- USB ポートをご利用の場合
  - ・USB ケーブルは正しく接続されていますか。
  - ・USB ドライバーをインストールしましたか。

Q.AT コマンドによる設定は 1 コマンドずつしか記述できませんか。

A.AT コマンドは連続して記述できます。

Q.インターネット接続のための設定は。

A.接続先のインターネットサービスプロバイダの指定に従った設定が必要です。一般的には、DNS サーバの設定、通信モード（同期 64 kbit/s または MP128 kbit/s）、アクセスポイントの電話番号、ユーザ名およびパスワードの設定が必要です。

Q.DNS とは何ですか。

A.Domain Name Server の略で、数値（例えば 111.11.2.3 など）ではわかりにくい端末のアドレス体系を、人間にわかりやすい文字列（ドメインネーム：例えば ced.nttca.com など）で表現できるようにするものです。

電話／ファクス編

1　すぐに使えます ･････････････････ 74
2　電話のいろいろな使いかた ････････ 81
3　ファクスのいろいろな使いかた･ 103
4　発信者番号の通知と表示 ･･････ 106
5　電話やファクスの呼び分け ････ 114
6　転送／メッセージ録音 ････････ 126
7　電話機からの設定 ･････････････ 136

電話をかける／ファクスを送るには（発信）

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に 2 つのアナログポートを使用できます。ただし、パソコンで B チャネル 1 本を使用しているときは、電話機は 1 台しか使用できません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
20 秒以内に手順 2 の操作を行ってください。
20 秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

2 電話番号（最大 32 桁）を押す。

最後の番号を押したあと、約 4 秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）

3 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、#ボタンによる発信、サブアドレスを追加した発信はできません。
- 続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約 2 秒以上置いてからダイヤルしてください。
- パソコンで 2 本の B チャネルを使用しているときは、リソース BOD を「発信／着信時に使用する」または「発信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☛「参考情報」）

ワンポイント

● **発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）**

お買い求め時は 4 秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：74）（☛P142）

PCで設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **(#) ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）**

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを(#)ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：75）（☛P142）

PCで設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **サブアドレスを指定して電話をかけるには**

相手の電話番号を押したあとに、(＊)ボタン、サブアドレス（最大 19 桁）を押します。

〈例〉0312345678　(＊)　12345

↑　　↑

電話番号　　サブアドレス

● **受話音量を調節するには**

電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。

TELで設定（機能番号：17）（☛P148）

PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **ダイヤル式（DP）電話機をお使いの場合は（ダイヤル種別）**

ダイヤル種別を「DP 固定」に設定します。

TELで設定（機能番号：18）（☛P148）

PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **発信を規制するには（発信規制）**

アナログポートに接続した電話機やファクスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0 発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。

0 発信規制：1 桁めに 0 がつく電話番号をダイヤルしたときは発信できません。

外線発信規制：すべての外線発信ができません。

TELで設定（機能番号：22）（☛P148）

PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」）（☛「参考情報」）

発信規制を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。

● **アナログポートを使用しない場合は**

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。（☛P45）

TELで設定（機能番号：08）（☛P146）

PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」）（☛「参考情報」）

電話を受ける／ファクスを受けるには（着信）

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの 1 つのポートを使用中でも、着信を受けられます。
2 つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴る。

2 ハンドセットを取りあげて、相手とお話しする。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

● **ファクスに転送するには（内線転送）**（☛P80）
相手がファクスのときは、ハンドセットを取りあげると「ポー・ポー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファクスを接続している場合は、次の操作でファクスを受信することができます。
フッキングする→ ⊛ ⊛ ⓪ を押す→ハンドセットを置く

● **着信音で相手を識別するには（INS なりわけサービス／疑似なりわけ）**
あらかじめ登録した相手からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。（☛P86）

● **着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）**
着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。（☛P81）

● **着信を拒否するには**
着信拒否を「する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。アナログポートごとに設定できます。
TEL で設定（機能番号：16）（☛P148）
PC で設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」）（☛「参考情報」）
着信拒否を設定していても、内線からの呼び出しを受けることができます。また、TEL2 ポートの着信拒否を設定していても、FAX 自動転送（☛P103）は着信します。

● **アナログポートを使用しない場合は**
イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。（☛P45）
TEL で設定（機能番号：08）（☛P146）
PC で設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」）（☛「参考情報」）

● **特定の電話番号からの着信を拒否するには（迷惑電話防止）**
あらかじめ登録した電話番号からの着信を拒否することができます。（☛P90）

お知らせ

● パソコンで 2 本の B チャネルを使用しているときは、リソース BOD を「発信／着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☛「参考情報」）

内線でお話しするには　（内線通話）

2 つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話しすることができます。本商品を INS ネット 64 に接続していなくても内線通話は利用できます。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
INS ネット 64 回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。

2 フッキングする。

「プップップッ…」という音が聞こえます。
20 秒以内に手順 3 の操作を行ってください。
20 秒過ぎると、話中音が聞こえます。

3 ⊛⊛⓪ を押す。

「プルプル、プルプル…」という呼出音が聞こえます。

4 呼び出された方が出たら、お話しする。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

● **フックングとは**

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

● **フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）**

フッキングの長さを「短い」、「普通」、「長い」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：73）（☛P142）
PCで設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **内線着信の発信者番号を表示するには（内線着信ナンバー・ディスプレイ）**

ナンバー･ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定しているときは、TEL1 ポートからの発信は「001」、TEL2 ポートからの発信は「002」と通知されます。

TELで設定（機能番号：10）（☛P146）
PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」）（☛「参考情報」）

● **内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）**

お買い求め時は「プルプル、プルプル…」（呼出信号 2）に設定されています。「プルルル、プルルル…」（呼出信号 1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：15）（☛P148）
PCで設定（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **内線でお話し中に電話がかかってきたときは**

INS キャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☛P82）

● **内線機能を停止するには**

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：64）（☛P140）
PCで設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

お知らせ

● 手順 3 で ⊛ ⊛ ⓪ 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
● ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。
● 接続機器を「接続しない」に設定したアナログポートでは、内線機能をご利用になれません。

外からの電話を取りつぐには（内線転送）

2 つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話し中に、もう一方の電話機に転送することができます。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20 秒以内に手順 2 の操作を行ってください。
20 秒過ぎると、外の相手との通話に戻ります。

2 ⊛⊛⓪ を押す。

「プルプル、プルプル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。

4 ハンドセットを置く。

ワンポイント

- **フッキングとは（☛P79）**
- **内線で呼び出す音を変えるには（内線呼出信号設定）（☛P79）**
- **内線機能を停止するには**
  内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。
  PCで設定（機能番号：64）（☛P140）
  TELで設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）
- **転送を取りやめるには**
  手順 1 でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取りあげると、保留にしていた方ともう一度お話しできます。
- **相手が応答しなかったときは**
  フッキングすると、外の相手とのお話しに戻ることができます。
- **相手が応答する前に転送するには**
  手順 2 の呼出中に受話器を置くと相手が応答する前に転送することができます。

お知らせ

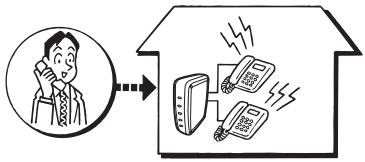
- 手順 2 で ⊛⊛⓪ 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- 内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約 30 秒後に電話が切れます。

着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）

設定5

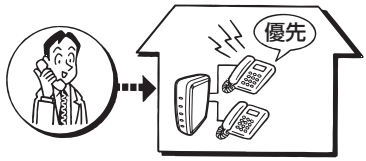
2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。

お買い求め時の設定では



両方のアナログポートの電話機を呼び出す

優先着信ポートを指定すると



指定したアナログポートの電話機を呼び出す

● 必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機　能	TELで設定（☛P140）	PCで設定（☛「参考情報」）	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号：62	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」：TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」：TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」：TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す

ワンポイント

● INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン（☛P82）を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

お話し中にかかってきた電話を受けるには（INS キャッチホン／疑似キャッチホン）

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。
INS キャッチホンと疑似キャッチホンの 2 つの方法があります。

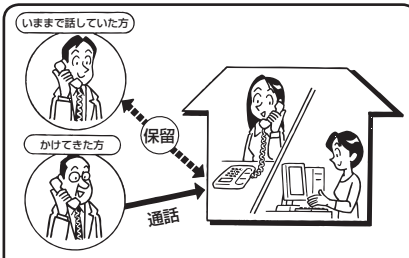
INS キャッチホン

設定

お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● **必要な契約**
INS キャッチホンの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**
INS キャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



ほかのポートを使っていても電話に出られる。
また、キャッチホンでお話し中でも、他のポートに接続した機器で通信することができる。

INS キャッチホンを設定する

TEL で設定 （☛P144）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→設定する TEL ポートの番号（①または②）→ ⓪ ② →⊛→ ② → ⊞ →ハンドセットを置く

PC で設定

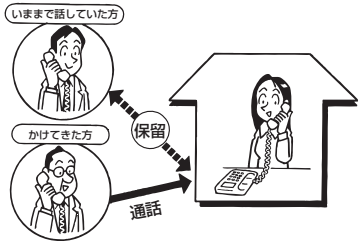
イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）

疑似キャッチホン

設定

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● 必要な設定
疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとに疑似キャッチホンの設定が必要です。



ほかのポートで電話やファクスを使っていたり、インターネットを利用しているときは、応答できない。

疑似キャッチホンを設定する

TEL で設定 （☛P144）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→設定する TEL ポートの番号（①または②）→ ⓪ ② →⊛→①→ ⊞ →ハンドセットを置く

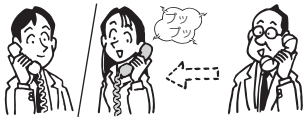
PC で設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）

お話し中にかかってきた電話を受けるには（INS キャッチホン／疑似キャッチホン）

お話し中にかかってきた電話に出る

1 外の相手とお話し中に「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえる。



2 相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

あとからかけてきた方に切り替わります。

3 あとからかけてきた方とお話しする。

疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
INS キャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。

4 最初に話していた方とお話しするには、もう一度フッキングする。

ワンポイント

● **フッキングとは（☛P79）**

● **両方のアナログポートに電話機を接続しているときは**
キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。（☛P81）

● **INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと**
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた相手とお話しができます。

● **特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには（通信中着信識別通知）**
通信中着信識別通知を利用すると、登録されている相手からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。（☛P89）

お知らせ

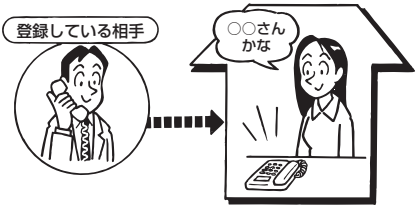
● フレックスホンについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● 次の場合は、INS キャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。
- 接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」で、かつ HLC（高位レイヤ整合性）設定が「する」になっているとき
- 相手の高位レイヤ整合性が「G2 ／ G3 ファクス」になっているとき

● FAX 自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2 ポートでは INS キャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。（☛P103）
● 他のアナログポートでフレックスホン（☛P18）のいずれかの機能を利用しているときは、INS キャッチホンをご利用になれません。
● INS キャッチホンの場合、三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順 4 でフッキングすると「プップップッ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話しができます。
● 通信中着信通知サービス（☛P18）をご契約していて、両方のアナログポートに INS キャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話し中に電話がかかってきたときは、TEL1 ポートに接続した電話機から「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえます。
● 疑似キャッチホンのご利用には、INS ネット 64 の付加サービス契約は必要ありません。
● 疑似キャッチホンは B チャネル 2 本を使用するため、以下の制限があります。
- 2 つのアナログポートで同時に利用できません。
- B チャネル 2 本を同時に使用しているときは利用できません。
- お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
- 新たな着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには（INS なりわけサービス／疑似なりわけ）

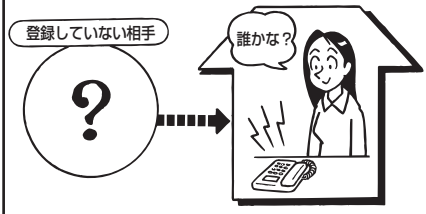
あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けないようにするかを選択できます。
なりわけには、INS なりわけサービスと疑似なりわけの 2 つの方法があります。

特定の相手からかかってきたとき



通常と異なる着信音（プルプル、プルプル…）が鳴る

その他の相手からかかってきたとき



通常の着信音（プルルル、プルルル…）を鳴らす／電話を受け付けない

INS なりわけサービス

相手が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

● 必要な契約

INS なりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大 10 件の電話番号を登録できます。

● 必要な設定

INS なりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INS なりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。
i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS なりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
INS なりわけ	機能番号：05（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「なりわけ」（☛「参考情報」）	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「なりわけ」（☛「参考情報」）	次のどちらかを選択する 「識別リンギング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号（i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合のみ）	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」（☛「参考情報」）	INS なりわけサービスを契約している電話番号（最大 32 桁）を入力する

ワンポイント

● **INS なりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには**

INS なりわけサービスを契約し、INS なりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INS なりわけサービスは 1 つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大 10 件、疑似なりわけは 1 つのアナログポートにつき最大 10 件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大 20 件なりわけられます。

お知らせ

● INS なりわけサービスについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。

お願い

● i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS なりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ

設定

相手が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

● 必要な契約

一般の電話回線からの電話を識別するには、INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。
アナログポートごとに、最大 10 件の電話番号を登録できます。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号：06 （☛P146）	TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「なりわけ」（☛「参考情報」）	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 （☛P146）	TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「なりわけ」（☛「参考情報」）	次のどちらかを選択する 「識別リンギング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない

（次ページへ続きます）

特定の相手からかかってきた電話を識別するには（INS なりわけサービス／疑似なりわけ）

（前ページの続きです）

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号：90～99（☛P152）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「なりわけ」（☛「参考情報」）	識別する電話番号（最大 32 桁）を市外局番から入力する サブアドレス（最大 19 桁）も登録できる

ワンポイント

● **相手が発信者番号を通知しないでかけてきたときは**

疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リンギング	セキュリティ（着信拒否）
通常の着信音が鳴る（プルルル、プルルル…）	電話を受け付けない

● **INS なりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには**

INS なりわけサービスを契約し、INS なりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INS なりわけサービスは、1 つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大 10 件、疑似なりわけは、1 つのポートにつき最大 10 件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大 20 件なりわけられます。

お知らせ

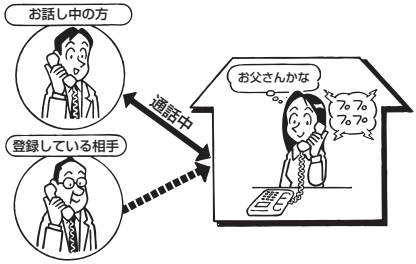
●「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。
● アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。
● 疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INS ネット 64 から送られてくる発信者番号／サブアドレスが一致すると識別されます。

お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには（通信中着信識別通知）

設定

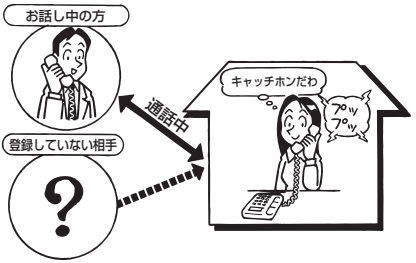
なりわけ（INS なりわけサービスまたは疑似なりわけ）と、キャッチホン（INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。
外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音（ププ、ププ…）でお知らせします。

お話し中に、特定の相手からかかってきたとき



通常と異なるキャッチホン着信音（ププ、ププ…）で知らせてくれる

お話し中に、その他の相手からかかってきたとき



通常のキャッチホン着信音（プップッ、プップッ…）で知らせてくれる

● 必要な契約

INS なりわけサービスと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。
INS なりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INS なりわけサービスの契約（有料）が必要です。
疑似なりわけと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、INS キャッチホンの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リンギング」を選択してください。
INS キャッチホン／疑似キャッチホン（☛P82、83）
INS なりわけサービス／疑似なりわけ（☛P86、87）
TEL で設定（☛P144、146、152）
PC で設定（☛「参考情報」）

ワンポイント

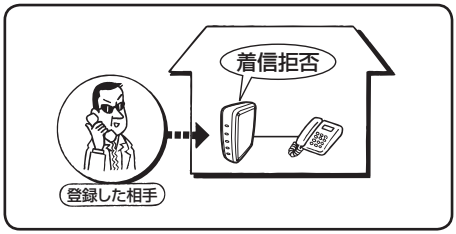
● お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときは
なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リンギング	セキュリティ（着信拒否）
通常のキャッチホンでお知らせする（プップッ、プップッ…）	電話を受け付けない

特定の相手からかかってきた電話の着信を拒否するには（迷惑電話防止）

設定

着信履歴に残っている相手の電話番号を迷惑電話番号として登録すると、相手が通知してきた発信者番号と照合して、一致したときは自動的に拒否することができます。このとき、相手には話中音が聞こえます。
迷惑電話番号は、最大 20 件まで登録できます。電話番号が通知されない「非通知」の電話を拒否することもできます。



● **必要な契約**
番号を通知してくるのは、INS ネット 64、携帯電話機、PHS 対応電話機からの着信です。一般の電話回線からかかってくる迷惑電話を防止するには、INS ナンバー･ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**
迷惑電話を切った直後にその番号を登録する方法、あらかじめ迷惑電話番号を登録しておく方法があります。また、非通知の電話を着信拒否するかどうかを設定することもできます。

迷惑電話を切った直後に設定する

迷惑電話を切った直後に電話機で以下の操作を行うと、直前の電話の相手の番号が迷惑電話番号として登録され、迷惑電話防止をセットすることができます。
キャッチホン（☛P82）で、お話し中にかかってきた電話に出た場合は、迷惑電話番号として登録できません。

TEL で設定

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→フッキング→⊛→⊛①⑧④（「プップッ」という確認音が聞こえ、設定されます）→ハンドセットを置く

あらかじめ設定しておく

迷惑電話番号をあらかじめ設定しておくときは、以下の操作を行います。

TEL で設定 （☛P140）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑥⑦→⊛→電話番号（最大 32 桁）→⊞→ハンドセットを置く

PC で設定

機　能	PC で設定（☛「参考情報」）	設定内容
迷惑電話防止電話番号	TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	［着信履歴］の［この番号を登録］をクリックして電話番号を登録する

ワンポイント

● **迷惑電話番号を解除するには**

迷惑電話番号を解除すると、登録している電話番号すべてがクリアされます。

TELで設定 ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑥⑦→⊛→#→ハンドセットを置く

PCで設定 TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」（☛「参考情報」）

お知らせ

● 迷惑電話防止機能を便利に利用するためには、INS ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
● もう一方のアナログポートに接続した電話機で設定を行っているときは、迷惑電話番号を登録することはできません。
● データポートへの着信に対して、着信拒否を設定することはできません。
●「110」、「118」、「119」を迷惑電話防止電話番号として登録しても、設定は無効になります。着信を拒否することはできません。

非通知の着信拒否を設定する

電話番号が通知されない着信を拒否することができます。

TELで設定 （☛P140）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑥⑥→⊛→⓪→#→ハンドセットを置く

PCで設定

機　能	PCで設定（☛「参考情報」）	設定内容
非通知拒否	TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	非通知の着信拒否をする場合は、「拒否する」をチェックする

お知らせ

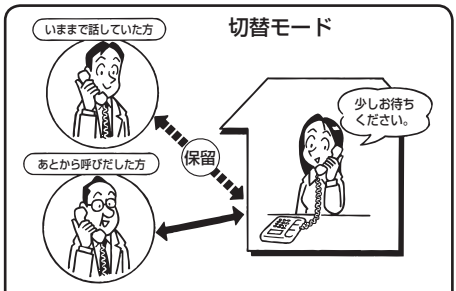
● 非通知拒否を「拒否する」に設定すると、次の着信を拒否します。
・INS ナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に一般の電話回線から着信したとき
・公衆電話からかかってきたとき
・相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
・INS ナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

3人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

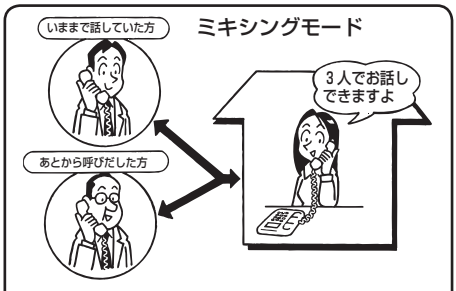
外の相手とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しすることができます。
フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の2つの方法があります。

フレックスホン三者通話（切替モード／ミキシングモード）

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートを使用中でも、三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しできる



最初に話していた方とあとから呼び出した方と同時に3人でお話しできる

● 必要な契約

フレックスホンの三者通話機能の契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

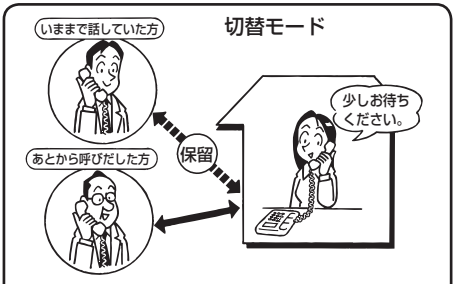
三者通話の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☛P138）	PCで設定（☛「参考情報」）	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「三者通話する」を選択する

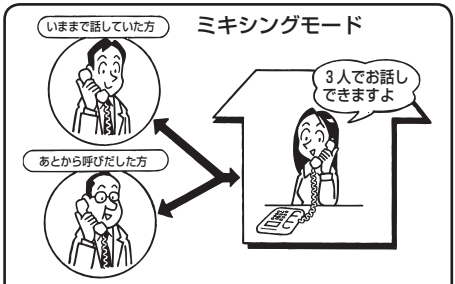
疑似三者通話（切替モード／ミキシングモード）

設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、３人でお話しできます。ほかのポートが空いているときに三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、３人同時にお話しする「ミキシングモード」があります。



最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しできる



最初に話していた方とあとから呼び出した方と同時に３人でお話しできる

● 必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☛P138）	PCで設定（☛「参考情報」）	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

（次ページへ続きます）

3 人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

（前ページの続きです）

相手を切り替えてお話しする（切替モード）

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20 秒以内に手順 2 の操作を行ってください。
20 秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約 4 秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
疑似三者通話の場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
フレックスホン三者通話の場合、最初に話していた方には、保留メロディが流れます。

3 相手が出たら、お話しする。

4 お話しする相手を切り替えるには、フッキングする。

フレックスホン三者通話の場合、「プップップッ…」という発信音が聞こえたあと、約 4 秒後に別の相手に切り替わります。（話者切替タイマ）

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

3人で同時にお話しする（ミキシングモード）

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。この段階では外の相手には何も聞こえません。20秒以内に手順2の操作を行ってください。20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。

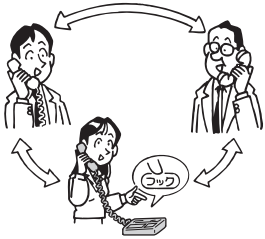
最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）

3 相手が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。約4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）

4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話しできます。
お話し中に一方が電話を切っても、もう一方との通話は継続できます。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

（次ページへ続きます）

3 人でお話しするには（フレックスホン三者通話／疑似三者通話）

（前ページの続きです）

ワンポイント

● **発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）**
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TEL で設定（機能番号：74）（☛P142）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **(#) ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）**
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを (#) ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。
TEL で設定（機能番号：75）（☛P142）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **フッキングとは（☛P79）**

● **相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）**
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TEL で設定（機能番号：72）（☛P140）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☛「参考情報」）

● **三者通話のモードを変えるには**
次の操作でモードを変えることができます。
- 切替モードからミキシングモードへ
  1 対 1 でお話し中にフッキングして、「プップップッ…」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。
- ミキシングモードから切替モードへ
  3 人でお話し中にフッキングします。「プップップッ…」という音が聞こえたあと、前の相手に切り替わります。

● **三者通話（切替モード）中にハンドセットを置くと**
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話しできます。

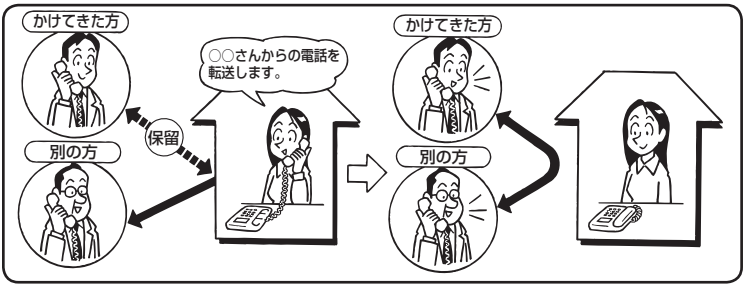
お知らせ

● 三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金がかかります。
● 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☛P18）の三者通話をご利用になれません。
● フレックスホンについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● 三者通話（ミキシングモード）中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。
● 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
● ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、(#) ボタンによる発信はできません。
● ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「プップップッ…」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送（☛P97）の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送される場合があります。
● 疑似三者通話と通信中転送（☛P97）を同時に設定した場合は、通信中転送が優先され、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用になれない場合があります。
● 疑似三者通話は B チャネル 2 本を同時に使用するため、以下の制限があります。
- 2 つのアナログポートで同時に利用できません。
- B チャネル 2 本を同時に利用しているときは利用できません。
- お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）

設定

外の相手からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。
あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



● **必要な契約**

フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。

● **必要な設定**

通信中転送の設定が必要です。

機　能	TELで設定（☛P138）	PCで設定（☛「参考情報」）	設定内容
通信中転送	機能番号：51	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「使用する」を設定する

お話し中に転送する

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。

2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「プルルル、プルルル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。

（次ページへ続きます）

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）

（前ページの続きです）

3 相手が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「プップップッ…」という発信音が聞こえます。4 秒以内に手順 4 の操作を行ってください。4 秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）

4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。

ワンポイント

● **フッキングとは（☛P79）**

● **発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）**
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TEL で設定（機能番号：74）（☛P142）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **(#) ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）**
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを (#) ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。
TEL で設定（機能番号：75）（☛P142）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● **相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）**
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TEL で設定（機能番号：72）（☛P140）
PC で設定（TEL1・2 ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☛「参考情報」）

● **通信中転送を中止するには**
ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話しできます。

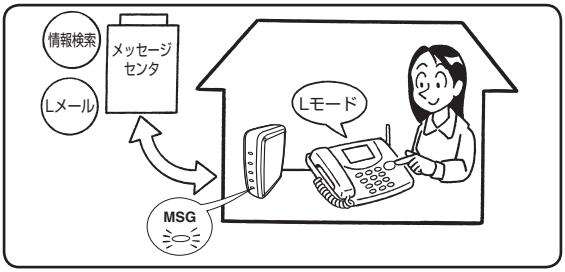
お知らせ

● 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☛P18）の通信中転送をご利用になれません。
● フレックスホンについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● こちらからかけた電話を転送することはできません。
● 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
● 通信中転送と疑似三者通話（☛P93）を同時に設定した場合は、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用になれない場合があります。
● ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、(#) ボタンによる発信はできません。

L モードを利用するには

設定

本商品は、L モードに対応した電話機を接続してご利用になれます。L メールがセンタに届いたときに、L モード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、本商品の MSG ランプを点灯させたりすることができます。



● **必要な契約**

L モードの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**

MSG ランプ設定（L モード関連）またはメッセージあり情報通知（L モード関連）の設定が必要です。
また、L モードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
L モードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・本商品の MSG ランプを点灯させる場合

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
MSG ランプ設定（L モード関連）	機能番号：76（☛P142）	TEL1・2 ポート共通設定画面「メッセージ表示（L モード関連）」（☛「参考情報」）	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 1」（☛「参考情報」）	L モードを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
メッセージあり情報通知（L モード関連）	機能番号：09（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「メッセージあり情報通知する」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 1」（☛「参考情報」）	L モードを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01（☛P144）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 2」（☛「参考情報」）	「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」を選択する

（次ページへ続きます）

L モードを利用するには

（前ページの続きです）

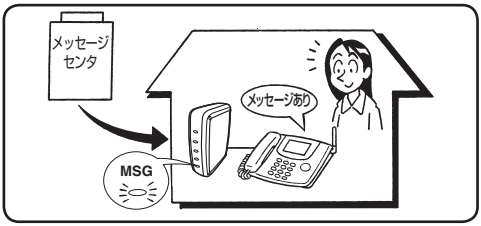
お知らせ

- メッセージあり情報通知（☛P101）を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/Tユニットの S/T 端子に他の INS ネット 64 用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- L モードを利用できる電話番号は、各アナログポートに 1 つのみです。
- MSG ランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- L モードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☛P120）を同時に利用することはできません。
- MSG ランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSG ランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- L モード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- L モードについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
  ※「L モード」サービスは、平成 22 年 3 月 31 日をもってサービス提供を終了しています。

INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

設定

本商品では、INS ネット 64 の INS メッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、本商品の MSG ランプを点灯させたり、INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



● 必要な契約

INS メッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

MSG ランプ設定（L モード関連）またはメッセージあり情報通知（L モード関連）の設定が必要です。
また、INS メッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・本商品の MSG ランプを点灯させる場合

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
MSG ランプ設定（L モード関連）	機能番号：76（☛P142）	TEL1・2 ポート共通設定画面「メッセージ表示（L モード関連）」（☛「参考情報」）	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 1」（☛「参考情報」）	INS メッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
メッセージあり情報通知（L モード関連）	機能番号：09（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「する」を選択する
発信者番号	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 1」（☛「参考情報」）	INS メッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01（☛P144）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 2」（☛「参考情報」）	「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」を選択する

（次ページへ続きます）

INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

（前ページの続きです）

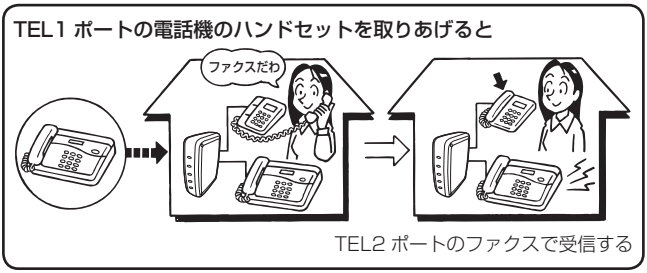
お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/Tユニットの S/T 端子に他の INS ネット 64 用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに 1 つのみです。
- MSG ランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☛P120）を同時に利用することはできません。
- MSG ランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSG ランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
  ※「INS メッセージ到着お知らせサービス」は、平成 26 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

ファクスを自動転送するには（FAX 自動転送）

設定

TEL1 ポートに電話機、TEL2 ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



● 必要な設定

電話機を TEL1 ポート、ファクスを TEL2 ポートに接続します。
FAX 自動転送の設定が必要です。

	TEL で設定（☛P140）	PC で設定（☛「参考情報」）	設定内容
FAX 自動転送	機能番号：65	TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

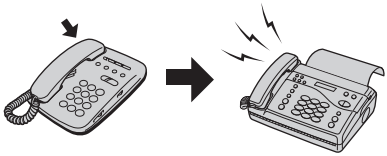
1 電話機の着信音が鳴る。

2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー…」という音が聞こえ、TEL2 ポートのファクスへ自動転送されます。

3 「プープー…」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。



（次ページへ続きます）

ファクスを自動転送するには（FAX 自動転送）

設定

（前ページの続きです）

ワンポイント

● **ファクスの着信音を鳴らさずに受信するには**
TEL2 ポートの FAX 無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。（☛P105）

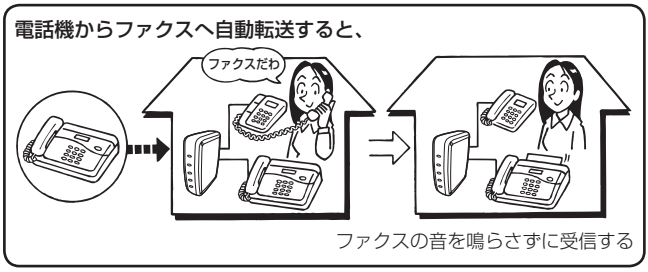
お知らせ

- TEL1 ポートにファクス、TEL2 ポートに電話機を接続した場合、ファクスの自動転送はできません。
- TEL2 ポートが使用中の場合、または TEL1 ポートでお話し中にキャッチホンで応答した場合は、自動転送されません。
- 「プープー…」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
- TEL2 ポートに接続したファクスが約 30 秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。このとき、相手には通話料金がかかります。
- TEL2 ポートのファクスに自動転送した場合は、転送先のファクスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。
- FAX 自動転送を「する」に設定すると、TEL2 ポートではキャッチホンはご利用になれません。
- 相手がファクス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。
- 相手からファクス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。（☛P76）

着信音を鳴らさずにファクスを受信するには　（FAX 無鳴動着信）

設定

無鳴動信号 1300 Hz 対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。
この機能をご利用になるには、FAX 自動転送または接続機器の設定が必要です。



● 必要な設定

アナログポートごとに FAX 無鳴動着信の設定が必要です。
無鳴動信号 1300 Hz を受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。
FAX 無鳴動着信は、次の場合にご利用になれます。

- FAX 自動転送（☛P103）を設定し、TEL2 ポートのファクスに自動転送したとき
  FAX 無鳴動着信、FAX 自動転送の設定が必要です。
- HLC 設定（高位レイヤ整合性）を「しない」に設定しているとき、および接続機器の設定を「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」、HLC 設定（高位レイヤ整合性）を「する」に設定している場合に、高位レイヤ整合性を G2 ／ G3 ファクスに設定した通信機器から着信したとき（☛「参考情報」）
  FAX 無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

■ 設定例

TEL1 ポートに電話機、TEL2 ポートに無鳴動信号 1300 Hz 対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX 自動転送の設定を行います。（☛P103）
TEL2 ポートに FAX 無鳴動着信の設定が必要です。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
FAX 無鳴動着信	機能番号：29（☛P150）	TEL2 ポート設定画面「その他」（☛「参考情報」）	「FAX 無鳴動着信する」を設定する
FAX 自動転送	機能番号：65（☛P140）	TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」（☛「参考情報」）	「FAX 自動転送」を設定する

お知らせ

● 次のような場合は、接続機器の設定によって FAX 無鳴動着信を利用することはできません。FAX 自動転送によってご利用になることはできます。
- 相手が一般の電話回線からファクスを送信したとき
- 相手の高位レイヤ整合性の設定が G2 ／ G3 ファクス以外のとき
- 本商品の接続機器の設定が「電話機」で、かつ HLC 設定が「する」に設定されているとき

発信者番号の通知について

設定

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INS ネット 64 のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機との通信でご利用になれます。

■ 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。
サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（☛P124）
ｉ・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（☛P148、「参考情報」）

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INS ネット 64 ご契約時の内容、本商品の発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

● INS ネット 64 ご契約時の内容

INS ネット 64 のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信者番号通知の設定

ポートごとに「通知する」、「通知しない」、「INS ネット 64 申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INS ネット 64 申込内容に従う」に設定されています。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	本商品の設定	ダイヤル操作		
		相手番号（通常の操作）	184 ＋相手番号	186 ＋相手番号
通常通知（通話ごと非通知）	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INS ネット 64 申込内容に従う	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INS ネット 64 申込内容に従う	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

●設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知	機能番号：21 (☛P148)	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」 (☛「参考情報」) データポート設定画面「発信・着信」 (☛「参考情報」)	次のいずれかを選択する 「通知する」：発信者番号を通知する 「通知しない」：発信者番号を通知しない 「INSネット64申込内容に従う」:INSネット 64 の契約時の内容（「通常通知」または「通常非通知」）に従って通知する

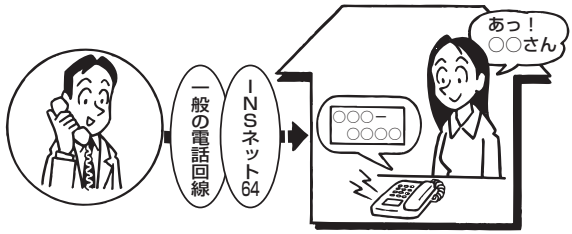
お知らせ

- 発信者番号通知を「通知する」または「通知しない」に設定し、i・ナンバー（☛P116）を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。
  TELで設定（機能番号：20）（☛P148）
  PCで設定（☛「参考情報」）
- 発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー（☛P116）を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択した i・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示するには（INS ナンバー・ディスプレイ）

設定

一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



一般の電話回線からでも発信者の電話番号が通知される

● **必要な契約**

INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。
相手が INS ネット 64 ご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

● **必要な設定**

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INS ナンバー・ディスプレイを設定する

TEL で設定 （☛P146）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→設定する TEL ポートの番号（①または②）→①⓪→⊛→①→#→ハンドセットを置く

PC で設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）

ワンポイント

● **サブアドレスも表示させるには**

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TEL で設定（機能番号：11）（☛P146）

お知らせ

- INS ナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者番号は通知されません。

（次ページへ続きます）

一般回線からの電話番号も表示するには（INS ナンバー・ディスプレイ）

（前ページの続きです）

■ 相手の電話番号が通知されない理由（非通知理由）

次の場合は、電話番号は通知されずに非通知理由が通知されます。

- 公衆電話からかかってきたとき
- 相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- INS ナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する（INS ナンバー・リクエスト）

電話番号を通知しないでかけてきた相手に、「こちらは○○○です。おそれいりますが、電話番号の前に186 をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

● 必要な契約

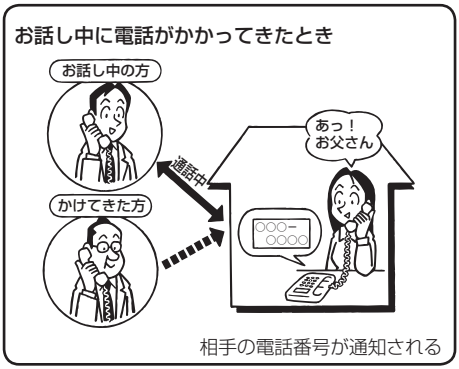
INS ナンバー・リクエストの契約（有料）が必要です。ただし、INS ナンバー・ディスプレイを契約している場合のみお申し込みいただけます。

● 必要な設定

INS ナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

キャッチホンと組み合わせて利用する（キャッチホン・ディスプレイ）

INS ナンバー･ディスプレイと､キャッチホン（INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。
外の相手とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



● 必要な契約

INS ナンバー･ディスプレイと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。
INS ナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。
相手が INS ネット 64 ご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機であれば、INS ナンバー・ディスプレイを契約していなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

● **必要な設定**

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
キャッチホン	機能番号：02（☛P144）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「INS キャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：25（☛P150）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する

ワンポイント

● **サブアドレスも表示させるには**

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

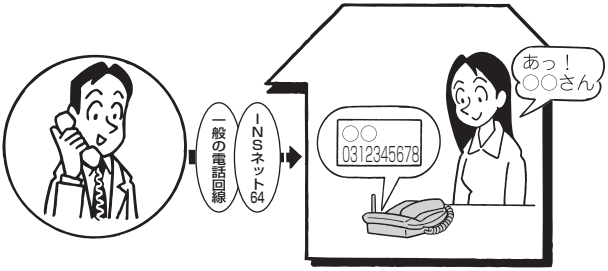
TELで設定（機能番号：26）（☛P150）

お知らせ

- INS ナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「プップッ、プップッ…」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1 秒程度、通話が途切れます。

電話をかけてきた相手の名前を表示するには（ネーム・ディスプレイ）

本商品では、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであるネーム・ディスプレイをご利用になれます。電話がかかってくると、ネーム・ディスプレイに対応したアナログ通信機器に、電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。
表示される発信者名は、かけてきた相手が NTT 東日本または NTT 西日本に申し込みをした名前になります。



一般の電話回線または INS ネット 64 回線からかけてきた相手の発信者名が通知される

● 必要な契約

INS ナンバー・ディスプレイ（有料）と、ネーム・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

● 必要な設定

アナログポートに、ネーム・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が必要です。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	機能番号：88（☛P152）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	「ネーム・ディスプレイ発信者名通知する」を設定する

ワンポイント

● **キャッチホン・ディスプレイ（☛P110）と組み合わせて利用すると**
外の相手とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。

お知らせ

● アナログ通信機器によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。
● アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
● ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
● 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者名は通知されません。
● ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※「ネーム･ディスプレイ」サービスは、平成 25 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

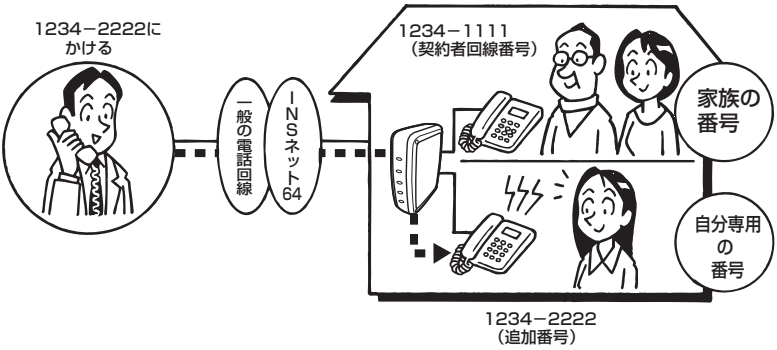
呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける（☛P116）

¥ 設定

1 回線で 2 つまたは 3 つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。



ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける（☛P118）

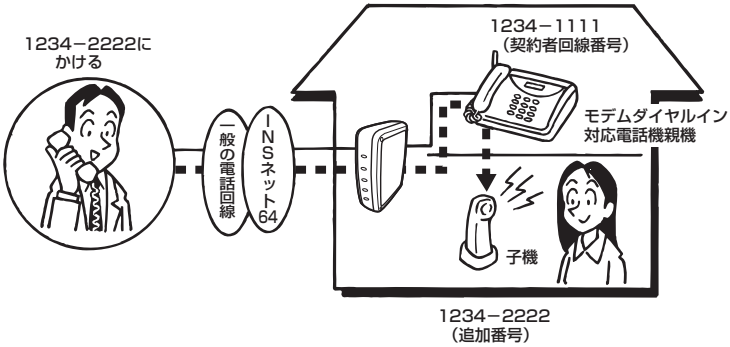
¥ 設定

i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3 つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

1 台のアナログ機器で電話番号を使い分ける（☛P120）

¥ 設定

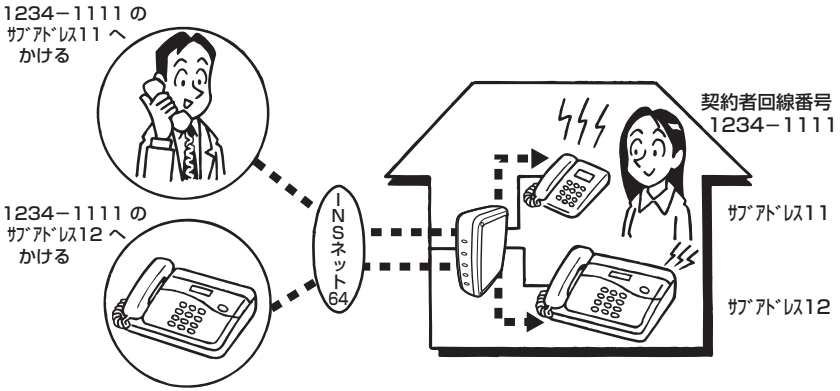
i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1 台の機器で複数の電話番号を使い分けることができます。



サブアドレスを指定して呼び分ける（☛P124）

設定

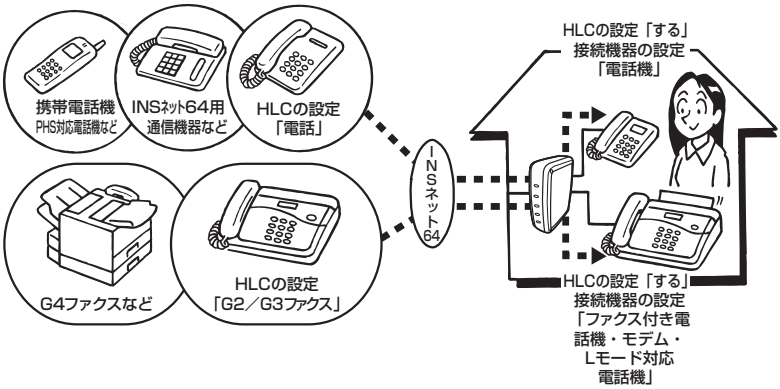
電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



HLC の設定で呼び分ける（☛P125）

設定

INS ネット 64 からの着信は、相手の HLC（高位レイヤ整合性）の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1 つの電話番号で呼び分けることができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには　（i・ナンバー）

設定

i・ナンバーをご契約になると、2 つまたは 3 つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。

● **必要な契約**

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

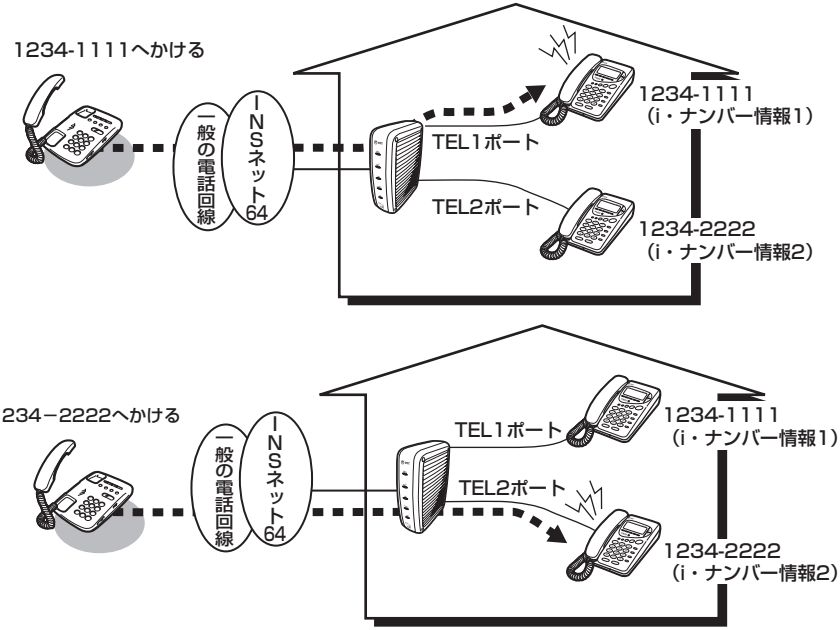
● **必要な設定**

i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1 つめの電話番号（契約者回線番号）が　i・ナンバー情報 1、2 つめの電話番号（追加番号）が　i・ナンバー情報 2、3 つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 3 となります。
お買い求め時は、1 つめの電話番号は TEL1 ポート、2 つめの追加番号は TEL2 ポートに着信するように設定されています(3 つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません)。着信するポートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

i・ナンバーを設定する

■ **設定例**

契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポート、追加番号（1234-2222）は TEL2 ポートに着信させる場合



TELで設定 （☛P144、148）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

●i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑧③→⊛→①→#→ハンドセットを置く

●i・ナンバー情報 1 の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑧④→⊛→契約者回線番号（例：12341111）→#→ハンドセットを置く

●i・ナンバー情報 2 の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→⓪→⑧⑤→⊛→追加番号（例：12342222）→#→ハンドセットを置く

● TEL1 ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→①→②⓪→⊛→契約者回線番号（例：12341111）→#→ハンドセットを置く

● TEL2 ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→②→②⓪→⊛→追加番号（例：12342222）→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）
また、設定ユーティリティの「i・ナンバー設定」で、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定を個別に設定することができます。（☛「参考情報」）

ワンポイント

● **親機と子機で番号を使い分けるには**

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。（☛P122）

お知らせ

●i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。

お願い

● 発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（☛P106）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 サービスが利用できない場合があります。

TELで設定（機能番号：20）（☛P148）　PCで設定（☛「参考情報」）

ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには（ダイヤルイン／グローバル着信）

設定

ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1 ポート、TEL2 ポートそれぞれに、最大 8 個の電話番号を設定することができます。

● 必要な契約

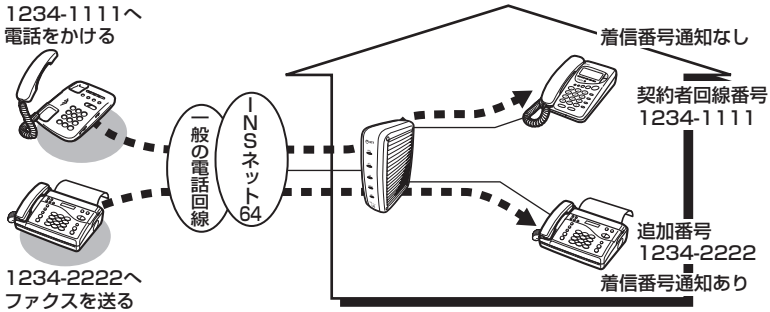
ダイヤルインの契約（有料）が必要です。
INS ネット 64 の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より 1 つ多い電話番号（追加番号が 1 つであれば 2 つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が 1 つ多く必要となります。

● 必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポート、追加番号（1234-2222）は TEL2 ポートに着信させる場合



機　能	TEL で設定	設定内容
グローバル着信	機能番号：03 （☛P144）	TEL1 ポートは「グローバル着信する」に設定する TEL2 ポートは「グローバル着信しない」に設定する
発信者番号	機能番号：20 （☛P148）	TEL1 ポートは契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2 ポートは追加番号（1234-2222）を入力する
着信する番号	機能番号：30 ～ 37 （☛P150）	TEL1 ポートの着信する番号 0 に契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2 ポートの着信する番号 0 に追加番号（1234-2222）を入力する

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）
ダイヤルインの追加番号が 3 個以上の場合は、設定ユーティリティで設定します。（TEL1 ポート設定画面／ TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」）（☛「参考情報」）

ワンポイント

● **グローバル着信とは**
契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、本商品は、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を 1 つ契約するだけで 2 台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。

● **グローバル着信を利用しないときは**
グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

● **1 台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには**
モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。（☛P122）

お知らせ

● ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。

お願い

● 発信者番号は正しく設定してください。相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知（☛P106）で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 サービスが利用できない場合があります。
TELで設定（機能番号：20）（☛P148）
PCで設定（☛「参考情報」）

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには　（モデムダイヤルイン）

設定

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。
この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

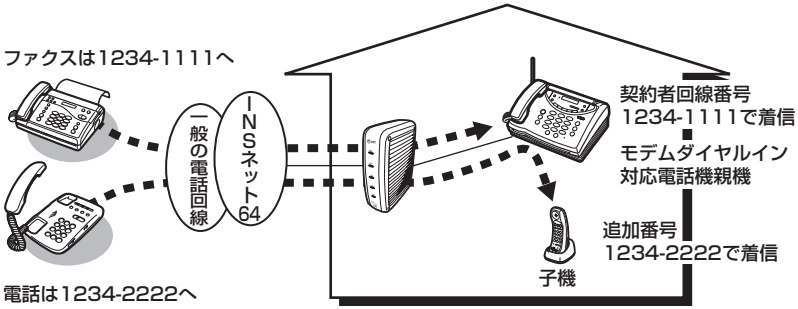
● 必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。
また、モデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（☛P144、「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめ TEL1 ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号：83 （☛P144）	i・ナンバー設定画面 （☛「参考情報」）	「使用する」を選択する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 1	機能番号：84 （☛P144）	i・ナンバー設定画面 （☛「参考情報」）	契約者回線番号（1234-1111）を入力する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 2	機能番号：85 （☛P144）	i・ナンバー設定画面 （☛「参考情報」）	追加番号（1234-2222）を入力する
i・ナンバー着信設定	機能番号：24 （☛P150）	i・ナンバー設定画面 （☛「参考情報」）	TEL1 ポートのみ i・ナンバー情報 1、i・ナンバー情報 2 着信可
発信ポート番号指定	機能番号：23 （☛P148）	i・ナンバー設定画面 （☛「参考情報」）	TEL1 ポートに i・ナンバー情報 1 を設定する
発信者番号	機能番号：20 （☛P148）	TEL1 ポート設定画面「発信・着信 1」 （☛「参考情報」）	TEL1 ポートの発信者番号として、契約者回線番号（1234-1111）または追加番号（1234-2222）を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12 （☛P146）	TEL1 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	TEL1 ポートは「する」に設定する

●このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（☛P144、「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

（次ページへ続きます）

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには　（モデムダイヤルイン）

（前ページの続きです）

ダイヤルインを利用する場合

● 必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。
INS ネット 64 の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より 1 つ多い電話番号（追加番号が 1 つであれば 2 つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が 1 つ多く必要となります。

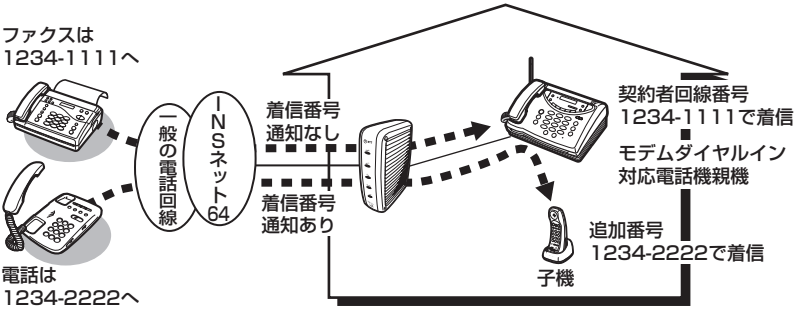
● 必要な設定

モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。
また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめ TEL1 ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤルイン用契約者回線番号	機能番号：61（☛P140）	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」（☛「参考情報」）	契約者回線番号（1234-1111）を入力する
グローバル着信	機能番号：03（☛P144）	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」（☛「参考情報」）	TEL1ポートは「グローバル着信する」を設定する
着信する番号	機能番号：30～37(☛P150)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」（☛「参考情報」）	TEL1ポートの着信する番号0に追加番号（1234-2222）を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12（☛P146）	TEL1ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」（☛「参考情報」）	TEL1ポートは「する」を設定する

●このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

ワンポイント

● **モデムダイヤルインとは**
受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。

● **モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには**
モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。
TELで設定（機能番号：13）（☛P146）

● **グローバル着信を利用しないときは**
グローバル着信の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

お知らせ

● 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、ダイヤルインの追加番号またはi・ナンバー電話番号は、アナログ通信機器に通知されません。
● モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知（☛P99、101）を同時に利用することはできません。

お願い

● i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ずi・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。
● ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を市内局番から設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには（サブアドレス）

設定

サブアドレスを設定すると、相手が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。
サブアドレスは、相手が INS ネット 64 に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

● 必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。
お買い求め時は、相手がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受けないようにするには、サブアドレスなし着信の設定を「着信しない」にします。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号：38（☛P150）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」（☛「参考情報」）） データポート設定画面「発信・着信」（☛「参考情報」）	ポートごとに任意の番号（最大 19 桁）を入力する
サブアドレスなし着信（サブアドレスなしの着信を受け付けない場合）	機能番号：04（☛P146）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」（☛「参考情報」） データポート設定画面「発信・着信」（☛「参考情報」）	サブアドレスなしの着信を受け付けない場合は、「サブアドレス着信しない」を設定する

ワンポイント

● **相手が一般の電話回線からかけてきたときは**
サブアドレスを指定できない一般の電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受けることができます。サブアドレスによる呼び分けはできません。

お知らせ

● サブアドレスなし着信を「着信しない」に設定すると、一般の電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

HLC の設定で呼び分けるには（HLC・接続機器設定）

設定

接続機器の設定に加えて、HLC 設定をすることで電話機とファクスを呼び分けることができます。
相手の HLC の設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手が INS ネット 64 から発信した場合、携帯電話機や PHS 対応電話機から発信した場合にご利用になれます。

● 必要な設定

アナログポートごとに、HLC 設定、接続機器設定が必要です。

機　能	TEL で設定	PC で設定	設定内容
HLC 設定	機能番号：39（☛P150）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 2」（☛「参考情報」））	HLC 設定を「する」に設定する
接続機器設定	機能番号：01（☛P144）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信･着信 2」（☛「参考情報」）	TEL1 ポート、TEL2 ポートに接続する機器に合わせてどちらかを選択する 「電話機」 ：HLC 設定が「電話」の相手からの着信を受ける 「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」 ：HLC 設定が「G2 ／ G3 ファクス」の相手からの着信を受ける

ワンポイント

● **相手が一般の電話回線からかけてきたときは**
一般の電話回線からの着信は、HLC が設定されていません。HLC の設定による呼び分けはできません。

● **HLC の設定の違いにより着信できないときは**
HLC の設定が異なるポートには着信しません。この場合は、HLC の設定を「しない」に設定してください。

お知らせ

● アナログポートにファクス付き電話機を接続したときは、相手が電話でもファクスでも着信を受けられるように HLC の設定を「しない」にしてください。

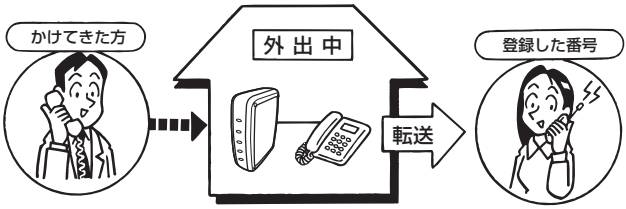
電話に出られないときのいろいろな方法

かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する（☛P128）

設定

フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。



疑似着信転送で指定した番号へ転送する（☛P128）

設定

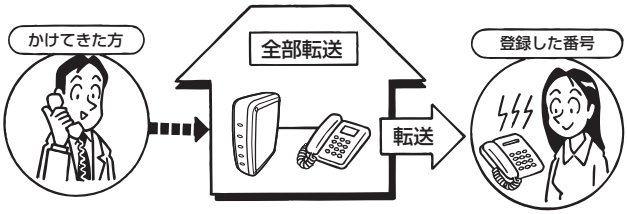
疑似着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクトで条件を指定して転送する（☛P133）

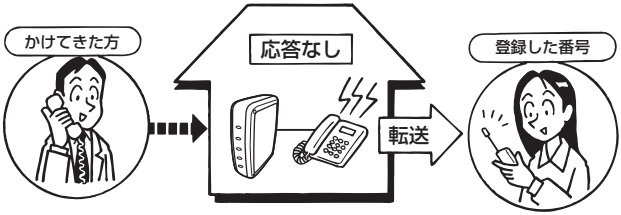
設定

かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2 つのポートを使用中に転送するの 3 つの中から、条件を選択して転送します。転送先は 5 か所まで登録できます。

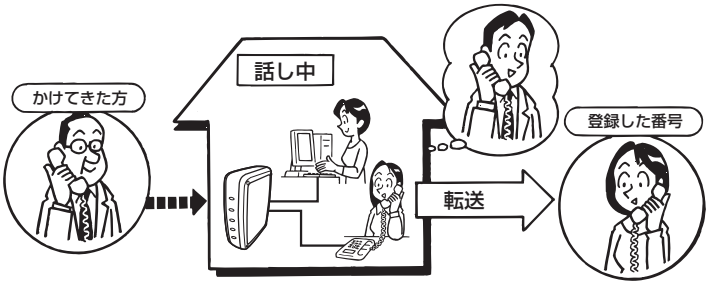
◆無条件転送



◆無応答時転送



◆話中時転送

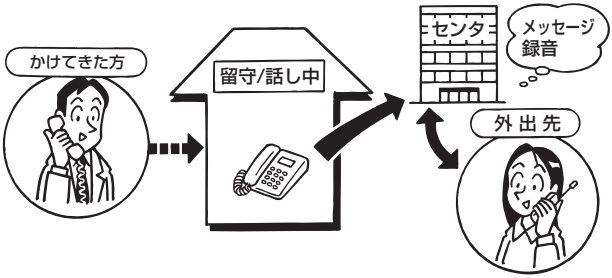


INS マジックボックスですべての電話をキャッチする

（☛P135）

¥ 設定

お話し中や不在時など、電話に出られないときは、相手に当社のメッセージセンタにメッセージを録音してもらい、あとで聞くことができます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送することもできます。キャッチホンもご利用になれます。



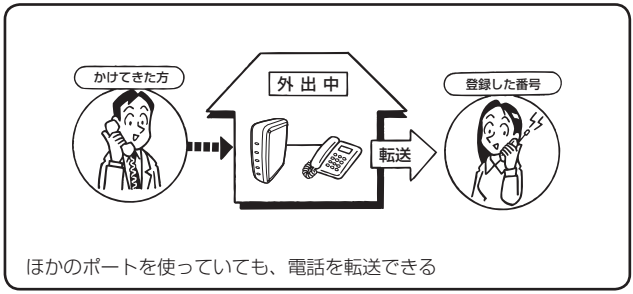
外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。
フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の 2 つの方法があります。

着信転送（フレックスホン）

設定

かかってきた電話を転送することができます。
電話をかけてきた相手、転送先の相手に転送することを音声で知らせることができます。（転送トーキ、転送元トーキ）



転送中の音声アナウンス（転送トーキ、転送元トーキ）
転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス（転送トーキ）
  「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス（転送元トーキ）
  「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

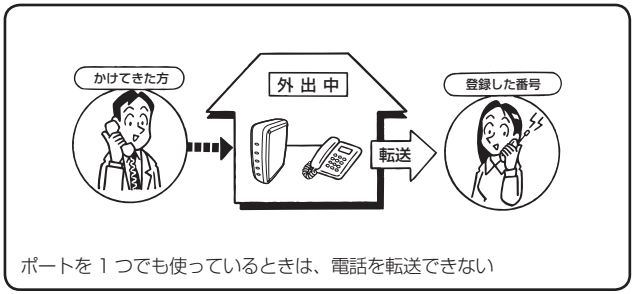
● 必要な契約

フレックスホンの着信転送機能の契約（有料）が必要です。
フレックスホンの他の機能（INS キャッチホン、通信中転送、三者通話）もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送

設定

すべてのポートが空いている時に、かかってきた電話を転送することができます。



着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。
着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。

■ 設定例

契約者回線番号（03-1234-1111）にかかってきた電話を 03-XXXX-5555 へ転送する場合

TEL で設定 （☛P138、140）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● **着信転送または疑似着信転送を設定する**

ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛ → ⓪ → ⑤ ② → ⊛ → ① または ②（疑似着信転送：①、着信転送：②）→ ⊞ →ハンドセットを置く

● **着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する**

ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛ → ⓪ → ⑤ ④ → ⊛ →転送先の電話番号（03-XXXX-5555）→ ⊞ →ハンドセットを置く

● **着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する**

ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛ → ⓪ → ⑤ ⑦ → ⊛ →転送元の電話番号（03-1234-1111）→ ⊞ →ハンドセットを置く

● **着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する**

ハンドセットを取りあげる→ ⊛ ⊛ ⊛ → ⓪ → ⑤ ③ → ⊛ → ⓪ ～ ③ のいずれか→ ⊞ →ハンドセットを置く

⓪：転送トーキなし、転送元トーキなし
①：転送トーキあり、転送元トーキなし
②：転送トーキなし、転送元トーキあり
③：転送トーキあり、転送元トーキあり

（次ページへ続きます）

外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

（前ページの続きです）

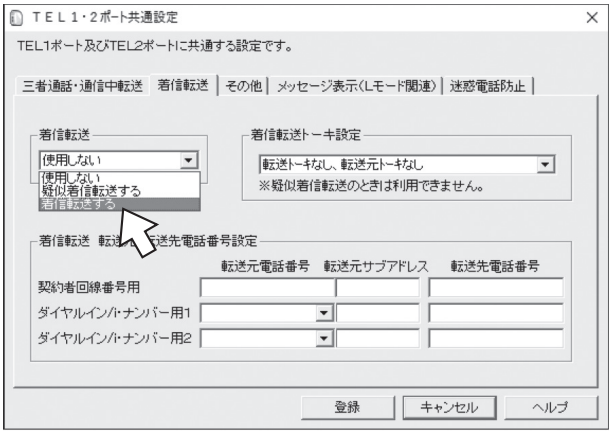
PCで設定（☛「参考情報」）

1 設定ユーティリティを起動する。（☛P50）

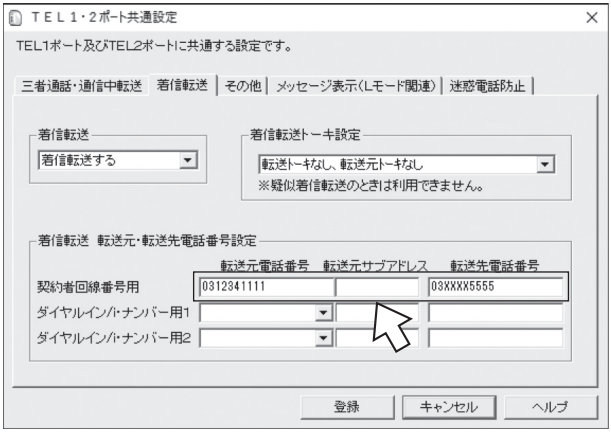
2 ［TEL1・2 ポート共通設定］をクリックする。

3 ［着信転送］をクリックする。

4 ［着信転送する］または「疑似着信転送する」を選択する。



5 契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111）、転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。



6 着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トーキを次のいずれかから設定する。

- 転送トーキなし、転送元トーキなし
- 転送トーキあり、転送元トーキなし
- 転送トーキなし、転送元トーキあり
- 転送トーキあり、転送元トーキあり

7 ［登録］をクリックする。

8 ［終了］をクリックする。

9 ［OK］をクリックする。

（次ページへ続きます）

外からの電話を別の相手に転送するには（着信転送／疑似着信転送）

（前ページの続きです）

ワンポイント

● **着信転送、疑似着信転送を停止／再開するには**

電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する

  ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛　⓪⑤②⊛⓪#を押す
- 着信転送を再開する

  ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛　⓪⑤②⊛②#を押す
- 疑似着信転送を再開する

  ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛　⓪⑤②⊛①#を押す

● **着信転送、疑似着信転送が行われているときは**

ACT ランプが緑色の点灯と点滅を繰り返します。（☛P25）

ただし、回線に異常がある場合やデータポートで通信している場合は、その表示が優先されます。

お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。
- 転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。
- 転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。
- 転送元に着信があっても、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。
- 疑似着信転送では、転送先への通話料金は TEL1 ポートに加算されます。
- グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。
- ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用 1 またはダイヤルイン用 2 の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。
- i・ナンバー（☛P116）をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用 1 または i・ナンバー用 2 の欄に設定してください。
- i・ナンバー（☛P116）をご利用のときに、3 つめの電話番号（追加番号）で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用 1 または i・ナンバー用 2 の欄に設定してください。
- i・ナンバー（☛P116）を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ず i・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

条件を指定して転送するには（INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクト）

INS ボイスワープおよび INS ボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。INS ボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は 5 か所まで登録できます。
INS ボイスワープセレクトをご利用になると、INS ボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INS ボイスワープ

転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する（無条件転送）
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する（無応答時転送）
- 2 つのポートを使用中のとき、または着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1 つのポートが空いていても着信できないときに転送する（話中時転送）

INS ボイスワープセレクト

INS ボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する（登録番号転送モード）
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない（登録番号着信モード）
- すべての着信を転送する（全番号転送モード）

● 必要な契約

INS ボイスワープ／ボイスワープセレクトの契約（有料）が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。
INS ボイスワープ／ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

（次ページへ続きます）

お知らせ

● INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。

条件を指定して転送するには（INS ボイスワープ／ INS ボイスワープセレクト）

（前ページの続きです）

TEL で設定 （☛P148）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 発信者番号を登録する

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→設定する TEL ポートの番号（①または②）→②⓪→⊛→電話番号→#→ハンドセットを置く

PC で設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P45）

すべての電話をキャッチするには（INS マジックボックス）

設定

INS マジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INS キャッチホンの機能を 1 つにまとめたサービスです。不在時には、相手にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

■ メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。
メッセージは 1 件 3 分まで、最大 20 件まで録音できます。メッセージの保存期間は 7 日間です。

● 必要な契約

INS マジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS マジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機　能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：20（☛P148）	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 1」（☛「参考情報」）	電話番号（最大 32 桁）を入力する

INS マジックボックスの INS キャッチホンをご利用になる場合は、INS キャッチホンの設定を行ってください。（☛P82）
INS マジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

お知らせ

● INS マジックボックスについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※「INS マジックボックス」サービスは、平成 28 年 2 月 29 日をもってサービス提供を終了しています。

電話機から機能を設定するには

本商品のさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート（TEL1 ポートまたは TEL2 ポート）に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。
本商品が INS ネット 64 に接続していなくても、設定は行えます。
以下の手順をご確認のうえ、設定一覧（☛P138）の表をご覧ください。
ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

■ 設定手順

〈例〉TEL1 ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。INS ネット 64 に接続していないときは話中音が聞こえます。

2 ⊛⊛⊛ と押す。
「プッ」という設定開始音が聞こえます。

⊛⊛⊛

設定一覧の表を参照してください。

3 ポート番号を押す。

⓪：TEL1、TEL2 ポート共通設定
①：TEL1 ポート設定
②：TEL2 ポート設定

〈例〉TEL1 ポート設定

①

4 機能番号を押す。

〈例〉キャッチホン

⓪②

5 ⊛ボタンを押す。

⊛（区切り記号）

6 設定値をダイヤルボタンで押す。

〈例〉疑似キャッチホン

①

共通の終了操作です。

7 ⊞ボタンを押す。
「プップッ」という確認音が聞こえ、設定内容が保存されます。

⊞

8 ハンドセットを置く。

その他の設定は、設定一覧（☛P138）の表をご覧ください。

ワンポイント

● **続けて設定するには**
手順 7 の操作のあと、手順 3 に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

● **操作を間違えたときは**
「プップップップッ」という音が聞こえます。手順 3 からやり直してください。

● **設定を中止するには**
ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約 60 秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「プップッ」という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。

● **リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは**
手順 7 で「プップッ」という確認音は聞こえず、本商品が再起動します。

お知らせ

● 2 台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。
● 手順 7 で#ボタンを押したあと、ハンドセットを置く前に本商品の電源アダプタを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

■ 設定一覧

● アナログポート共通の機能

TEL1 ポート、TEL2 ポート共通の機能です。ポート番号は⓪を押します。設定手順（☛P136）を参考に、左から順に操作します。

● 設定した電話番号の消去方法

ハンドセットを取りあげる→⊛⊛⊛→ポート番号→機能番号→⊛→#→ハンドセットを置く。

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
50	三者通話（☛P92）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⓪
51	通信中転送（☛P97）	⊛⊛⊛	⓪	⑤①
52	着信転送（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤②
53	着信転送トーキ設定（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤③
54	着信転送先電話番号（契約者回線番号用）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤④
55	着信転送先電話番号（ダイヤルイン／ i・ナンバー用 1）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⑤
56	着信転送先電話番号（ダイヤルイン／ i・ナンバー用 2）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⑥

※下線＿＿は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：使用しない ①：疑似三者通話 ②：三者通話	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：疑似着信転送 ②：着信転送	⊞
⊛	転送トーキ／転送元トーキ ⓪：なし／なし ①：あり／なし ②：なし／あり ③：あり／あり	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
57	着信転送元電話番号（契約者回線番号用）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⑦
58	着信転送元電話番号（ダイヤルイン／ｉ・ナンバー用1）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⑧
59	着信転送元電話番号（ダイヤルイン／ｉ・ナンバー用2）（☛P129）	⊛⊛⊛	⓪	⑤⑨
61	モデムダイヤルイン用契約者回線番号（☛P122）	⊛⊛⊛	⓪	⑥①
62	優先着信ポート指定（☛P81）	⊛⊛⊛	⓪	⑥②
64	内線機能（☛P79）	⊛⊛⊛	⓪	⑥④
65	FAX 自動転送（☛P103）	⊛⊛⊛	⓪	⑥⑤
66	非通知拒否（☛P91）	⊛⊛⊛	⓪	⑥⑥
67	迷惑電話防止電話番号（☛P90）	⊛⊛⊛	⓪	⑥⑦
72	話者切替タイマ（☛P96、98）	⊛⊛⊛	⓪	⑦②

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	転送元の電話番号（最大 32 桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大 19 桁）	⊞
⊛	転送元の電話番号（最大 32 桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大 19 桁）	⊞
⊛	転送元の電話番号（最大 32 桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大 19 桁）	⊞
⊛	電話番号（最大 20 桁）	⊞
⊛	⓪：指定しない ①：TEL1 ポート ②：TEL2 ポート	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：する ①：しない	⊞
⊛	電話番号（最大 32 桁）	⊞
⊛	②～⑨：話者切替までの時間（2～9 秒） （お買い求め時：4 秒）	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
73	フッキング検出タイマ（☛P79）	⊛⊛⊛	⓪	⑦③
74	ダイヤル桁間タイマ（☛P75）	⊛⊛⊛	⓪	⑦④
75	ダイヤル終了識別（☛P75）	⊛⊛⊛	⓪	⑦⑤
76	MSG ランプ設定（L モード関連）（☛P99、101）	⊛⊛⊛	⓪	⑦⑥
81	RVS-COM 転送（☛「参考情報」）	⊛⊛⊛	⓪	⑧①
82	RVS-COM への移行時間（☛「参考情報」）	⊛⊛⊛	⓪	⑧②

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：短い（100 ～ 500 ms） ①：普通（300 ～ 1000 ms） ②：長い（500 ～ 1500 ms）	⊞
⊛	⓪②～①⑤：ダイヤル桁間の空き時間（2 ～ 15 秒） （お買い求め時：4 秒）	⊞
⊛	⓪：識別しない ①：⊞ で識別する ②：⊞⊞ で識別する	⊞
⊛	⓪：メッセージあり状態表示をしない ①：メッセージあり状態表示をする	⊞
⊛	⓪：アナログ機器の操作で転送／指定時間後に自動転送 ①：ただちに自動転送	⊞
⊛	⓪⓪：無応答時は転送しない（アナログ機器の操作で転送） ⓪①：5 秒 ⓪②：10 秒 ⓪③：15 秒 ⓪④：20 秒 ⓪⑤：25 秒 ⓪⑥：30 秒 ⓪⑦：35 秒 ⓪⑧：40 秒 ⓪⑨：45 秒 ①⓪：50 秒 ①①：55 秒 ①②：60 秒 ①③：75 秒 ①④：90 秒 ①⑤：105 秒 ①⑥：120 秒	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
83	i・ナンバー （☛P116、120）	⊛⊛⊛	⓪	⑧③
84	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 1 （☛P116、120）	⊛⊛⊛	⓪	⑧④
85	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 2 （☛P116、120）	⊛⊛⊛	⓪	⑧⑤
86	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 3 （☛P116、120）	⊛⊛⊛	⓪	⑧⑥
999	リセット処理 （お買い求め時の設定に戻す） （☛P166）	⊛⊛⊛	⓪	⑨⑨⑨

● アナログポート個別の機能

TEL1 ポート、TEL2 ポートごとに設定が必要です。
TEL1 ポートの設定→ポート番号①を押す
TEL2 ポートの設定→ポート番号②を押す

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
01	接続機器設定 （☛P125）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪①
02	キャッチホン （☛P82、89、111）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪②
03	グローバル着信 （☛P118）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	i･ナンバー情報 1 に対応した電話番号（最大 20 桁）	⊞
⊛	i･ナンバー情報 2 に対応した電話番号（最大 20 桁）	⊞
⊛	i･ナンバー情報 3 に対応した電話番号（最大 20 桁）	⊞
⊛	⑨⑨：すべての設定値をお買い求め時に戻す	⊞

※下線＿＿は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：電話機 ①：ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：疑似キャッチホン ②：INS キャッチホン	⊞
⊛	⓪：着信する ①：着信しない	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
04	サブアドレスなし着信（☛P124）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪④
05	INS なりわけ（☛P86）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪⑤
06	疑似なりわけ（☛P87）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪⑥
07	なりわけ動作設定（☛P86、87）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪⑦
08	アナログポート接続設定（☛P31、75、76）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪⑧
09	メッセージあり情報通知（L モード関連）（☛P99、101）	⊛⊛⊛	① または ②	⓪⑨
10	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知（☛P108、111、112）	⊛⊛⊛	① または ②	①⓪
11	ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定（☛P109）	⊛⊛⊛	① または ②	①①
12	モデムダイヤルイン着信電話番号通知（☛P120、122）	⊛⊛⊛	① または ②	①②
13	モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定（☛P123）	⊛⊛⊛	① または ②	①③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：着信する ①：着信しない	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：使用しない ①：使用する	⊞
⊛	⓪：識別リンギング ①：セキュリティ（着信拒否）	⊞
⊛	⓪：アナログ通信機器を接続しない ①：アナログ通信機器を接続する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
15	内線呼出信号設定 （☛P79）	⊛⊛⊛	① または ②	①⑤
16	着信拒否（☛P76）	⊛⊛⊛	① または ②	①⑥
17	受話音量調整 （☛P75）	⊛⊛⊛	① または ②	①⑦
18	ダイヤル種別 （☛P31、75）	⊛⊛⊛	① または ②	①⑧
20	発信者番号 （☛P99、101、106）	⊛⊛⊛	① または ②	②⓪
21	発信者番号通知 （☛P106）	⊛⊛⊛	① または ②	②①
22	発信規制（☛P75）	⊛⊛⊛	① または ②	②②
23	発信ポート番号指定 （☛P120）	⊛⊛⊛	① または ②	②③

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：呼出信号 1「プルルル、プルルル…」 ①：呼出信号 2「プルプル、プルプル…」	⊞
⊛	⓪：する ①：しない	⊞
⊛	⓪：小 ①：中 ②：大	⊞
⊛	⓪：PB 固定 ①：DP 固定	⊞
⊛	電話番号（最大 32 桁）	⊞
⊛	⓪：通知しない ①：通知する ②：INS ネット 64 申込内容に従う	⊞
⊛	⓪：規制しない ①：0 発信規制 ②：外線発信規制	⊞
⊛	①：i・ナンバー情報 1（TEL1 ポートのお買い求め時の設定） ②：i・ナンバー情報 2（TEL2 ポートのお買い求め時の設定） ③：i・ナンバー情報 3	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作	ポート番号	機能番号
24	i・ナンバー着信設定（☛P116、120）	⊛⊛⊛	①または②	②④
25	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知（☛P111）	⊛⊛⊛	①または②	②⑤
26	キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定（☛P111）	⊛⊛⊛	①または②	②⑥
29	FAX 無鳴動着信（☛P105）	⊛⊛⊛	①または②	②⑨
30～37	着信する番号（0～7）（☛P118）	⊛⊛⊛	①または②	③⓪～③⑦
38	サブアドレス（☛P124）	⊛⊛⊛	①または②	③⑧
39	HLC 設定（☛P125）	⊛⊛⊛	①または②	③⑨

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	○＝着信可 × ＝着信不可 i・ナンバー情報 1 / i・ナンバー情報 2 / i・ナンバー情報 3 ⓪ × × × ① ○ × × ② × ○ × ③ ○ ○ × ④ × × ○ ⑤ ○ × ○ ⑥ × ○ ○ ⑦ ○ ○ ○ お買い求め時の設定　TEL1 ポート：① TEL2 ポート：②	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	電話番号（最大 32 桁）	⊞
⊛	サブアドレス（最大 19 桁）	⊞
⊛	⓪：しない ①：する	⊞

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

（前ページの続きです）

機能番号	機　能	開始操作		ポート番号	機能番号
88	ネーム・ディスプレイ発信者名通知（☛P112）		⊛⊛⊛	① または ②	⑧⑧
90～99	疑似なりわけ番号(0～9)（☛P88）		⊛⊛⊛	① または ②	⑨⓪～⑨⑨

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	⓪：しない ①：する	⊞
⊛	電話番号（最大 32 桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大 19 桁）	⊞

ご参考

1　USB ドライバーについて・・・・・・・156
2　ソフトウェアのアンインストール
　　について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
3　ご参考に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165

USB ドライバーを使用できないときは

USB ドライバーをインストールできないとき、USB ドライバーをインストールしても使用できないときは、次の図に従って原因を突き止め、対処してください。

症　状	確認方法	
ハードウェアデバイスが検出されない 本商品を USB ケーブルでパソコンに接続しても、デバイスが検出されないとき（デバイスマネージャーに［INS メイト V30Slim USB］、［USB シリアルデバイス］、［不明なデバイス］などが表示されない）	**デバイスマネージャーに［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］が表示されているか確認する** ⇒確認方法 A（☛P158）	表示されていない
	↓ 表示されている	
	［USB ホストコントローラー］と「USB ルート HUB］に「⊕」マークが付いていないか確認する。 ⇒確認方法 B（☛P158）	付いている
	↓ 付いていない	
	［USB ホストコントローラー］と「USB ルート HUB］に「！」マークが付いていないか確認する。 ⇒確認方法 B（☛P158）	付いている
	付いていない	
USB ドライバーをインストールしても、USB ポートを使用できない 次のような現象が発生するとき • 通信ソフトを使用できない • 設定ユーティリティを起動できない • インターネットに接続できない		
「このデバイス用のドライバーが見つかりません」と表示される		
USB ドライバーを再インストールしても、USB ドライバーを使用できない	**パソコンにインストール済みの他のデバイスとの間で、COM ポートが競合しているか確認する** ⇒確認方法 C（☛P158）	競合している

原　　因	対処方法
パソコンの UEFI ／ BIOS 設定で USB 機能が無効になっている	パソコンの UEFI ／ BIOS 設定で USB 機能を有効にする ⇒対処方法 1（☛P159）
［USB ホストコントローラー］または［USB ルート HUB］が使用不可（無効）になっている	［USB ホストコントローラー］と［USB ルート HUB］を使用可能（有効）にする ⇒対処方法 2（☛P159）
［USB ホストコントローラー］または［USB ルート HUB］が正常に機能していない。	パソコンメーカにお問い合わせください
以前に USB ドライバーをアンインストールしたとき、正常にアンインストールできなかった	USB ドライバーを再インストールする ⇒対処方法 3（☛P159）
USB ドライバーのインストールに失敗している	
誤って他のドライバーをインストールした	• 他のドライバーを削除する • USB ドライバーを再インストールする ⇒対処方法 3（☛P159）
他のデバイスと競合しているため、USB ドライバーを使用できない	他のデバイスとの競合を回避する ⇒対処方法 4（☛P159）

USB ドライバーを使用できないときは

確認方法

確認方法 A

［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］を確認する

• Windows® 10 の場合
① ［スタート］ボタンをクリックし、［Windows システム ツール］－［コントロールパネル］をクリックする。
② コントールパネルから［ハードウェアとインターネット］－［デバイスマネージャー］をクリックする。
③ 一覧に［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］が表示されているか確認する。
• Windows® 8.1 の場合
① ［スタート］ボタンを右クリックし、クリックリンクメニューの［コントロールパネル］をクリックする。
② コントールパネルから［ハードウェアとインターネット］－［デバイスマネージャー］をクリックする。
③ 一覧に［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］が表示されているか確認する。
• Windows® 7 の場合
① ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。
② コントールパネルから［ハードウェアとインターネット］－［デバイスマネージャー］をクリックする。
③ 一覧に［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］が表示されているか確認する。

確認方法 B

［USB ホストコントローラー］と［USB ルート HUB］を確認する

① ［デバイスマネージャー］の画面で、［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］をダブルクリックする。
② ［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］内の［USB ホストコントローラー］と［USB ルート HUB］に「⊕」、「！」マークが付いているか確認する。

確認方法 C

COM ポートが競合しているかどうかを確認する

● **本商品の USB ドライバー**
① コントロールパネルの表示方法を［小さいアイコン］に変更し、［電話とモデム］をクリックする。
② ［電話とモデムのオプション］－［モデム］内の INS メイト V30Slim USB の接続先を確認する。
● **拡張 RS-232C ポート、USB シリアルデバイス**
［デバイスマネージャー］画面の［ポート（COM/LPT）］で確認する。

※ ［ユニバーサルシリアルバスコントローラー］は、［USB（Universal Serial Bus Controller）］と表示される場合もあります。
※ ［USB ホストコントローラー］の名称は、パソコンの種類により異なります。名称の最後が［Host Controller］または［ホストコントローラー］となっているのが一般的です。
※ ［USB ルート HUB］は、［USB root Hub］または［USB ルートハブ］と表示される場合もあります。
※ ここに記載しているものは、あくまで確認方法の例ですので、装置またはパソコンの種類によっては、手順が異なる場合があります。

対処方法

対処方法 1

UEFI ／ BIOS 設定で USB 機能を有効にする

UEFI ／ BIOS の設定方法は、パソコンの種類によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカにお問い合わせください。

対処方法 2

［USB ホストコントローラー］と［USB ルート HUB］を使用可能にする

＜例＞［USB ルート HUB］に「⊕」マークが付いている場合

① ［USB ルート HUB］をダブルクリックして、プロパティ画面を開く。
② ［ドライバー］タグの［有効］をクリックし、［OK］をクリックする。
③ 「⊕」マークが消えていることを確認する。
④ パソコンを再起動する。

＊［USB ホストコントローラー］に赤色の「⊕」マークが付いている場合も同様の手順を行ってください。

対処方法 3

USB ドライバーを再インストールする

① ［不要になったドライバーを削除する］（☛P163）の手順に従って、インストールした USB ドライバーを削除する。
② USB ドライバーをインストールする。

対処方法 4

他のデバイスとの競合を回避する

COM ポートの競合を回避する手順としては、以下の 2 つがあります。

1. 競合している他のデバイス（拡張 RS-232C ポートや USB シリアルデバイス）を使用不可にする

① ［デバイスマネージャー］画面の［ポート（COM/LPT）］で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。
② ［ドライバー］タグの［無効］をクリックし、確認ダイアログで［はい］をクリックする。
③ プロパティ画面の［OK］をクリックする。
④ 競合しているポートのデバイスに「⊕」マークが付くことを確認する。
⑤ パソコンを再起動する。

2. 他デバイスの使用 COM ポート番号の設定を、本商品の USB ドライバーと競合しない番号に変更する

他デバイスの COM ポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるか、その製品のメーカまたはパソコンメーカにお問い合わせください。

USB ポートに関する Q&A

●インストールに関して

Q.USB ポートを使用できるパソコンの OS は何ですか。
A.Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 です。

Q.USB ドライバーのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。
A. 以下の手順で、もう一度インストールをしてください。
①パソコンを再起動します。
②「不要になったドライバーを削除する」（☛P163）の手順に従い、ドライバーを削除します。
③イージーウィザードを起動します。（☛P50）
④「USB ポートを使うには」（☛P41）の手順で USB ドライバーをインストールします。

Q. イージーウィザードの実行途中で USB ドライバーのアンインストールを行ったのですが。
A. イージーウィザードの実行途中で USB ドライバーのアンインストールを行った場合は、イージーウィザードのアンインストールを行い、CD-ROM から再度ユーティリティのインストールを行ってください。

Q. イージーウィザードを用いての USB ドライバーのインストールに失敗したのですが。
A. イージーウィザードを用いての USB ドライバーのインストール、または USB ドライバーのアップデートに失敗した場合は、パソコンを再起動してやり直してください。
それでも失敗する場合は、付属の CD-ROM「参考情報」の「イージーウィザードが利用できないときは」の手順に従って、手動で USB ドライバーのインストールを行ってください。

●データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q. 通信ソフトウェアや V30Slim 設定ユーティリティ動作中に USB ケーブルの抜き差しや本商品の電源の OFF → ON を行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A. お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。そのような場合にはパソコンを再起動してください。

・USB ケーブルの抜き差し（パソコンの USB ポート、本商品の USB ポートどちらでも）
・本商品の電源を OFF → ON したとき
・通信ソフトウェア上で、本商品のリセット処理（ATZ98）を行ったとき
・電話機からの設定で、リセット処理を行ったとき

Q. パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信（インターネット接続）や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A. パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。
また、パソコンの省電力機能により USB の使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの［パワーマネジメント］または［電源の管理］などで、パソコンの省電力機能を停止させてください。
さらに、パソコンによっては起動時の UEFI ／ BIOS 設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

（次ページへ続きます）

USB ポートに関する Q&A

(前ページの続きです)

●その他

Q. パソコン動作中に USB ケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生する。

A.お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中に USB ケーブルの抜き差しや、本商品の電源 OFF → ON を行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。
その場合はパソコンを再起動してください。

Q. 他の USB デバイスと同時に使用できますか。

A.1 台のパソコンに本商品と他の USB デバイスを同時に接続した場合、両デバイスが 1 つの USB バスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。
このような場合には、他の USB デバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q.USB ポートが使用できないのですが。

A. パソコンによっては USB ポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。

Q.USB ポートを使用する場合の COM ポートはどこですか。

A.COM ポートはパソコンの OS が自動的に決定します。パソコンに接続する周辺機器によっては使用する COM ポートが重複し、USB ポートが使用できない場合があります。
このような場合には周辺機器の接続を外し、周辺機器用に使用するドライバー類を削除してください。

Q. 本商品の ER ランプが点灯したままになってしまったのですが。

A.回線を切断するのに失敗するなどして、本商品の ER ランプが点灯したままになっている場合は、パソコンを再起動してください。

Q.USB ケーブルを別の USB ポートにつなぎ替えると新しく USB ドライバーがインストールされ、その後設定ユーティリティが起動できなくなる。

A.接続している USB ポートを変更した場合、COM ポートの番号割付が変わることがあります。接続している USB ポートを変更する場合は、「不要になったドライバーを削除する」（☛P163）の手順に従って、USB ドライバーを削除してから再度インストールしてください。

不要になったドライバーを削除する

本商品を使用しなくなった場合は、インストールした USB ドライバー、または RS-232C ポート用ドライバーを削除することができます。

Windows® 10 の場合を例に説明します。

1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。

2 本商品とパソコンを USB ケーブル、または RS-232C ケーブルで接続しておく。

ご使用になっていた接続方法で接続してください。

3 ［スタート］ボタンをクリックし、［Windows システムツール］－［コントロールパネル］をクリックする。

- Windows® 8.1 の場合、［スタート］ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューの［コントロールパネル］をクリックする。
- Windows® 7 の場合、［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。

4 コントロールパネルの［ハードウェアとサウンド］をクリックする。

5 ［デバイスマネージャー］をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。

6 ［表示］メニューをクリックし、［非表示のデバイスの表示］をクリックする。

7 ［モデム］をクリックし、登録されているデバイスを表示する。

8 「INS メイト V30Slim」の名称のついたデバイスを選択して右クリックし、［デバイスのアンインストール］をクリックする。

「デバイスのアンインストール」画面が表示されます。

- Windows® 8.1、Windows® 7 の場合、［削除］をクリックします。「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されます。

9 「このデバイスのドライバー ソフトウェアを削除します」が表示される場合は、チェックして［アンインストール］をクリックする。

選択したドライバーが削除され、操作 7 に戻ります。
複数のデバイスが表示された場合は、操作を繰り返して、すべてアンインストールしてください。

- Windows® 8.1、Windows® 7 の場合、［はい］をクリックします。

10 本商品とパソコンの接続ケーブルを外し、パソコンを再起動する。

「ユーティリティをアンインストールする」（☛P164）へ進みます。

ユーティリティをアンインストールする

本商品を使用しなくなった場合は、インストールしたユーティリティを削除することができます。

Windows® 10 の場合を例に説明します。

1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。

2 ［スタート］ボタンをクリックし、［Windows システムツール］－［コントロールパネル］をクリックする。

- Windows® 8.1 の場合、［スタート］ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューの［コントロールパネル］をクリックする。
- Windows® 7 の場合、［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。

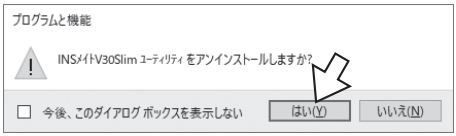
3 コントロールパネルの［プログラムのアンインストール］をクリックする。

4 プログラムの一覧から「INS メイト V30Slim ユーティリティ」を選択して右クリックし、「アンインストール」をクリックする。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックする。

ユーティリティがアンインストールされます。



6 本商品とパソコンの接続ケーブルを外し、パソコンを再起動する。

CD-ROM の「参考情報」について

以下の項目については、付属の INS メイト V30Slim 専用 CD-ROM の「参考情報」（PDF ファイル）をご覧ください。

パソコン活用編

■ 設定ユーティリティの活用

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INS メイト V30Slim を使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

■ RS-232C ポートの設定

イージーウィザードを使った RS-232C ポートの設定方法を説明しています。

手動設定編

イージーウィザードが利用できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明しています。

その他

■ AT コマンド

AT コマンドは、米国 Hayes 社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。INS メイト V30Slim は、AT コマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。AT コマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。（☛P50）

■ 設定記入シート

「参考情報」に、設定記入シート（PDF ファイル）を収録してあります。PDF ファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。

お知らせ

- PDF ファイルをお読みいただくためには、Adobe Systems Incorporated（アドビ・システムズ社）の Adobe Acrobat Reader® DC または、それに類する機能が必要です。
- Adobe Acrobat Reader® DC のインストールが必要な場合は、Adobe Systems Incorporated（アドビ・システムズ社）のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

お買い求め時の設定に戻すには（初期化）

本商品の設定をお買い求め時の状態に戻すことができます。設定ユーティリティを使う方法、電話機から操作する方法があります。設定ユーティリティで初期化した場合は、設定内容の一部はそのまま残りますが、電話機の操作で初期化した場合は、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

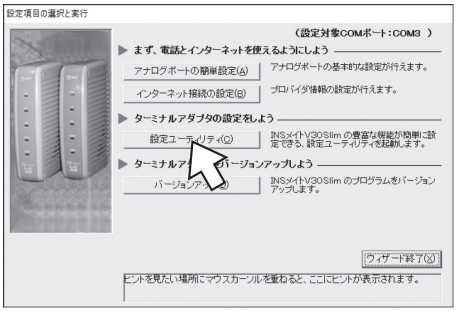
設定ユーティリティで初期化を行う

初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。

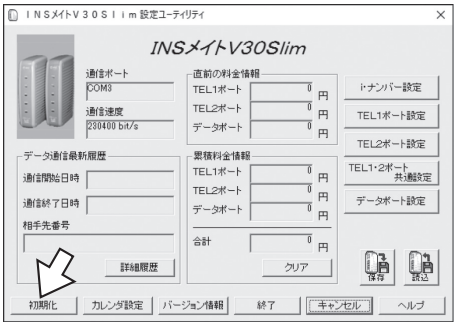
・発信者番号、i・ナンバー電話番号、各ポートの着信する番号、各ポートのサブアドレス、モデムダイヤルイン用契約者回線番号、疑似なりわけ番号、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号、着信転送元サブアドレス、迷惑電話防止電話番号、通信履歴、アナログポートの着信履歴、カレンダ

1 イージーウィザードを起動する。（☛P50）

2 ［設定項目の選択と実行］画面で［設定ユーティリティ］をクリックする。

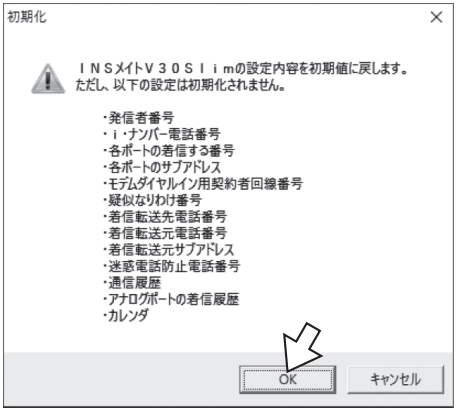


3 ［初期化］をクリックする。



4 ［OK］をクリックする。

設定内容が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。



電話機で初期化を行う

電話機の操作で初期化を行うと、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
INS ネット 64 に接続していない場合は、話中音が聞こえます。

2 ⊛⊛⊛ と押す。

「プッ」という設定開始音が聞こえます。

3 ⓪ を押す。

4 ⑨⑨⑨ と押す。

（次ページへ続きます）

お買い求め時の設定に戻すには（初期化）

（前ページの続きです）

5 ⊛ ボタンを押す。

6 ⑨⑨ と押す。

7 ⊞ を押す。

本商品が再起動します。

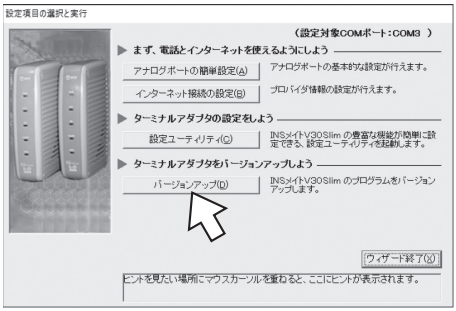
8 ハンドセットを置く。

本商品のバージョンアップを行うには

イージーウィザードを利用して本商品のバージョンアップを行うことができます。
バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。
当社のホームページ　http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/
バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。
Windows® 10 の場合を例に説明します。

1 イージーウィザードを起動する。（☛P50）

2 ［バージョンアップ］をクリックする。



ワンポイント

● **バージョンアップにかかる時間は**
本商品とパソコン間の通信速度や、お使いのパソコンの能力によって異なりますが、約 3 ～ 10 分で終了します。通信速度が 19.2 kbit/s の場合は、約 10 分です。

● **バージョンアップに失敗したときは**
バージョンアップ失敗の画面が表示されますので、いったん電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。RS-232C ケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていることを確認して、電源アダプタを差し込み、乾電池を入れ直して、もう一度バージョンアップを実行してください。

お知らせ

● バージョンアップを正常に終了させないと、PWR ランプが遅い点滅（緑）し、以下の機能を除き本商品が動作できなくなります。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器での発信、着信
- データポートに接続したパソコンからの同期 64 kbit/s のインターネット接続

● バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。
- カレンダ設定　• 直前の料金情報　• 累積料金情報　• データ通信履歴

お願い

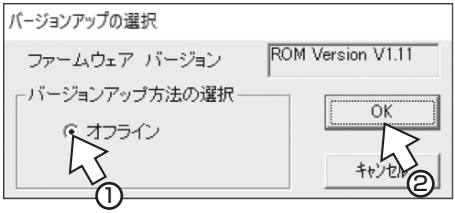
● バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

（次ページへ続きます）

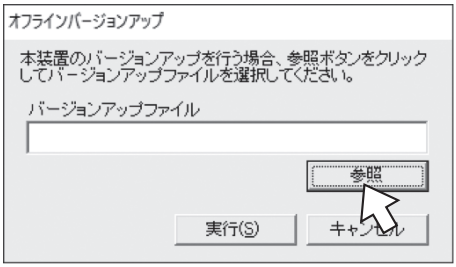
本商品のバージョンアップを行うには

（前ページの続きです）

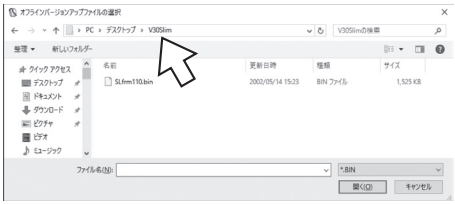
3 ［オフライン］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックする。



4 ［参照］をクリックする。



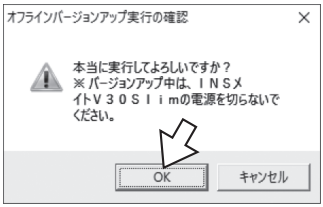
5 ［ファイルの場所］で、バージョンアップファイルを保存したフォルダを選択する。

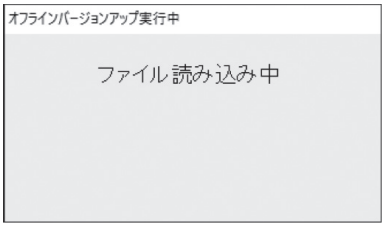


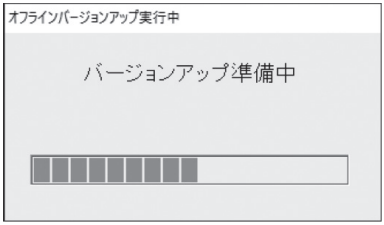
6 バージョンアップファイルを選択して［開く］をクリックする。

7 [実行] をクリックする。

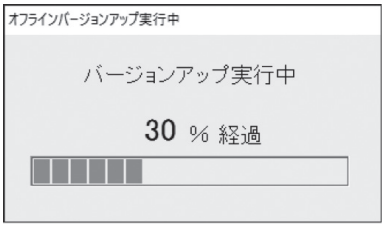
8 [OK] をクリックする。







バージョンアップが始まります。



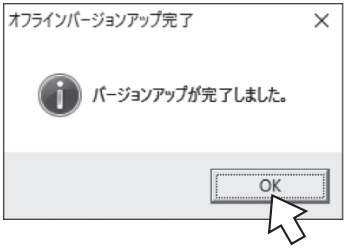
（次ページへ続きます）

本商品のバージョンアップを行うには

（前ページの続きです）

9 完了画面が表示されたら、[OK] をクリックする。

バージョンアップが終了し、本商品は自動的にリセットされます。

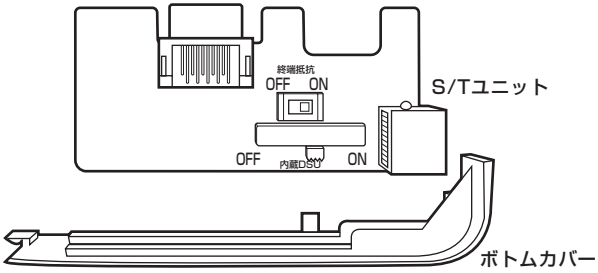


オプションをご利用になるには

本商品のオプションとして、INS メイト V30S/T ユニットを別売しています。
ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●INS メイト V30S/T ユニット

本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続したり、すでにお持ちの DSU をご利用になることができます。



S/T ユニットを準備する（☛P174）

お願い

- S/T ユニットのスイッチを設定する場合は、S/T ユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/T ユニットに付属のボトムカバーは 1 個（1 色）です。

⚠注意

●S/T ユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

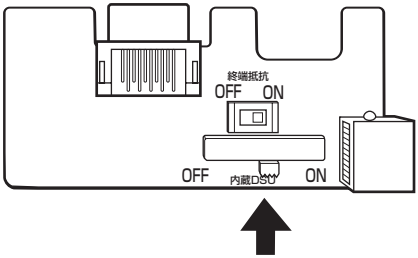
オプションをご利用になるには

S/T ユニットを準備する

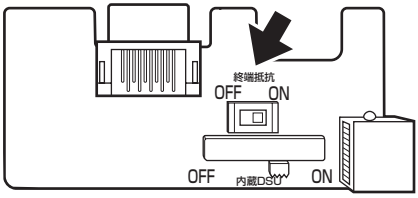
S/T ユニットを装着することにより、外付け DSU を使用したり、INS ネット 64 用通信機器を最大 7 台まで接続することができます。
INS ネット 64 用通信機器を接続する台数によって、終端抵抗スイッチの設定、配線方法が異なります。
あらかじめ S/T ユニットの設定を行ってください。

1 S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを設定します。

- 内蔵 DSU をご使用になる場合は ON にします。
- 外付け DSU をご使用になる場合は OFF にします。



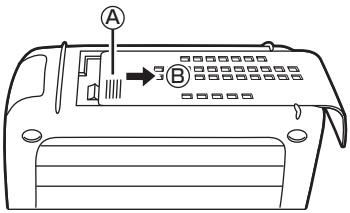
2 接続する INS ネット 64 用通信機器の台数、配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定します。(☛P180)



3 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

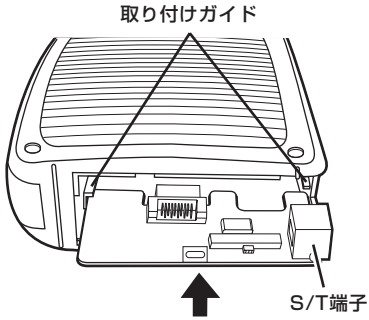
4 本商品のボトムカバーを取り外します。

Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。

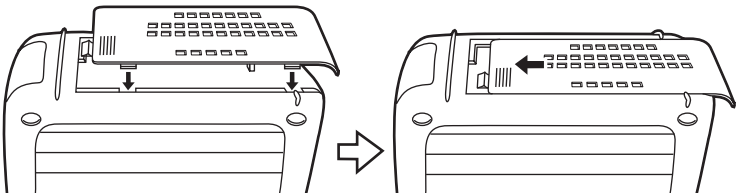


⑤ S/T ユニットの S/T 端子を持ち、S/T ユニットの中央白色部分を押して、本商品に取り付けます。

取り付けガイドに沿って取り付けてください。
無理に押し込まないでください。



⑥ S/T ユニットに付属のボトムカバーを取り付けます。



必要に応じて次のページへ進みます。

- すでにお持ちの DSU を接続する（☛P178）
- 本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続する(☛P179)
- S/T ユニットを取り外す（☛P176）

STOP お願い

- S/T ユニットのスイッチを設定する場合は、S/T ユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/T ユニットに付属のボトムカバーは 1 個（1 色）です。

⚠注意

●S/T ユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

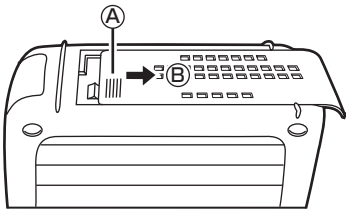
オプションをご利用になるには

S/T ユニットを取り外す

1 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

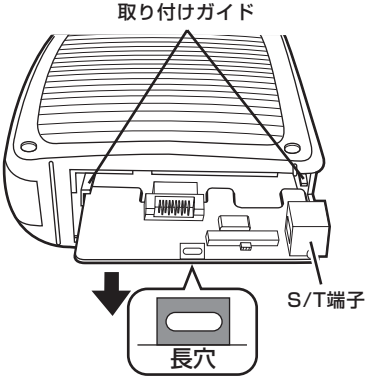
2 S/T ユニットのボトムカバーを取り外します。

Ⓐ の部分を押しながら、Ⓑ の方向へスライドさせます。



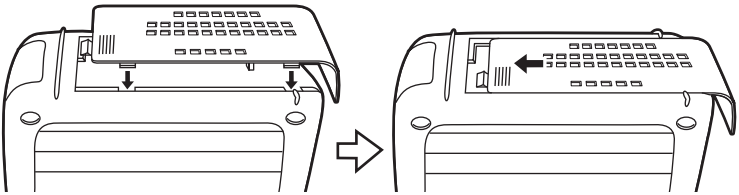
3 本商品を押さえながら、S/T ユニットの S/T 端子を持って、まっすぐ手前に引きます。

ななめ方向に傾けて引くと、S/T ユニットが外れません。
外しにくいときは、S/T ユニットの中央白色部分の長穴にドライバなどを差し込んで手前に引いてください。



4 本商品に付属のボトムカバーを取り付けます。

ボトムカバーは、S/T ユニットを取り付ける前に本商品に取り付けられていたものを使用してください。



お願い

- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/T ユニットの長穴にドライバなどを差し込んだまま、ねじったりひねったりしないでください。

⚠注意

●S/T ユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

オプションをご利用になるには

すでにお持ちの DSU を接続する

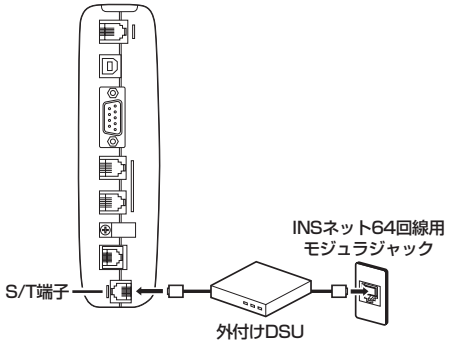
すでに DSU、DSU 内蔵の機器など（外付け DSU）をお持ちの場合は、S/T ユニットを取り付けることにより、外付け DSU をお使いになることができます。

1. S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを OFF にします。

2. 配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定し（☛P180）、本商品に取り付けます。（☛P174）
   ・DSU に終端抵抗の設定がある場合は、終端抵抗スイッチを OFF に設定してください。

3. S/T 端子に外付け DSU を接続します。

4. INS ネット 64 回線用モジュラジャックに外付け DSU を接続します。

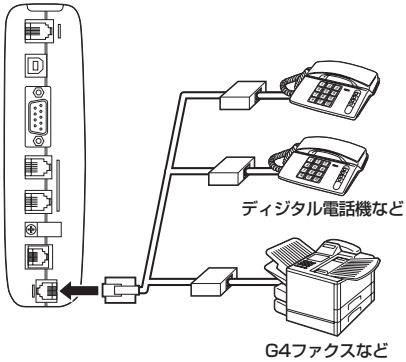


5. 以降は、内蔵 DSU をご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。（☛P29）

本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続する

S/T 端子にケーブル（別売）を接続します。

1. S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを ON にします。
2. 接続する台数、配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定し（☛P180）、本商品に取り付けます。（☛P174）
3. INS ネット 64 用通信機器を S/T 端子につなぎます。
   接続ケーブルは別途ご用意ください。



4. 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

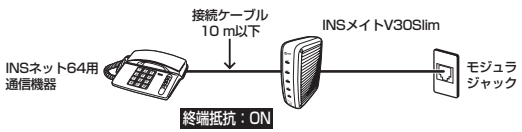
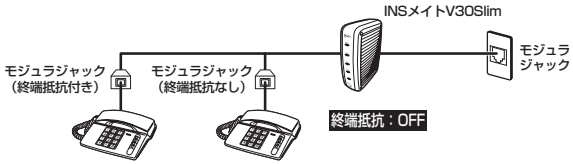
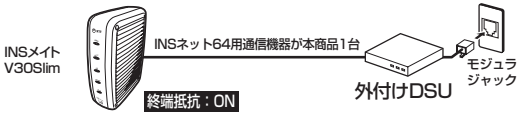
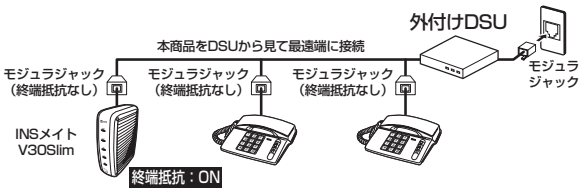
お願い

● INS ネット 64 用通信機器の接続は、配線が全長で 150 m 以下となるようにしてください。

オプションをご利用になるには

INS ネット 64 用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INS ネット 64 用通信機器を最大 7 台まで接続して使用できます。
接続方法によって内蔵 DSU スイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法		内蔵 DSU スイッチ	終端抵抗スイッチ	接続図
内蔵DSU	本商品に INS ネット 64 用通信機器を 1 台接続する場合で、接続ケーブルが 10 m 以下の場合	ON（お買い求め時の状態）	ON（お買い求め時の状態）	
	INS ネット 64 用通信機器の接続が 1 台で、接続ケーブルが 10 m 以上の場合、および 2～7 台接続する場合	ON（お買い求め時の状態）	OFF	 ※本商品から見て、S/T 端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗つきモジュラジャックを使用してください。
外付けDSU	本商品のみを接続する場合	OFF	ON（お買い求め時の状態）	
	本商品が DSU から最遠端の場合	OFF	ON（お買い求め時の状態）	
	本商品が DSU から最遠端でない場合	OFF	OFF	

※モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

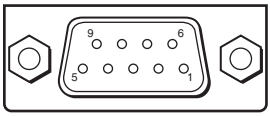
RS-232C ポートインタフェース

本商品のRS-232Cポートにパソコンなどを接続する場合は、付属品のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインタフェースは次のようになっています。

■ コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）

RS-232C



■ RS-232C ポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン　V30 Slim	名　称	機　能
シェル	(FG)		**保安用接地**	装置のフレームアースです。
1	CD	←	**キャリア検出**	INS メイト V30Slim が、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON ：パソコンにデータ受信を要求します OFF：パソコンにデータ受信を要求しません
2	RD	←	**受信データ**	INS メイト V30Slim からパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	**送信データ**	パソコンから INS メイト V30Slim へ送られるデータです。
4	ER	→	**データ端末レディ**	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON ：パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF：パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		**信号用接地**	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	**データセットレディ**	INS メイト V30Slim の動作準備ができているかどうかを示します。 ON ：パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF：パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	**送信要求**	データ送信許可を要求します。 ON ：データ送信許可を要求します OFF：データ送信許可を要求しません
8	CS	←	**送信可**	データ送信可能かどうかを示します。 ON ：データ送信が可能です OFF：データ送信できません
9	CI	←	**被呼表示**	着信していることをパソコンに示します。 ON ：着信があることを示します OFF：着信がないことを示します

■ 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4 (kbit/s)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P29
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P29
	S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチが OFF になっている	内蔵 DSU スイッチを ON にしてください	☛P174、180
	外付け DSU に接続していて、S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチが ON になっている	内蔵 DSU スイッチを OFF にしてください	☛P174、180
停電時に動作しない	停電時動作用の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください。	☛P27
ACT ランプが遅い点滅をしている	回線接続端子と INS ネット 64 回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチが OFF になっている	内蔵 DSU スイッチを ON にしてください	☛P174、180
PWR（POWER）ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になっていない場合、電源アダプタの接続を確認してください	—
PWR（POWER）ランプ、ER ランプ、ACT ランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☛P169
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

●アナログ通信機器／ INS ネット 64 機器

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P31
	回線接続端子と INS ネット 64 回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作用の新品のアルカリ電池を入れてください	☛P27
	発信規制の設定が「0 発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☛P75、148、「参考情報」
	接続機器の設定が「接続しない」になっている	接続機器の設定を「接続しない」以外に設定してください	☛P31、45、146

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	128K マルチリンク PPP でデータ通信中で、かつリソース BOD を「使用しない」に設定している	データ通信を中断してください またはリソース BOD を「使用する」に設定してください	☛「参考情報」
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ（着信拒否）」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リンギング」に設定してください	☛P86、146、「参考情報」
	サブアドレスなし着信の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信を「着信する」に設定してください	☛P124、146、「参考情報」
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否を「しない」に設定してください	☛P76、148、「参考情報」
	グローバル着信の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信を「着信する」に設定してください	☛P118、144、「参考情報」
	データポート設定の RVS-COM 転送の設定が「ただちに自動転送」に設定されている	データポート設定の RVS-COM 転送を「アナログ通信機器の操作で転送」に設定してください	☛「参考情報」
	着信転送または疑似着信転送が設定されている	着信転送を「使用しない」に設定してください	☛P128、138
INS ネット 64 用通信機器の発信、着信ができない	S/T 端子に INS ネット 64 用通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P179
	S/T ユニットの終端抵抗スイッチが正しく設定されていない	終端抵抗スイッチを正しく設定してください	☛P174、180
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	ファクスを接続したアナログポートの HLC の設定が「する」で、かつ接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」の場合に、発信側が携帯電話機、PHS 対応電話機、INS ネット 64 用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS 対応電話機、INS ネット 64 用通信機器などからの着信は、HLC の設定が「電話」となるため着信しません 電話もファクスも着信を受けるようにするときは、HLC 設定を「しない」に設定してください	☛P125、150、「参考情報」
	FAX 自動転送の設定が「する」に設定されていてファクスが TEL1 ポートに接続されている	ファクスを TEL2 ポートに接続してください	☛P103

（次ページへ続きます）

故障かな？と思ったら

（前ページの続きです）

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P45、108、146
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P120、146、「参考情報」
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P110、150、「参考情報」
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取りあげると「プップップッ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげるまでの間隔が短いため、内線機能がはたらいている	ハンドセットの操作をゆっくり行ってください	☛P74
		フッキング検出タイマを「長い」に設定してください	☛P79、142、「参考情報」
		内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	☛P79、140、「参考情報」
TEL1 ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時 1 ～ 2 秒で切断されてしまう	FAX 自動転送機能がはたらき、TEL2 ポートへ転送されている	FAX 自動転送を「しない」に設定してください	☛P103、140、「参考情報」
アナログ通信機器で相手の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器の PAD を設定してください アナログ通信機器の PAD 設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器の PAD 設定がない場合は、本商品の受話音量調整を「小」に設定してください	☛P75、148、「参考情報」

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください アナログ通信機器にFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☛P29
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品に近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品から離してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内(104)や携帯電話機、PHS対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INSキャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☛P103、140、「参考情報」
疑似キャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☛P103、140、「参考情報」
INSナンバー・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイを契約してください	☛P108
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P45、108、146、「参考情報」
	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P108
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P45、108、146、「参考情報」
	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P110、150
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P110
INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1ポートまたはTEL2ポート設定画面の発信者番号欄にINSボイスワープ／INSボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	☛P133、148、「参考情報」

（次ページへ続きます）

故障かな？と思ったら

（前ページの続きです）

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
INS ネット 64 用通信機器で通話中に雑音が入る	本商品の FG 端子がアースに接続されていない	本商品の FG 端子にアースを接続してください 接続したパソコンに FG 端子がある場合は FG 端子をアースに接続してください	☛P29

●パソコン接続

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
設定ユーティリティが開けない インターネットに接続できない	RS-232C ポートをご利用のとき本商品とパソコンの端末速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確認してください	—
	USB ポートをご利用のとき USB ドライバーをインストールしていない	USB ドライバーをインストールしてください	☛P41、「参考情報」
	本商品とパソコンが接続されていない	本商品とパソコンの接続を確認してください	—
	モデム定義ファイルや RS-233C ポート用ドライバーのインストールが完了していない	手順に従ってインストールを完了してください	☛「参考情報」
	以前にインストールした RS-232C ポートと異なる RS-232C ポートに接続している	以前にインストールした RS-232C ポートに接続してください 接続する RS-232C ポートを変更する場合は、いったんドライバーを削除してから再度インストールしてください	☛163
	インターネット接続時に、接続の設定が正しく設定されていない	「インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント」を参照してください	☛P71
	RS-232C ポートをご利用のとき、RS-232C ポート用ドライバーが正常にインストールされていない	RS-232C ポート用ドライバーをアンインストールしてください	☛P163
		アンインストール後、RS-232C ポートを使うための設定を再度行ってください	☛「参考情報」
	RS-232C ポートをご利用のとき、パソコンを起動してから RS-232C ケーブルを接続した、または本商品の電源を入れた	本商品の電源を入れ、RS-232C ケーブルで接続してから、パソコンを起動してください	—
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商品の TEL1 ポートまたは TEL2 ポートを接続してください	—
USB ポートが使用できない	USB ドライバーをインストールしていない	USB ドライバーをインストールしてください	☛P41、「参考情報」
	OS のバージョンが USB に対応していない	使用しているパソコンの OS のバージョンを確認してください	☛P36
	COM ポートが開いていない	COM ポートが開いているか確認してください	☛P52、156
	USB ケーブルが正しく接続されていない	USB ケーブルの接続を確認してください	☛P41、「参考情報」
USB ドライバーをインストールしたが動作しない（「デバイスマネージャー」画面の USB ドライバーに「！」がついている）	USB ドライバーが正しく設定されていない	USB ドライバーを正しく設定してください	☛P156

Q&A

● OS 関連

Q. 添付されている CD-ROM 内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイルが対応している OS の種類は？

A.Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 に対応しています。

Q. 添付されている CD-ROM 内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイルは英語版 OS（Windows®）に対応していますか？

A. 英語版 OS（Windows®）には対応していません。

Q.USB ポートでデータ通信をしたいのですが？

A.Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 がインストールされていることが必要です。

●設置／接続

Q. 内蔵の DSU を使用しないようにできますか？

A. INS メイト V30S/T ユニット（オプション）をご利用になることにより、内蔵 DSU を使用しないようにできます。

Q. 極性反転スイッチはついていますか？

A. 本商品は INS ネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。

Q. リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？

A. ありません。本商品をリセットする場合は電源プラグをコンセントから抜いて（乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して）、再度差し込んでください（再度乾電池を取り付けてください）。この場合、設定内容は変更されません。なお、本商品のすべての設定内容をリセットするにはパソコンのターミナルソフトから AT コマンドで ATZ98 と入力してください。または、電話機からリセット処理（機能番号：999 ☛P144、167）を行ってください。

Q. 乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？

A. 乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていると不意の停電の際でも、すべてのポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。

Q. 乾電池には何を使ってもいいのですか？

A. 公称電圧 1.5 V のアルカリ単 3 乾電池に限ります。電圧の低い 1.2 V のニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

Q. 停電時に使用できる機能は何ですか？
A. パソコンなどがバッテリで動作をしていれば、すべての機能が使用できます。

Q. 停電になって電池動作モードに切り替わったあと、何時間の動作ができますか？
A. アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約 3 時間、または 1 つのアナログポートの通話で通話時間約 2 時間の動作ができます。

Q. INS メイト V30S/T ユニット（オプション）の S/T 端子に他の DSU 内蔵 INS ネット 64 用通信機器を接続することができますか？
A. DSU を未使用にできるタイプ（本商品など）が接続できます。DSU を未使用にできないタイプの場合は、その INS ネット 64 用通信機器に S/T 端子があれば、本商品の DSU を未使用にすることにより接続することができます。

Q. S/T 端子に他の INS ネット 64 用通信機器を何台接続することができますか？
A. INS メイト V30S/T ユニット（オプション）を取り付けると、INS ネット 64 用通信機器を、最大 7 台まで接続して使用できます。接続のしかたによって終端抵抗スイッチの設定が異なります。INS ネット 64 用通信機器を 1 台接続する場合、接続ケーブルが 10 m 以下であれば、終端抵抗スイッチが「ON」の状態で使用できます。
INS ネット 64 用通信機器の接続が 1 台で、接続ケーブルが 10 m 以上の場合、および 2 ～ 7 台接続する場合は、終端抵抗スイッチを「OFF」に設定してください。また本商品から見て INS ネット 64 用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。（☛P180）

Q. 電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？
A. 使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが 0.5 φ の場合で約 200 mを目安としてください。

Q. アナログポートから屋外に配線することはできますか？
A. できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q. アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？
A. 一般のアナログ回線（電話回線）との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q. 購入時に RS-232C ケーブルや USB ケーブルは添付されていますか？
A. パソコン接続のためのケーブル類として RS-232C ケーブル、USB ケーブルがそれぞれ 1 本（1 個）添付されています。

（次ページへ続きます）

（前ページの続きです）

●ランプ表示

Q. ACT ランプが遅い点滅をしています。何が原因でしょうか？

A. 回線に異常があります。本商品は電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断中は PWR、ACT および ER ランプが点灯します。自己診断が終了すると ACT ランプおよび ER ランプが消灯します。自己診断が終了したあとでも ACT ランプが遅い点滅のままのときは、INS ネット 64 回線が接続されているか確認してください。それでも ACT ランプが遅い点滅をする場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

Q. PWR ランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？

A. 乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

Q. インターネットに接続していますが本商品の ER ランプが点灯しています。これは正常でしょうか？

A. ER ランプの ER はデータ端末レディの意味であり、パソコンが通信開始の準備ができていることを表しますので正常動作です。

Q. パソコン、電話機を使用していない状態で、本体の ACT ランプが点灯と点滅の繰り返しとなっています。なぜでしょうか？

A. フレックスホンサービスの着信転送または疑似着信転送を起動中です。着信転送を起動しない場合は解除してください。

●アナログポート

Q. 着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の 5 回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？

A. アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定を「しない」にしてください。
詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q. 相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？

A. 出力されません。

Q. アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押してもツーという発信音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？

A. 電話機のダイヤル種別と本商品のダイヤル種別の設定を合わせる必要があります。本商品の設定は PB 固定（初期値）または DP 固定のいずれかです。

Q. 1 つのアナログポートに複数の電話機をブランチ接続することができますか？

A. 1 つのアナログポートには 1 台のアナログ通信機器を接続してください。

Q. アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？
A. TEL1、TEL2 どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にはできません。

Q. インターネットに接続するのに「ISDN の場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？
A. パソコンにモデムが内蔵されている場合は、本商品のアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

●データポート

Q. 無通信監視機能とは？
A. データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0 ～ 10 分：0 は監視しない／初期値 10 分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があり、この場合は切断されませんので必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

Q. 強制切断タイマとは？
A. データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視パケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0 ～ 10 時間：0 は切断しない／初期値 10 時間）することができます。うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをおすすめします。

Q. 本商品を 2 台対向でパソコン通信を行おうとしていますが、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？
A. パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。本商品は非同期／同期 PPP 変換、128K マルチリンク PPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q. データポートに接続したパソコンから FAX モデムを使用してファクス送受信することができますか？
A. できません。パソコンから FAX モデムを使用してファクス送受信する場合はアナログポートに接続してご利用ください。

Q. PIAFS での発着信ができますか？
A. PIAFS には対応していません。

（次ページへ続きます）

Q&A

（前ページの続きです）

Q. 128K マルチリンク PPP でプロバイダに接続できません。非同期／同期 PPP 変換（64 kbit/s）では接続できます。なぜでしょうか？

A. 以下の点をご確認ください。

① 加入されているプロバイダは 128K マルチリンク PPP に対応していますか？また 128K マルチリンク PPP 対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。

② 本商品とパソコン間の通信速度は 230.4 kbit/s で使用することをおすすめします。

③ リソース BOD を使用しない状態でアナログポートを使用していませんか。

④ 一部のプロバイダで接続できない場合がございます。

Q. 128K マルチリンク PPP 接続時は料金が高くなりますか？

A. 非同期／同期 PPP 変換の倍の料金が必要です。ただし INS テレホーダイご利用の場合は、INS テレホーダイによる料金となります。

Q. リソース BOD の設定をして 128K マルチリンク PPP 接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが（B チャネル 1 本削除）、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A. 当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です（月額料金：無料）。着信時すでに B チャネルの空きがない（インターネット接続で B チャネル 2 本使用中）状態でもDチャネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q. スループット BOD を利用して時間帯により B チャネル接続数を自動変更することはできますか？

A. 時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q. パソコンのモデムの照会を参照すると ATI1 ～ 4 以外が「ERROR」表示等となりますが正常でしょうか？

A. 正常です。本商品は「ATI1 ～ 4」以外はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q. データポートのコールバック機能はありますか？

A. ありません。

Q. 非同期／同期 PPP 変換で接続したとき、どこで確認できますか？

A. ACT ランプが緑色に点灯することで確認できます。

Q. RS-232C の信号線の ER 信号を「常時 ON」にすることはできますか？

A. できます。設定ユーティリティのデータポート設定内にある「ER 信号制御」で「常時 ON」としてください。また、AT コマンドの AT&D0 でも可能です。

Q. INS なりわけサービスの機能がわからないのですが？
A. アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INS なりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用して一般の電話回線からの電話を識別するには当社との INS ナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q. AT コマンドで発信する場合、相手の電話番号と着サブアドレスの区切り子は何でしょうか？
A. 区切り子は／です。（例）ATD ＊＊＊＊＊＊＊ / ＊＊

● S/T 端子（オプション）

Q. S/T 端子とデータポートの同時利用はできますか？
A. それぞれ B チャネル 1 本の利用であれば可能です。

Q. S/T 端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？
A. できます。ダイヤルイン番号の設定は S/T 端子に接続した機器に設定してください。

Q. S/T 端子に接続した INS ネット 64 用通信機器でリソース BOD が使えますか？
A. 使えません。リソース BOD は本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q. データポートに接続したパソコンと S/T 端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？
A. できます。ただし INS ネットの B チャネルが 2 本とも空きの場合です。

（次ページへ続きます）

（前ページの続きです）

●バージョンアップ／設定ユーティリティ／モデム定義ファイル

Q. ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？

A. 本商品に添付されている CD-ROM の中のイージーウィザードをパソコンにインストールして、イージーウィザードの［バージョンアップ］をクリックします。またはイージーウィザードの［設定ユーティリティ］をクリックして、設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「ファームウェアバージョン」にて確認することができます。また、本商品のファームウェアバージョンアップにともない設定ユーティリティもバージョンアップされることがあります。その場合の設定ユーティリティのバージョン確認は設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「設定ユーティリティバージョン」にて確認することができます。

Q. ファームウェアバージョンアップを行ったあと、通信料金、詳細履歴を確認したらすべてクリアされていましたがなぜですか？

A. ファームウェアバージョンアップを行う際、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。

Q. ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容がクリアされることはないでしょうか？

A. バージョンアップを行う前の状態で保持されます。ただし、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。

Q. INS タイムプラスを利用していますが、設定ユーティリティの「料金情報」で確認すると３分９円で累積されていますがなぜでしょうか？

A. 本商品の「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在 INS タイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出されないためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際には INS タイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。

Q. 他の INS メイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、INS メイト V30Slim でも利用可能ですか？

A. 利用できません。設定ユーティリティ、モデム定義ファイルは機器に添付されている物をご利用ください。

Q. モデム定義ファイルをなくしてしまいました。ホームページからダウンロードできますか？

A. ダウンロードできます。

Q. ユーティリティのインストール中に誤ってパソコンの電源を強制切断してしまいました。その後ユーティリティのインストール／アンインストールができなくなったのですが、どうすればよいですか？

A. OS の「システムの復元」機能を使用してパソコンを復元してください。正常に動作していた時点の状態に戻すことで改善する可能性があります。（万一の場合に備えて定期的に復元ポイントを作成することをおすすめします。）

索　引

アルファベット

ACT（Active）ランプ ····· 25
AT コマンド ····· 165
CD-ROM ····· 20,165
COM ポート
　通信ポート選択 ····· 52
DP 固定 ····· 31
DSU ····· 29
　すでにお持ちの DSU を
　　ご使用になるには ····· 178
ER（Equipment Ready）ランプ ····· 25
FAX 自動転送 ····· 103
FAX 無鳴動着信 ····· 105
FG 端子 ····· 26
HLC 設定 ····· 125
　HLC の設定で呼び分ける ····· 115,125
INS キャッチホン ····· 82
　すべての電話をキャッチする ····· 127,135
　優先着信ポート指定と組み合わせて
　　使う ····· 85
INS なりわけサービス ····· 86
INS ナンバー・ディスプレイ ····· 108
　相手の名前を表示するには ····· 112
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する ····· 45
　キャッチホンと組み合わせて
　　利用する ····· 110
INS ナンバー・リクエスト ····· 110
INS ネット 64 のサービス ····· 17
　INS キャッチホン ····· 82
　INS なりわけサービス ····· 86
　INS ナンバー・ディスプレイ ····· 108
　INS ボイスワープ ····· 126,133
　INS ボイスワープセレクト ····· 126,133
　i・ナンバー ····· 114,116
　三者通話 ····· 92
　着信転送 ····· 126,128
　通信中転送 ····· 97
　ネーム・ディスプレイ ····· 112
　発信者番号通知 ····· 106
　フレックスホン ····· 18
INS ボイスワープ ····· 126,133
　無応答時転送 ····· 127
　無条件転送 ····· 126
　話中時転送 ····· 127
INS ボイスワープセレクト ····· 126,133
INS マジックボックス ····· 127,135
INS メッセージ到着お知らせサービス ····· 101
i・ナンバー ····· 114,116
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する ····· 48
　モデムダイヤルイン ····· 120
L モード ····· 99
MSG（Message）ランプ ····· 25,99,101
OS
　Q&A ····· 188
　パソコンの OS と使用できる
　　データポート ····· 36
PWR（POWER）ランプ ····· 25
Q&A ····· 188
RS-232C ケーブル ····· 24
RS-232C ポート ····· 26
　インタフェース ····· 181
　パソコンとの接続 ····· 36
　不要になったドライバーを
　　削除する ····· 163
S/T 端子 ····· 175,193
S/T ユニット ····· 173
SD/RD（Send Data/
　Receive Data）ランプ ····· 25
TEL1 ポート ····· 26
TEL2 ポート ····· 26
USB ケーブル ····· 24

索　引

USB ドライバー
　USB ドライバーを使用できないとき……156
　インストールする……41
　イージーウィザードが利用できないとき……165
　不要になったドライバーを削除する……163
USB ポート……26
　パソコンとの接続……36

五十音

【ア行】

アナログポート……26
　Q&A……190
　アナログポートの簡単設定……50
　電話機から機能を設定する……136
イージーウィザード
　USB ドライバーをインストールする……41
　アナログポートを設定する……45
　インターネット接続の設定をする……63
インターネット
　インターネット接続の設定をする……63
　インターネットにうまく接続できないとき……71
　インターネットに接続する……66,68
　接続するまでの手順……60
オプション……173
音量
　受話音量を調節する……75

【カ行】

回線接続端子……26
カレンダ設定……56
乾電池……27
疑似キャッチホン……83
　アナログポートの簡単設定で設定する……45
疑似三者通話……93
疑似着信転送……126,128
疑似なりわけ……87
機能……16
キャッチホン……82
　INS キャッチホン……82
　INS ナンバー・ディスプレイと組み合わせて利用する……110
　アナログポートの簡単設定で設定する……45
　疑似キャッチホン……83
　すべての電話をキャッチする……135
　なりわけと組み合わせて利用する……89
　両方のアナログポートに電話機を接続しているとき……85
キャッチホン・ディスプレイ……110
切替モード……92,94
グローバル着信……118
故障かな？と思ったら……182
コネクタ形状……181

【サ行】

サービス
　INS ネット 64 のサービス……17
サービスガイド……16
サブアドレス……124
　サブアドレスも表示する……109
　サブアドレスを指定して電話をかける……75
　特定の電話機を呼び出す……115,124

参考情報 ····· 57,165
三者通話 ····· 92
　疑似三者通話 ····· 93
　フレックスホン三者通話 ····· 92
識別リンギング ····· 88,89
自己診断 ····· 30
終端抵抗スイッチ ····· 180
手動設定 ····· 165
受話音量調節 ····· 75
仕様 ····· 200
初期化 ····· 166
セキュリティ（着信拒否） ····· 88,89
接続 ····· 29
　INS ネット 64 回線の接続 ····· 29
　Q&A ····· 188
　アナログ通信機器を 1 台のみ
　　接続する ····· 31
　外付け DSU を使う ····· 178
　ダイヤル式（DP）のアナログ通信
　　機器を接続する ····· 31
　他の INS ネット 64 用通信機器を
　　接続する ····· 179
　電話機などの接続 ····· 31
　パソコンとの接続 ····· 36
接続機器の設定 ····· 125
設定
　設定一覧 ····· 138
　設定をお買い求め時の状態に
　　戻す ····· 166
　電話機から機能を設定する ····· 136
設定記入シート ····· 165
設定ユーティリティ
　カレンダ設定 ····· 56
　起動 ····· 50
　基本操作 ····· 53
　通信ポート選択 ····· 52
　メニュー画面 ····· 53
セット内容 ····· 24
外付け DSU ····· 178

【タ行】

ダイヤルイン ····· 114,118
　アナログポートの簡単設定で
　　設定する ····· 49
　モデムダイヤルイン ····· 122
ダイヤル桁間タイマ ····· 75
ダイヤル式（DP） ····· 31,75
ダイヤル終了識別 ····· 75
ダイヤル種別 ····· 31,75
着信 ····· 76
　お話し中にかかってきた電話に出る ·· 84
着信音
　キャッチホン着信音で相手を
　　識別する ····· 89
　着信音が鳴る電話機を指定する ····· 81
　着信音で相手を識別する ····· 86
　着信音を鳴らさずにファクスを
　　受信する ····· 105
着信拒否 ····· 76,90
　非通知の着信を拒否する ····· 91
着信転送
　疑似着信転送 ····· 126,128
　着信転送（フレックスホン）·· 126,128
　停止／再開 ····· 132
通信中着信識別通知 ····· 89
通信中転送 ····· 97
通信料金
　各ポートの料金情報 ····· 53
停電 ····· 27
データ通信
　詳細履歴 ····· 53
データポート
　Q&A ····· 191
　設定 ····· 53
電源アダプタ ····· 24
電源アダプタコード端子 ····· 26

索　引

転送
- お話し中に別の電話番号に転送する…… 97
- 外からの電話を別の相手に転送する……128
- 電話機からファクスへ自動転送する……103
- 内線で転送する…… 80

電池
- 電池カバー…… 26
- 電池動作モード…… 27
- 電池ホルダ…… 26

電話機コード…… 24

電話番号
- 電話番号が通知されない着信を拒否する…… 91
- 電話番号が通知されないときにメッセージで応答する……110
- 電話番号の通知のされかた……106

電話を受ける…… 76
- お話し中にかかってきた電話に出る…… 84
- 電話に出られないときのいろいろな方法……126

電話をかける…… 74
- 電話がかけられることの確認…… 33

同期 64 kbit/s …… 64

動作の確認…… 30

取扱説明書（簡易版）…… 20

【ナ行】

内線機能の停止…… 79

内線着信ナンバー・ディスプレイ…… 79

内線通話…… 78

内線転送…… 80
- 電話機からファクスに転送する…… 76

内線呼出信号設定…… 79

内蔵 DSU スイッチ……174,180

なりわけ
- INS なりわけサービス …… 86
- キャッチホンと組み合わせて利用する…… 89
- 疑似なりわけ…… 87

なりわけ動作設定……86,87

ナンバー・ディスプレイ…… 46
- INS ナンバー・ディスプレイ ……108
- アナログポートの簡単設定で設定する…… 45

ネーム・ディスプレイ……112

【ハ行】

バージョン……194
- 設定ユーティリティのバージョンを確認する…… 53

バージョンアップ……169,194

パソコン活用編…… 57,165

パソコンとの接続…… 36

発信…… 74
- 発信規制…… 75

発信者番号……106
- 一般回線からの電話番号も表示する……108
- 発信者番号通知……106

非通知……106
- 非通知の着信を拒否する…… 91
- 非通知理由……110

非同期／同期 PPP 変換 …… 25

ファクス
- 着信音を鳴らさずに受信する……105
- 電話機からファクスに転送する…… 76
- 電話機からファクスへ自動転送する……103
- ファクスを受ける…… 76
- ファクスを送る…… 74

フッキング…… 79

フレックスホン ····· 18
INS キャッチホン ····· 82
三者通話 ····· 92
着信転送 ····· 126,128
通信中転送 ····· 97
ヘルプ ····· 53
保守サービスのご案内 ····· 201
ボトムカバー ····· 26

【マ行】

マルチリンク PPP ····· 25
ミキシングモード ····· 92,95
迷惑電話防止 ····· 90
モデムダイヤルイン ····· 114,120
i・ナンバーを利用する場合 ····· 120
ダイヤルインを利用する場合 ····· 122

【ヤ行】

ユーティリティ
アンインストールする ····· 164
インストールする ····· 38
優先着信ポート指定 ····· 81
呼出音
内線の呼出音を変える ····· 79
呼び分け ····· 114

【ラ行】

ランプ表示 ····· 25,190
センタにメッセージが
あるとき ····· 99,101
着信転送、疑似着信転送が
行われているとき ····· 132
リセット処理 ····· 144

【ワ行】

話者切替タイマ ····· 96,98

仕　様

回線	適用回線	INS ネット 64	
	通信交換方式	B チャネル回線交換	
	接続インタフェース	6 ピンモジュラジャック	
	インタフェース形態	P − MP 接続	
	レイヤ 1 起動種別	呼毎起動または常時起動	
RS-232C ポート	電気的条件	ITU-T 勧告　V.28 準拠	
	論理的条件	ITU-T 勧告　V.24 準拠	
	物理的条件	D-SUB9 ピンコネクタ	
	端末速度（kbit/s）	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) （　　）内は V.28 規格外
	通信速度（kbit/s）	非同期／同期変換	64/128
	接続手順	AT コマンド	
	フロー制御	RS/CS	
USB ポート	端末速度	非同期 12 Mbit/s	
アナログポート		6 ピンモジュラジャック ×2 約− 48 V 給電（待機時）極性反転あり ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ※／キャッチホン・ディスプレイ対応	
使用電源		AC100 V±10 V（50 ／ 60 Hz） 乾電池による DC9 V（停電時）	
消費電力		約 9 W	
外形寸法		約 174 mm（高さ）× 約 134 mm（奥行）× 約 49 mm（幅）	
質量		約 0.6 kg（電源アダプタ含む）	
使用条件		温度 0 ～ 40 ℃　湿度 20 ～ 85 % RH（結露しないこと）	

S ／ T 点インタフェース（オプション）：8 ピンモジュラジャック
※「ネーム・ディスプレイ」サービスは、平成 25 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの 113 番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、ご不明の点がございましたら、ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： FREE **0120-970413**

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00 ～ 17：00
年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーアクセス **0120-248995**

（ガイダンス後 4 を選択してください）
携帯電話・PHS からもご利用可能です。

受付時間　9：00 ～ 17：00
年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2018 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本 2237-7（2018.9）
INS メイト V30SLIM トリセツ